

平成24年度 瑞穂中学校配膳施設増築及び受電設備増設等工事

設計図

図面リスト		建築意匠図		建築構造図		電気設備図		
図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
1	概観・図面リスト	—	S-01	構造設計 標準仕様	—	E-1	電気設備工事特記仕様書 1	—
2	建築工事特記仕様書 1	—	S-02	構造設計 標準仕様 配筋基準図	—	E-2	電気設備工事特記仕様書 2	—
3	建築工事特記仕様書 2	—	S-03	鉄骨構造 標準図 1	—	E-3	標準図・凡例	—
4	建築工事特記仕様書 3	—	S-04	鉄骨構造 標準図 2	—	E-4	配置図 撤去構内配電線路図	S:1/300
5	建築工事特記仕様書 4	—	S-05	標準 継手表	—	E-5	配置図 改修構内配電線路図	S:1/300
6	建築工事特記仕様書 5	—	S-06	地盤改良特記仕様書	—	E-6	高圧受電設備結線図・外形図	—
7	建築工事特記仕様書 6	—	S-07	基礎伏図 梁伏図	S:1/100	E-7	幹線系統図	—
8	解体工事特記仕様書 1	—	S-08	基礎配筋図	S:1/50	E-8	分電盤結線図	—
9	解体工事特記仕様書 2	—	S-09	軸組図	S:1/100	E-9	電灯設備図	S:1/100
10	工事区分表	—	S-10	鉄骨詳細図 部材断面リスト	S:1/50	E-10	照明器具委図	S:1/30
11	求積図	S:1/700				E-11	弱電設備図	S:1/100
12	配置図・附近鳥瞰図	S:1/700						
13	仮設計図	S:1/100						
14	仕上表	—						
15	平面図	S:1/100						
16	立面図 断面図	S:1/100						
17	平面詳細図	S:1/50						
18	展開図	S:1/50						
19	矩計図	S:1/30						
20	天井伏図 屋根伏図	S:1/50						
21	部分詳細図 1	S:1/5				M-1	特記仕様書 1	—
22	部分詳細図 2	S:1/5				M-2	特記仕様書 2	—
23	耐火リスト図	S:1/20				M-3	新設配置図	S:1/100
24	建具表	S:1/20				M-4	衛生設備詳細図	S:1/50
25	外構現況図 断面図	S:1/100				M-5	冷暖房換気設備図	S:1/100
26	外構撤去図	S:1/100				M-6	既設配置図	S:1/100
27	外構平面図 断面図	S:1/100						
28	外構詳細図	S:1/20						
29	解体撤去図	S:1/100						
30	正面玄関階段改修図	S:1/50, 1/100						

建築工事特記仕様書		章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																																																
【 1 】 工 事 概 要 1. 工 事 場 所 船井郡京丹波町 大朴 地内 2. 敷 地 面 積 16,568.00 m ² 3. 建築物概要 <table border="1"><thead><tr><th>棟 名</th><th>構 造</th><th>階 数</th><th>建築面積(m²)</th><th>延べ面積(m²)</th><th>備 考</th></tr></thead><tbody><tr><td>配膳室</td><td>鉄骨造</td><td>1</td><td>61.86</td><td>50.00</td><td>耐火構造</td></tr><tr><td>便所棟(撤去)</td><td>木造</td><td>1</td><td>54.66</td><td>29.81</td><td>解体撤去</td></tr></tbody></table> 4. そ の 他 改修工事 既存管理棟玄関前 階段床タイル改修、花壇側壁吹付改修他		棟 名	構 造	階 数	建築面積(m ²)	延べ面積(m ²)	備 考	配膳室	鉄骨造	1	61.86	50.00	耐火構造	便所棟(撤去)	木造	1	54.66	29.81	解体撤去	1	風圧力及び積雪に対する性能(8.4.3、8.5.3)(10.5.3)(13.2.3~13.4.3) 現場代理人 工事工程報告 工事実績情報の登録(1.1.4) 8 施工体制台帳等の作成・提出(1.1.5) ⑨設備工事との取合い 施工図等の取扱い(1.2.3) 工事写真(1.2.4)	1	建築基準法に基づき定められた風速及び地表面粗度区分等 風速(Vo) 3.2 (平成12年5月31日建設省告示第1454号) 地表面粗度区分 多雪地域の指定 なし あり 本工事の施工にあたっては、請負契約書第10条に基づく現場代理人は、主任技術者又は監理技術者と同様、請負者と直接的かつ恒常的な雇用関係のある者を選任しなければならない。 月報は毎月末日に、翌月5日までに提出する。 日報は監督職員の指示による。 週報は毎週()曜日に提出する。 適用する (適用事項は、現場説明書による) 適用しない 請負者は、請負金額3千万円以上(建築一式工事については4千5百万円以上)の工事について、施工体制台帳(下請契約書等添付)及び施工体系図を作成し、監督職員に提出しなければならない。 請負者は、工事完成時に、建造共通運営実績報告書を提出しなければならない。 施工範囲 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の型枠及びそれらの補強 図示した壁、天井の仕上材、下地材の切込み及び下地材の補強 駆動装置が電動による建具類の二次配線及び操作スイッチ 自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強 施工図 設備機器の位置、取合等の検討できる施工図を提出し、監督職員の承諾を受ける。 施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲される。 工事写真の撮り方(改訂2版)建築編(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)による 下記のものを監督職員に提出する。 <table border="1"><thead><tr><th></th><th>部 数(枚/1枚につき)</th><th>分 類 ・ 規 格</th><th>原簿の大きさ(mm)</th></tr></thead><tbody><tr><td>着 工 前</td><td>1</td><td>カラーサービス版</td><td>24×36以上</td></tr><tr><td>工 事 中</td><td>1</td><td>カラーサービス版</td><td>24×36以上</td></tr><tr><td>屋 内</td><td>2</td><td>カラーサービス版</td><td>24×36以上</td></tr><tr><td>(8)箇所</td><td></td><td>カラーキャビネ版</td><td>60×70以上</td></tr><tr><td>外 観</td><td>2</td><td>カラーキャビネ版</td><td>24×36以上</td></tr><tr><td>(10)箇所</td><td></td><td>カラーパネル半切</td><td>60×70以上</td></tr></tbody></table> デジタル写真の撮影にあたり、完成写真については有効画素数300万画素程度、工事写真は有効画素数130万画素程度とし、黒板の文字等の内容が判読できる精度を確保するものとする。 完成写真撮影場所は、監督職員の指示による。 完成写真撮影業者は、監督職員の承諾する撮影業者(建築写真専門業者)とする。		部 数(枚/1枚につき)	分 類 ・ 規 格	原簿の大きさ(mm)	着 工 前	1	カラーサービス版	24×36以上	工 事 中	1	カラーサービス版	24×36以上	屋 内	2	カラーサービス版	24×36以上	(8)箇所		カラーキャビネ版	60×70以上	外 観	2	カラーキャビネ版	24×36以上	(10)箇所		カラーパネル半切	60×70以上	15 発生材の処理等(アスベスト成形板) ⑩技能士(1.5.2) 17 化学物質の濃度測定(1.5.9.) 完成図(1.7.2) ⑪保全に関する資料(1.7.3) 20 中長期保全計画書	2	仮設工事 ①足場その他(2.2.4) 2 監督職員事務所(2.3.1) ③工用水 ④工用電力 ⑤仮囲い等 ⑥設計G L ①埋め戻し及び盛土(3.2.3) ②建設発生土の処理(3.2.5) 3 山留めの撤去(3.3.3) ①基礎種別 2 地盤の載荷試験(4.2.4) ③砂利及び砂地業(4.6.3) ④捨てコンクリート地業(4.6.4) ⑤床下防湿層(4.6.5)	「手すり先行工法に関するガイドライン(厚生労働省 基準第0424001号)」の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により「動きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立、解体又は変更の作業は「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式を採用すること。 規模 10m ² 程度 20m ² 程度 35m ² 程度 65m ² 程度 100m ² 程度 仕上 床 合板張り素地 ビニル床シート敷き ハンカベ ² 敷き 内壁・天井 合板又は石膏ボード張り、合成樹脂珪藻土 ² 塗り 屋根 塗装溶融亜鉛メッキ鋼板張り 鉄板張り鋼合 ² 塗り 休憩室 設けない 設ける(量数) 備品 机 いす 書棚 黒板 製図板 掛時計 温度計 消火器 掃除具 加入電話機 懐中電灯 湯沸器 冷暖房機器 保護帽 ゴム長靴 雨がっぱ 衣類 ² (入分程度) 標仕(平成22年版) 建築工事監理指針(平成22年版) 建築工事施工チェックシート 建築工事標準詳細図(平成22年版) 工事写真の撮り方(改訂2版)建築編 構内既存の施設 利用できない 利用できる (有償 無償) 構内既存の施設 利用できない 利用できる (有償 無償) 図示 図示 設計G L = 現状G L A種 砂質土(山砂の類)を水締め又は機器による締固め(表3.2.1) B種 根切り土の中の良質土を機器による締固め C種 他現場の建設発生土の中の良質土を機器による締固め D種 再生コンクリート砂を水締め又は機器による締固め 建設発生土(盛土材)の外部からの受入土量(m ³) 発生場所() 下記に定める場合は、現場説明書による 構外指示の受入場所に処分 受入場所(財)城陽山砂利採取地整備公社 土壌調査 行う(受入場所指定の検査) 京都府土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例 施行規則第7条第3項13号及び第4項に規定する方法 仮置場所 構内指示の場所に敷き均し 構内指示の場所にたい積 構外搬出適切処理 中丹東土木事務所管内及び丹後土木事務所管内で、 搬出土量が少量(500m ³ 以内)かつ緊急の場合等 撤去する 在置する 杭基礎 杭の種類、本数等 構造図による 工法 構造図による 試験杭 行う(構造図による) A-α ² の支持地盤への掘削深さ 構造図による 杭の支持地盤への掘削深さ 構造図による 杭継手 A-α ² 溶接 無溶接継手 杭の水平方向位置ずれ精度 構造図による 杭の載荷試験 行う(構造図による) 縦杭溶接部試験 行う(浸透探傷試験 本) 直接基礎 載荷試験 行う(下記以外は構造図による) 地盤改良杭 構造図による 2 地盤の載荷試験 平板載荷試験 試験箇所数 _____ 箇所(試験位置図示) 設計地耐力 _____ t/m ² ③砂利及び砂地業(4.6.3) 厚さ(mm) 図示 60 材料 再生クラッシュラン 切込み砂利及び切込み砕石 ④捨てコンクリート地業(4.6.4) 厚さ(mm) 図示 50 ⑤床下防湿層(4.6.5) ポリエチレンフィルム 厚さ0.15mm 重ね幅縦及び基礎梁際のみ込み 250mm以上 施工範囲 図示 建物内の土間スラブ(土間コンクリート含む)の直下(ビット下を除く)
棟 名	構 造	階 数	建築面積(m ²)	延べ面積(m ²)	備 考																																																		
配膳室	鉄骨造	1	61.86	50.00	耐火構造																																																		
便所棟(撤去)	木造	1	54.66	29.81	解体撤去																																																		
	部 数(枚/1枚につき)	分 類 ・ 規 格	原簿の大きさ(mm)																																																				
着 工 前	1	カラーサービス版	24×36以上																																																				
工 事 中	1	カラーサービス版	24×36以上																																																				
屋 内	2	カラーサービス版	24×36以上																																																				
(8)箇所		カラーキャビネ版	60×70以上																																																				
外 観	2	カラーキャビネ版	24×36以上																																																				
(10)箇所		カラーパネル半切	60×70以上																																																				
【 2 】 適 用 範 囲 現場説明書(質疑回答書を含む)、本特記仕様書、図面、標準仕様書に示す範囲とする。 すべての設計図書は相互に補充するものとし、相違がある場合は、上記の順番を優先順位とする。 上記の標準仕様書とは、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(平成22年版)をいう。(以下、これを「標仕」という。) 本書に特に記載のない事項であっても、すべて、「標仕」の適用を受けるものとする。 【 3 】 工 事 区 分 設計図書による。 別契約の施工上密接に関連する工事との取合い部分が発生する場合は、別紙工事区分表による。 【 4 】 工 事 仕 様 1.設計図書による。設計図書に記載されていない事項は、「標仕」のほか別記の適用基準による。 2.項目は、番号に 印の付いたものを適用する。 3.特記事項は、 印の付いたものを適用する。 印の付かない場合は、 印の付いたものを適用する。 印と 印の付いた場合は、共に適用する。 印が抹消された場合は、 印のみ適用する。 4.項目及び特記事項に記載の()内表示番号は「標仕」の当該項目、当該図又は当該表を示す。		章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																																																
1	適用基準等 公共建築工事標準仕様書(建築工事編) 平成22年版 (監修:国土交通省) 建築工事標準詳細図 平成22年版 (監修:国土交通省) 敷地調査共通仕様書 平成11年版 (監修:建設大臣) 建築鉄骨設計基準及び同解説 平成10年版 (監修:建設大臣) 公共建築改修工事標準仕様書 平成22年版 (監修:国土交通省) 木造建築工事標準仕様書 平成22年版 (監修:国土交通省) 公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編) 平成22年版 (監修:国土交通省) 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編) 平成22年版 (監修:国土交通省) (注:監修欄「国土交通省」は国土交通省大臣官房官庁営繕部を、「建設大臣」は建設大臣官房官庁営繕部を示す)	公共建築工事標準仕様書(建築工事編) 平成22年版 (監修:国土交通省) 建築工事標準詳細図 平成22年版 (監修:国土交通省) 敷地調査共通仕様書 平成11年版 (監修:建設大臣) 建築鉄骨設計基準及び同解説 平成10年版 (監修:建設大臣) 公共建築改修工事標準仕様書 平成22年版 (監修:国土交通省) 木造建築工事標準仕様書 平成22年版 (監修:国土交通省) 公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編) 平成22年版 (監修:国土交通省) 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編) 平成22年版 (監修:国土交通省) (注:監修欄「国土交通省」は国土交通省大臣官房官庁営繕部を、「建設大臣」は建設大臣官房官庁営繕部を示す)	1 一般共通事項 ⑩電気保安技術者(1.3.3) ⑪発生材の処理等(1.3.8)	2	建築材料等 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は監督職員の承諾を受ける。 下記材料品目は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿(最新版)」にある材料とする。 また、同評価事業の評価を受けたものを使用する場合は、評価書の写しを監督職員に提出し、その確認をもって、品質・性能の確認があったものとして行うことができる。(評価名簿によるもの) 床型枠用鋼製デッキプレート(フラット)、鉄骨柱下無収縮モルタル、無収縮グラウト材(プレミックス型、現場調合型)、押出成形セメント板、成形伸縮目地材、乾式保護材(防水立上部)、陶磁器質タイル(陶器質タイル、せつ器質タイル、磁器質タイル、再生材利用タイル)、既製調合モルタル(タイル工用)、既製調合目地材、ルーフトレイン、吸水調整材(珪外用)、アルミニウム製建具、鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス製建具、錠前類(シツガ錠、ハド錠、シツガ錠、本錠り錠)、クローザー類(ドアクローザー、ヒツガクローザー、7077)、自動扉機構(制御装置・駆動装置、検出装置、制御装置・駆動装置・検出装置)、自閉式上吊り引戸機構(手動開き式)、重量シャッター、軽量シャッター、オートヘッド、ガラス(フロート板ガラス、型板ガラス、網入板及び線入板ガラス、熱線吸収板ガラス、倍強ガラス、熱線反射ガラス)、ガラスブロック(中空)、防水剤、ビニル床シート、ビニル床タイル、現場発泡断熱材、リアクティブ(3000N、5000N)、可動間仕切、移動間仕切(スライド)、トイレブラス、煙突用成形ライニング材、天井点検口、床点検口、グレーチング、屋上緑化システム(屋上緑化システム、屋上緑化軽量システム)、トップライト、エポキシ樹脂、タイル部分張替え用接着剤、ポリマーセメントモルタル、鉄製マンホール蓋・弁拵ふた	17 化学物質の濃度測定(1.5.9.) 完成図(1.7.2) ⑪保全に関する資料(1.7.3) 20 中長期保全計画書	2	①基礎種別 2 地盤の載荷試験(4.2.4) ③砂利及び砂地業(4.6.3) ④捨てコンクリート地業(4.6.4) ⑤床下防湿層(4.6.5)																																															

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																					
4	地業工事	⑥土間断熱材 押出法ポリスチレンフォーム3種bのスキン層付き 厚さ 25 mm 50 mm	6	コンクリート工事	⑥構造体強度補正值 (6.4.5) 気温による構造体強度補正值 (S) (表6.4.1) <table border="1"> <tr> <th>予想平均気温 ()</th> <th>補正值</th> <th colspan="3">期 間 (打設日)</th> </tr> <tr> <td>普通</td> <td>早強</td> <td>(T)</td> <td>南部地域</td> <td>中部地域</td> <td>北部地域</td> </tr> <tr> <td>8以上</td> <td>5以上</td> <td>3</td> <td>3/6 ~ 6/30</td> <td>3/11 ~ 7/20</td> <td>3/11 ~ 7/10</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>N/mm2</td> <td>9/11 ~ 11/15</td> <td>9/1 ~ 11/5</td> <td>9/1 ~ 10/31</td> </tr> <tr> <td>0以上</td> <td>0以上</td> <td>6</td> <td>11/16 ~ 3/5</td> <td>11/ 6 ~ 3/10</td> <td>11/ 1 ~ 3/10</td> </tr> <tr> <td>8未満</td> <td>5未満</td> <td>N/mm2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	予想平均気温 ()	補正值	期 間 (打設日)			普通	早強	(T)	南部地域	中部地域	北部地域	8以上	5以上	3	3/6 ~ 6/30	3/11 ~ 7/20	3/11 ~ 7/10			N/mm2	9/11 ~ 11/15	9/1 ~ 11/5	9/1 ~ 10/31	0以上	0以上	6	11/16 ~ 3/5	11/ 6 ~ 3/10	11/ 1 ~ 3/10	8未満	5未満	N/mm2				7	鉄骨工事	①鉄骨の製作工場 監督職員の承諾する工場 建築基準法第77条の5第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた(株)日本鉄骨評価センター又は(株)全国鉄骨評価機構(旧(社)全国鐵構工業協会)の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「(S H M R J)」グレードとして、国土交通大臣から認定を受けた工場もしくは同等以上の能力のある工場	7	鉄骨工事	⑬アンカーボルト (7.2.4) (7.10.3) 適用 構造用アンカー 材質 SNR400B () アンカーフレームの形状及び寸法 図示による () 建方用アンカー 材質 SS400 アンカーボルトの保持及び埋め込み方法 (表7.10.1) 種別 A種 B種 C種 柱底均しモルタルの厚さ 5 0mm 3 0mm																		
		予想平均気温 ()			補正值	期 間 (打設日)																																																										
普通	早強	(T)	南部地域	中部地域	北部地域																																																											
8以上	5以上	3	3/6 ~ 6/30	3/11 ~ 7/20	3/11 ~ 7/10																																																											
		N/mm2	9/11 ~ 11/15	9/1 ~ 11/5	9/1 ~ 10/31																																																											
0以上	0以上	6	11/16 ~ 3/5	11/ 6 ~ 3/10	11/ 1 ~ 3/10																																																											
8未満	5未満	N/mm2																																																														
⑦地盤改良 現場発生土を再利用する。 改良方法 柱状改良杭 (ウルトラコラム工法 同等) セメント及びセメント系固化材を使用した改良土を使用する場合、六価クロム溶出試験を実施し、土壌環境基準を助成して必要に応じ適切な措置を講じること。また、再利用しようとする場合は、基準以下であることを確認すること。 「建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」((財)日本建築学会)を参考とすること。	⑦暑中におけるコクリートの扱い (6.8.2) 暑中における構造体強度補正值 (S) <table border="1"> <tr> <th>地 域</th> <th>日平均気温が25度を超える期間(打設日)</th> <th>補 正 値</th> </tr> <tr> <td>北 部 地 域</td> <td>7月11日～8月31日</td> <td>6N/mm2</td> </tr> <tr> <td>中 部 地 域</td> <td>7月21日～8月31日</td> <td>3N/mm2</td> </tr> <tr> <td>南 部 地 域</td> <td>7月 1 日～9月10日</td> <td></td> </tr> </table>	地 域	日平均気温が25度を超える期間(打設日)	補 正 値	北 部 地 域	7月11日～8月31日	6N/mm2	中 部 地 域	7月21日～8月31日	3N/mm2	南 部 地 域	7月 1 日～9月10日		⑭柱底均しモルタル (7.2.9) モルタルの種別 無収縮モルタル ()																																																		
地 域	日平均気温が25度を超える期間(打設日)	補 正 値																																																														
北 部 地 域	7月11日～8月31日	6N/mm2																																																														
中 部 地 域	7月21日～8月31日	3N/mm2																																																														
南 部 地 域	7月 1 日～9月10日																																																															
5	鉄筋工事	①鉄筋の種類 (5.2.1) (表5.2.1) <table border="1"> <tr> <th>異形鉄筋</th> <th>種類の記号</th> <th>径 (mm)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>S D 2 9 5 A</td> <td>D 1 6 以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>S D 3 4 5</td> <td>D 1 9 以上</td> <td>一般建築物の柱・梁の主筋に適用する</td> </tr> </table>	異形鉄筋	種類の記号	径 (mm)	備 考		S D 2 9 5 A	D 1 6 以下			S D 3 4 5	D 1 9 以上	一般建築物の柱・梁の主筋に適用する	8	寒中コンクリート	⑧寒中コンクリート 予想平均気温が表6.4.1に示す予想平均気温未満の場合には標仕第6章第12節(寒中コンクリート)による。	5	溶融亜鉛メッキ高力ボルト	④高力ボルト (7.2.2) (7.3.2) ボルトの区分 トルシア形高力ボルト セットの種類 2種 (S10T) J I S 形高力ボルト セットの種類 2種 (F10T) すべり係数試験 行わない 行う 試験方法等 図示による ()	8	コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	⑮錆止め塗料 (7.8.3) (18.3.2) 塗料の種類 鉄鋼面の錆止め塗料 屋外 標準仕様書18.3.2表18.3.1 A種 () 屋内 標準仕様書18.3.2表18.3.1 A種 B種 () 亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料 標準仕様書18.3.2表18.3.1 A種 B種 C種 () 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面(鉄骨に溶接されたものに限る) 標準仕様書18.3.2表18.3.1 A種 B種 () 耐火被覆材の接着する面への塗装 行わない 行う																																									
		異形鉄筋	種類の記号	径 (mm)	備 考																																																											
	S D 2 9 5 A	D 1 6 以下																																																														
	S D 3 4 5	D 1 9 以上	一般建築物の柱・梁の主筋に適用する																																																													
2 溶接金網 (5.2.2) 網目の形状、寸法 鉄筋の径 (mm)	⑨コンクリートの試験 (6.10.2) (6.10.6) フレッシュコンクリートの試験 コンクリートの強度試験 材料試験	⑤溶融亜鉛メッキ高力ボルト セットの種類 1類 (F8T相当) 摩擦面の処理 ブラスト処理(表面粗度50µmRz以上) リン酸塩処理 すべり耐力等の確認方法 すべり耐力試験 試験方法等 図示による ()	①補強コンクリートブロック造 (8.2.2) (8.2.4) ブロックの種類 16 (C種) 普通ブロック 16 # (C種) 防水ブロック コンクリートの設計基準強度 F _o (N/mm ²) 充填用及びまくさ 18 以上 上記以外 21 以上 設備配管用ブロック積みの種別 08 (A種) 普通ブロック																																																													
6	コンクリート工事	③鉄筋の継手 (5.3.4) <table border="1"> <tr> <th>部 位</th> <th>接 合 方 法</th> <th>径 (mm)</th> <th>重ね継手の長さ</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">柱・梁の主筋</td> <td>ガス圧接</td> <td>重ね継手</td> <td>D 1 9 以上</td> <td>標仕表5.3.2による</td> </tr> <tr> <td></td> <td>機械式継手</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>ガス圧接</td> <td>重ね継手</td> <td>D 1 6 以下</td> <td>別図表による</td> </tr> </table>	部 位	接 合 方 法	径 (mm)	重ね継手の長さ	柱・梁の主筋	ガス圧接	重ね継手	D 1 9 以上	標仕表5.3.2による		機械式継手			その他	ガス圧接	重ね継手	D 1 6 以下	別図表による	10	軽量コンクリート (6.11.1)	⑩軽量コンクリート 種別 1種 2種 施工箇所	7	ターンバックル (7.2.6)	⑥ターンバックル (7.2.6) 鋼の種類 割弁式 バイブ式 ボルトの種類 羽子板ボルト 両ねじボルト アイボルト	8	ALCパネル (8.4.2) (8.4.5)	③ALCパネル (表8.4.3)(表8.4.4) <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>単位荷重 (N/m²)</th> <th>厚 さ (mm)</th> <th colspan="3">取付け工法 (種別)</th> </tr> <tr> <td>外壁用</td> <td>1180</td> <td>1960</td> <td>100</td> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>間仕切用</td> <td>640</td> <td></td> <td>100</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> <td>E</td> </tr> <tr> <td>屋根用</td> <td>980</td> <td></td> <td>100</td> <td colspan="3">標仕8.4.6 による</td> </tr> <tr> <td>床用</td> <td>2350</td> <td>3530</td> <td>100 150</td> <td colspan="3"></td> </tr> </table>	種 類	単位荷重 (N/m ²)	厚 さ (mm)	取付け工法 (種別)			外壁用	1180	1960	100	A	B	C	間仕切用	640		100	B	C	D	E	屋根用	980		100	標仕8.4.6 による			床用	2350	3530	100 150			
		部 位	接 合 方 法	径 (mm)	重ね継手の長さ																																																											
柱・梁の主筋	ガス圧接	重ね継手	D 1 9 以上	標仕表5.3.2による																																																												
		機械式継手																																																														
その他	ガス圧接	重ね継手	D 1 6 以下	別図表による																																																												
種 類	単位荷重 (N/m ²)	厚 さ (mm)	取付け工法 (種別)																																																													
外壁用	1180	1960	100	A	B	C																																																										
間仕切用	640		100	B	C	D	E																																																									
屋根用	980		100	標仕8.4.6 による																																																												
床用	2350	3530	100 150																																																													
④鉄筋のかぶり厚さ (5.3.5) かぶり厚さは目地底から算定する。 耐久上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さは下表による。 <table border="1"> <tr> <th>施 工 箇 所 等</th> <th>最 小 か ぶり 厚 さ (mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>	施 工 箇 所 等	最 小 か ぶり 厚 さ (mm)			⑪型枠(せき板) (6.9.2) (6.9.3) (6.2.5) 合板の規格 コンクリート型枠用合板の日本農林規格による合板 合板の材種 広葉樹合板、針葉樹合板又はこれらの複合合板 厚さ (mm) 1 2 打放し仕上げのせき板 (表6.2.3) 合板せき板を用いる場合 <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>板 面 の 品 質</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>A種</td> <td>6.9.3(b)(1)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B種</td> <td>6.9.3(b)(2)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>C種</td> <td>6.9.3(b)(2)</td> <td></td> </tr> </table> 合板せき板を用いない場合 せき板の種別 コンクリート面の仕上げり程度 6.2.5(b)(ii) 外部に面する打放し仕上げの打増し厚さ 図示 2 0	種 別	板 面 の 品 質	施 工 箇 所	A種	6.9.3(b)(1)		B種	6.9.3(b)(2)		C種	6.9.3(b)(2)		⑦工作図 (7.3.2) 高力ボルト、普通ボルトのゲージ、ピッチ、H/ありき等 図示による (図に無い場合は鉄骨設計基準による)	2 コンクリートブロック帳壁及び塀 (8.3.1) ブロックの種類 (表8.3.1) <table border="1"> <tr> <th>適 用 箇 所</th> <th>種 類 の 記 号</th> </tr> <tr> <td>間仕切壁、地下二重壁、外壁、塀</td> <td>空洞ブロック 16</td> </tr> <tr> <td>外壁の化粧積み</td> <td>空洞ブロック 16 #</td> </tr> </table>	適 用 箇 所	種 類 の 記 号	間仕切壁、地下二重壁、外壁、塀	空洞ブロック 16	外壁の化粧積み	空洞ブロック 16 #																																							
施 工 箇 所 等	最 小 か ぶり 厚 さ (mm)																																																															
種 別	板 面 の 品 質	施 工 箇 所																																																														
A種	6.9.3(b)(1)																																																															
B種	6.9.3(b)(2)																																																															
C種	6.9.3(b)(2)																																																															
適 用 箇 所	種 類 の 記 号																																																															
間仕切壁、地下二重壁、外壁、塀	空洞ブロック 16																																																															
外壁の化粧積み	空洞ブロック 16 #																																																															
⑤圧接完了後の試験 (5.4.9) 試験方法 超音波探傷試験 引張試験	⑫スリーブ (6.9.3) (表6.9.1) スリーブの材種 <table border="1"> <tr> <th>適 用 箇 所</th> <th>材 種 (規 格 そ の 他)</th> </tr> <tr> <td>水密を要する地中部分等</td> <td>つば付き鋼管 (JIS G3452 の黒管に厚さ6 mm、つば幅50mm以上の鋼板を溶接したもの)</td> </tr> <tr> <td>水密を要しない地中部分等</td> <td>硬質塩化ビニル管 (JIS K6741 の V U)</td> </tr> <tr> <td>上記以外の円形スリーブ</td> <td>溶融亜鉛めっき鋼板 (径200 mm以下は厚0.4 mm以上、径200 mmを超え350 mm以下は厚0.6 mm以上)</td> </tr> </table>	適 用 箇 所	材 種 (規 格 そ の 他)	水密を要する地中部分等	つば付き鋼管 (JIS G3452 の黒管に厚さ6 mm、つば幅50mm以上の鋼板を溶接したもの)	水密を要しない地中部分等	硬質塩化ビニル管 (JIS K6741 の V U)	上記以外の円形スリーブ	溶融亜鉛めっき鋼板 (径200 mm以下は厚0.4 mm以上、径200 mmを超え350 mm以下は厚0.6 mm以上)	⑧仮組 (7.3.10) 実施する 部位 () 実施しない	⑨溶接作業における技能資格者 (7.6.3) 溶接作業者の技量付加試験 行わない 行う 試験の要領 図示による () ()	④押出成形セメント板 (8.5.2) 種類 無石綿タイプ(タイプ) <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>表 面 形 状</th> <th>厚 さ (mm)</th> <th>工 法</th> <th>耐火性能</th> </tr> <tr> <td>外壁</td> <td>フラットパネル デザインパネル(図示) タイルベースパネル</td> <td>3 5 5 0 6 0</td> <td>A種 B種</td> <td>有り (時間) 無し</td> </tr> <tr> <td>間仕切り</td> <td>フラットパネル デザインパネル(図示) タイルベースパネル</td> <td>3 5 5 0 6 0</td> <td>B種 C種</td> <td>有り (時間) 無し</td> </tr> </table>	施工箇所	表 面 形 状	厚 さ (mm)	工 法	耐火性能	外壁	フラットパネル デザインパネル(図示) タイルベースパネル	3 5 5 0 6 0	A種 B種	有り (時間) 無し	間仕切り	フラットパネル デザインパネル(図示) タイルベースパネル	3 5 5 0 6 0	B種 C種	有り (時間) 無し																																					
適 用 箇 所	材 種 (規 格 そ の 他)																																																															
水密を要する地中部分等	つば付き鋼管 (JIS G3452 の黒管に厚さ6 mm、つば幅50mm以上の鋼板を溶接したもの)																																																															
水密を要しない地中部分等	硬質塩化ビニル管 (JIS K6741 の V U)																																																															
上記以外の円形スリーブ	溶融亜鉛めっき鋼板 (径200 mm以下は厚0.4 mm以上、径200 mmを超え350 mm以下は厚0.6 mm以上)																																																															
施工箇所	表 面 形 状	厚 さ (mm)	工 法	耐火性能																																																												
外壁	フラットパネル デザインパネル(図示) タイルベースパネル	3 5 5 0 6 0	A種 B種	有り (時間) 無し																																																												
間仕切り	フラットパネル デザインパネル(図示) タイルベースパネル	3 5 5 0 6 0	B種 C種	有り (時間) 無し																																																												
①コンクリートの強度 (6.1.4) (6.2.1) (6.2.3) 設計基準強度 (F _c) <table border="1"> <tr> <th>打 設 部 位</th> <th>F_c (N/mm²)</th> <th>スランプ (cm)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">構造体</td> <td>基礎</td> <td>2 1</td> <td>1 5 1 8</td> </tr> <tr> <td>上部</td> <td>2 1</td> <td>1 5 1 8</td> </tr> <tr> <td>土間コンクリート</td> <td>1 8</td> <td>1 5 1 8</td> <td>側溝・犬走り</td> </tr> <tr> <td>捨コンクリート</td> <td>1 8</td> <td>1 5 1 8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>軽量コンクリート</td> <td>2 1</td> <td>1 5 1 8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>無筋コンクリート</td> <td>1 8</td> <td>1 5 1 8</td> <td>標仕6.14.1による</td> </tr> </table>	打 設 部 位	F _c (N/mm ²)	スランプ (cm)	備 考	構造体	基礎	2 1	1 5 1 8	上部	2 1	1 5 1 8	土間コンクリート	1 8	1 5 1 8	側溝・犬走り	捨コンクリート	1 8	1 5 1 8		軽量コンクリート	2 1	1 5 1 8		無筋コンクリート	1 8	1 5 1 8	標仕6.14.1による	⑬耐震スリット 方 向 タ イ プ 耐火性能 防水性能 <table border="1"> <tr> <td>垂直方向</td> <td>完全(全貫通型)スリット</td> <td>耐火型</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td>水平方向</td> <td>せん断型部分スリット</td> <td>非耐火型</td> <td>無し</td> </tr> </table>	垂直方向	完全(全貫通型)スリット	耐火型	有り	水平方向	せん断型部分スリット	非耐火型	無し	⑩溶接部の試験 (7.6.11) 完全溶込溶接部の超音波探傷試験 行う 行わない 工場溶接の場合 AQQL 4 . 0 2 . 5 検査水準 第6水準(筋全て) 工場現場溶接の場合 AQQL 4 . 0 2 . 5	⑪耐火被覆 (7.9.2) (7.9.7) 種別 <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>材 料 ・ 工 法</th> <th>適用箇所(部位・部分)</th> </tr> <tr> <td>耐火材吹付け</td> <td>乾式吹付ロックウール 半乾式吹付ロックウール 湿式ロックウール</td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐火板張り</td> <td>繊維混入ケイ酸カルシウム板 強化石膏ボード</td> <td>柱</td> </tr> <tr> <td>耐火材巻付け</td> <td>高断熱ロックウール</td> <td>梁</td> </tr> <tr> <td>耐火塗料塗塗り</td> <td>-</td> <td>庇 梁 ・ 柱</td> </tr> </table>	種 別	材 料 ・ 工 法	適用箇所(部位・部分)	耐火材吹付け	乾式吹付ロックウール 半乾式吹付ロックウール 湿式ロックウール		耐火板張り	繊維混入ケイ酸カルシウム板 強化石膏ボード	柱	耐火材巻付け	高断熱ロックウール	梁	耐火塗料塗塗り	-	庇 梁 ・ 柱											
打 設 部 位	F _c (N/mm ²)	スランプ (cm)	備 考																																																													
構造体	基礎	2 1	1 5 1 8																																																													
	上部	2 1	1 5 1 8																																																													
土間コンクリート	1 8	1 5 1 8	側溝・犬走り																																																													
捨コンクリート	1 8	1 5 1 8																																																														
軽量コンクリート	2 1	1 5 1 8																																																														
無筋コンクリート	1 8	1 5 1 8	標仕6.14.1による																																																													
垂直方向	完全(全貫通型)スリット	耐火型	有り																																																													
水平方向	せん断型部分スリット	非耐火型	無し																																																													
種 別	材 料 ・ 工 法	適用箇所(部位・部分)																																																														
耐火材吹付け	乾式吹付ロックウール 半乾式吹付ロックウール 湿式ロックウール																																																															
耐火板張り	繊維混入ケイ酸カルシウム板 強化石膏ボード	柱																																																														
耐火材巻付け	高断熱ロックウール	梁																																																														
耐火塗料塗塗り	-	庇 梁 ・ 柱																																																														
②レディ-ミクストコンクリートの類別等 (6.1.5) レディ-ミクストコンクリートの類別 類 類	⑭混和剤 (6.3.5) 混和剤 AE剤、AE減水剤又は高性能AE減水剤の 種 (JIS A6204) 混和材 フライアッシュ(JIS A6201) 種又は 種	アルカリシリカ反応性による区分 A (無害)	⑭混和剤 (6.3.5) アルカリシリカ反応性による区分 A (無害)	性能 <table border="1"> <tr> <th>性 能</th> <th>適 用 箇 所 (部 位 ・ 部 分)</th> </tr> <tr> <td>3 0分耐火</td> <td>屋根</td> </tr> <tr> <td>1時間耐火</td> <td>柱、梁、外壁</td> </tr> <tr> <td>2時間耐火</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3時間耐火</td> <td></td> </tr> </table>	性 能	適 用 箇 所 (部 位 ・ 部 分)	3 0分耐火	屋根	1時間耐火	柱、梁、外壁	2時間耐火		3時間耐火																																																			
性 能	適 用 箇 所 (部 位 ・ 部 分)																																																															
3 0分耐火	屋根																																																															
1時間耐火	柱、梁、外壁																																																															
2時間耐火																																																																
3時間耐火																																																																
都市設計							瑞穂中学校配膳施設増築及び受電設備増設等工事		図面番号																																																							
設計番号							平成 24 年 4 月		3																																																							
建築士事務所登録 (24A) 第10211号 建築士登録 第152097号 村林俊治							図面名称		建築工事特記仕様書 2																																																							

章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項																																																
9	防水工事	1 アスファルト防水 (9.2.2) (9.2.3)	(表9.2.3)~(表9.2.8)				10 石工事	1 天然石張り (10.2.1)	石の品質	床用石材	1等品	2等品	12 木工事	5 集材材 (12.2.2)	構造用集材材				13	⑤とい(雨水) (13.5.2) (13.5.3)	といの材種	配管用銅管	硬質ポリ塩化ビニル管	(表13.6.1)																																												
			<table border="1"> <tr> <th>種</th> <th>別</th> <th>防水層</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>A-1</td> <td>A-2</td> <td>表9.2.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A1-1</td> <td>A1-2</td> <td>表9.2.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B-1</td> <td>B-2</td> <td>表9.2.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B1-1</td> <td>B1-2</td> <td>表9.2.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>露出防水</td> <td>D-1</td> <td>D-2</td> <td>表9.2.7</td> </tr> <tr> <td>屋内防水</td> <td>E-1</td> <td>E-2</td> <td>表9.2.8</td> </tr> </table>						種	別	防水層	施 工 箇 所			A-1	A-2	表9.2.3				A1-1	A1-2	表9.2.4		B-1	B-2	表9.2.5		B1-1	B1-2	表9.2.6		露出防水	D-1	D-2	表9.2.7	屋内防水	E-1	E-2	表9.2.8	石の種類・表面仕上げ	<table border="1"> <tr> <th>施 工 箇 所</th> <th>種 類 (産地、名称)</th> <th>表面仕上げの種類</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				施 工 箇 所	種 類 (産地、名称)	表面仕上げの種類													構造用集材材 使用箇所 強度等級 材面の品質 接着性能 樹 種 寸法 1種 2種 3種				といの材種 (屋内といにV.P管は使用しない) 掃除口 設ける (開放性のある自転車置場のといを除く) ルーフトレン ステンレス製 銅管製といの防露 行う (施工箇所 表13.5.4による) 防露材のホルムアルデヒド放散量 F			
			種	別	防水層	施 工 箇 所																																																														
			A-1	A-2	表9.2.3																																																															
			A1-1	A1-2	表9.2.4																																																															
			B-1	B-2	表9.2.5																																																															
			B1-1	B1-2	表9.2.6																																																															
			露出防水	D-1	D-2	表9.2.7																																																														
			屋内防水	E-1	E-2	表9.2.8																																																														
			施 工 箇 所	種 類 (産地、名称)	表面仕上げの種類																																																															
アスファルトの種類 3種 アスファルトルーフィング 1500				2 テラソ張り (10.2.1)				種の種類	大理石	(表10.2.2)				6 保証書 請負業者、屋根施工業者、屋根材料メーカーの連名による保証書を提出すること。 (保証年限:工事的物引渡しより 10年間以上とする。)																																																						
断熱工法の断熱材 厚さ(mm) 25 材質 押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bのスキン層付 (ただし、特定フロンを含まないものとする。)				3 壁の石張り工法 (10.3.3) (10.4.3) (10.5.3)				外壁石張り 工法	外壁湿式工法 (流し筋工法) 乾式工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定める。	裏面及び裏打ち処理 行わない 行う(表面処理の場合小口共) ドレインパイプ ステンレスSUS304				14 ①ステンレスの 表面仕上げ (14.2.1)				<table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>施 工 箇 所 (手すり、タラップ、建具以外)</th> </tr> <tr> <td>H.L程度</td> <td>下記以外の見掛け全て</td> </tr> <tr> <td>2B程度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鏡面仕上げ</td> <td></td> </tr> </table>				種 類	施 工 箇 所 (手すり、タラップ、建具以外)	H.L程度	下記以外の見掛け全て	2B程度		鏡面仕上げ																																								
種 類	施 工 箇 所 (手すり、タラップ、建具以外)																																																																			
H.L程度	下記以外の見掛け全て																																																																			
2B程度																																																																				
鏡面仕上げ																																																																				
絶縁用シート ポリエチレンフィルム厚0.15(保護防水工法) フラットヤークロス(70g/m程度)(保護防水断熱工法)				4 床及び階段の 石張り (10.6.2) (10.6.3)				石の厚さ(mm)	床石張りの裏面処理 行わない 行う 屋内のワックス掛け 行わない 行う	14 2 アルミニウム及び アルミニウム合金 の表面処理 (14.2.2)				<table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>種 類</th> <th>施 工 箇 所 (手すり、成形板、笠木、建具以外)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				種 別	種 類	施 工 箇 所 (手すり、成形板、笠木、建具以外)																																																
種 別	種 類	施 工 箇 所 (手すり、成形板、笠木、建具以外)																																																																		
端部押え金物 アルミニウム製 L30×15×2.0				②施工後の確認及 試験 (11.1.4)				浮きの確認	全面打診による確認を行う	14 3 鉄の亜鉛めっき (14.2.3)				<table border="1"> <tr> <th>表面処理方法</th> <th>種 別</th> <th>試 験</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>溶融亜鉛めっき</td> <td>A種 B種 C種</td> <td>行う</td> <td>手すり 門扉</td> </tr> <tr> <td>電気亜鉛めっき</td> <td>D種 E種 F種</td> <td>行う</td> <td></td> </tr> </table>				表面処理方法	種 別	試 験	施 工 箇 所	溶融亜鉛めっき	A種 B種 C種	行う	手すり 門扉	電気亜鉛めっき	D種 E種 F種	行う																																								
表面処理方法	種 別	試 験	施 工 箇 所																																																																	
溶融亜鉛めっき	A種 B種 C種	行う	手すり 門扉																																																																	
電気亜鉛めっき	D種 E種 F種	行う																																																																		
立上がり押え レンガ押え(JIS) ゴムパッキン押え 乾式保護材 脱気装置 設ける 材 種 () 設置数量 (1箇所/㎡)				③陶磁器質タイル 張り (11.2.1)				タイルの種類 (表11.3.2)	<table border="1"> <tr> <th>施工箇所及びタイルの種類</th> <th>形状寸法(mm)</th> <th>生地</th> <th>釉 薬</th> <th>役 物</th> <th>色</th> <th>耐凍害性</th> <th>工法その他</th> </tr> <tr> <td>段鼻 ノンスリップ (増築部)</td> <td>垂れ付段鼻 94・194・30</td> <td>磁器 陶器</td> <td>無釉 施釉 せつ器</td> <td>有り 無し</td> <td>標準 特注</td> <td>有り 無し</td> <td></td> </tr> <tr> <td>150 床タイル (階段改修部)</td> <td>144・144・20</td> <td>磁器 陶器</td> <td>無釉 施釉 せつ器</td> <td>有り 無し</td> <td>標準 特注</td> <td>有り 無し</td> <td></td> </tr> <tr> <td>段鼻 ノンスリップ (階段改修部)</td> <td>垂れ付段鼻 144・144・30</td> <td>磁器 陶器</td> <td>無釉 施釉 せつ器</td> <td>有り 無し</td> <td>標準 特注</td> <td>有り 無し</td> <td></td> </tr> </table>				施工箇所及びタイルの種類	形状寸法(mm)	生地	釉 薬	役 物	色	耐凍害性	工法その他	段鼻 ノンスリップ (増築部)	垂れ付段鼻 94・194・30	磁器 陶器	無釉 施釉 せつ器	有り 無し	標準 特注	有り 無し		150 床タイル (階段改修部)	144・144・20	磁器 陶器	無釉 施釉 せつ器	有り 無し	標準 特注	有り 無し		段鼻 ノンスリップ (階段改修部)	垂れ付段鼻 144・144・30	磁器 陶器	無釉 施釉 せつ器	有り 無し	標準 特注	有り 無し		14 ④軽量鉄骨天井 下地 (14.4.1) (14.4.4)				<table border="1"> <tr> <th>野縁等の種類</th> <th>屋内</th> <th>19型</th> <th>25型</th> </tr> <tr> <td></td> <td>屋外</td> <td>19型</td> <td>25型</td> </tr> </table>				野縁等の種類	屋内	19型	25型		屋外	19型	25型								
施工箇所及びタイルの種類	形状寸法(mm)	生地	釉 薬	役 物	色	耐凍害性	工法その他																																																													
段鼻 ノンスリップ (増築部)	垂れ付段鼻 94・194・30	磁器 陶器	無釉 施釉 せつ器	有り 無し	標準 特注	有り 無し																																																														
150 床タイル (階段改修部)	144・144・20	磁器 陶器	無釉 施釉 せつ器	有り 無し	標準 特注	有り 無し																																																														
段鼻 ノンスリップ (階段改修部)	垂れ付段鼻 144・144・30	磁器 陶器	無釉 施釉 せつ器	有り 無し	標準 特注	有り 無し																																																														
野縁等の種類	屋内	19型	25型																																																																	
	屋外	19型	25型																																																																	
伸縮調整目地 成形伸縮目地材 成形緩衝材 ルーフィング類製造所の指定品 屋根保護防水工法の保護層 表面仕上げ 金ごて仕上げ				④張付け用材料 (11.2.3)				接着剤のホルムアルデヒド放散量 F	13 ①性能 (13.2.2) (13.2.3)				7 アルミニウム製 笠木 (14.7.2) (14.7.3)				<table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>板厚(mm)</th> <th>表面処理</th> <th>固定間隔</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>250 形</td> <td>1.6</td> <td>A-1種(無着色)</td> <td rowspan="3">1.3 m程度</td> <td rowspan="3">押出型材 曲げ材 隅角部及び突当たり部等の役 物は本体製造の仕様による。</td> </tr> <tr> <td>300 形</td> <td>1.8</td> <td>A-2種(着色)</td> </tr> <tr> <td>350 形</td> <td>2.0</td> <td>B-1種(無着色) B-2種(着色)</td> </tr> </table>				種 類	板厚(mm)	表面処理	固定間隔	備 考	250 形	1.6	A-1種(無着色)	1.3 m程度	押出型材 曲げ材 隅角部及び突当たり部等の役 物は本体製造の仕様による。	300 形	1.8	A-2種(着色)	350 形	2.0	B-1種(無着色) B-2種(着色)																																
種 類	板厚(mm)	表面処理	固定間隔	備 考																																																																
250 形	1.6	A-1種(無着色)	1.3 m程度	押出型材 曲げ材 隅角部及び突当たり部等の役 物は本体製造の仕様による。																																																																
300 形	1.8	A-2種(着色)																																																																		
350 形	2.0	B-1種(無着色) B-2種(着色)																																																																		
2 改質アスファルト シート防水 (9.3.2)				12 木工事				表面仕上げの程度	A種 B種 C種	(表12.1.1)				8 手すり (14.8.2)				<table border="1"> <tr> <th>材 料 及 び 表 面 処 理</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>ステンレス製SUS304</td> <td>H.L程度 鏡面程度</td> </tr> <tr> <td>銅製 亜鉛めっき 外部</td> <td>C種 内部 E種</td> </tr> <tr> <td>アルミニウム製</td> <td>B-1</td> </tr> </table>				材 料 及 び 表 面 処 理	施 工 箇 所	ステンレス製SUS304	H.L程度 鏡面程度	銅製 亜鉛めっき 外部	C種 内部 E種	アルミニウム製	B-1																																							
材 料 及 び 表 面 処 理	施 工 箇 所																																																																			
ステンレス製SUS304	H.L程度 鏡面程度																																																																			
銅製 亜鉛めっき 外部	C種 内部 E種																																																																			
アルミニウム製	B-1																																																																			
3 合成高分子系 ルーフィングシート防水 (9.4.2) (9.4.4)				12 木工事				1 表面仕上げ (12.1.4)	2 木材の含水率 (12.2.1)				9 タラップ及び丸環 (14.8.3)				⑩天井点検口				<table border="1"> <tr> <th>材 質</th> <th>形状</th> <th>差込式</th> <th>据置式</th> <th>壁張り式</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				材 質	形状	差込式	据置式	壁張り式																																							
材 質	形状	差込式	据置式	壁張り式																																																																
4 塗膜防水 (9.5.3)				12 木工事				3 木材の品質 (12.2.1)	品質の基準 構造材 柱(見掛け部) 梁(見掛け部) (見隠れ部) 上小節 小節 図示 図示				10 止水板				11 床点検口				<table border="1"> <tr> <th>材 質</th> <th>ステンレス製SUS304 (表面処理 2 D程度)</th> </tr> </table>				材 質	ステンレス製SUS304 (表面処理 2 D程度)																																										
材 質	ステンレス製SUS304 (表面処理 2 D程度)																																																																			
5 漏水試験				12 木工事				4 樹種 (12.2.1)	使用木材のうち杉、ひのきについては京都府内産木材とする。 京都府内産木材の産地証明書を提出のこと 可(表12.2.3) (上記府内産木材の他、特記されているものは不可) 不可				10 止水板				11 床点検口				<table border="1"> <tr> <th>寸法(mm)</th> <td>600</td> <td>500角</td> </tr> <tr> <th>断熱材</th> <td>有り</td> <td>無し</td> </tr> </table>				寸法(mm)	600	500角	断熱材	有り	無し																																						
寸法(mm)	600	500角																																																																		
断熱材	有り	無し																																																																		
6 保証書				12 木工事				4 樹種 (12.2.1)	使用木材のうち杉、ひのきについては京都府内産木材とする。 京都府内産木材の産地証明書を提出のこと 可(表12.2.3) (上記府内産木材の他、特記されているものは不可) 不可				10 止水板				11 床点検口				<table border="1"> <tr> <th>寸法(mm)</th> <td>600</td> <td>500角</td> </tr> <tr> <th>断熱材</th> <td>有り</td> <td>無し</td> </tr> </table>				寸法(mm)	600	500角	断熱材	有り	無し																																						
寸法(mm)	600	500角																																																																		
断熱材	有り	無し																																																																		
⑦シーリング(9.6.2)				12 木工事				4 樹種 (12.2.1)	使用木材のうち杉、ひのきについては京都府内産木材とする。 京都府内産木材の産地証明書を提出のこと 可(表12.2.3) (上記府内産木材の他、特記されているものは不可) 不可				10 止水板				11 床点検口				<table border="1"> <tr> <th>寸法(mm)</th> <td>600</td> <td>500角</td> </tr> <tr> <th>断熱材</th> <td>有り</td> <td>無し</td> </tr> </table>				寸法(mm)	600	500角	断熱材	有り	無し																																						
寸法(mm)	600	500角																																																																		
断熱材	有り	無し																																																																		
⑧目地寸法 (9.6.3)				12 木工事				4 樹種 (12.2.1)	使用木材のうち杉、ひのきについては京都府内産木材とする。 京都府内産木材の産地証明書を提出のこと 可(表12.2.3) (上記府内産木材の他、特記されているものは不可) 不可				10 止水板				11 床点検口				<table border="1"> <tr> <th>寸法(mm)</th> <td>600</td> <td>500角</td> </tr> <tr> <th>断熱材</th> <td>有り</td> <td>無し</td> </tr> </table>				寸法(mm)	600	500角	断熱材	有り	無し																																						
寸法(mm)	600	500角																																																																		
断熱材	有り	無し																																																																		
9 シーリングの試験 (9.6.5)				12 木工事				4 樹種 (12.2.1)	使用木材のうち杉、ひのきについては京都府内産木材とする。 京都府内産木材の産地証明書を提出のこと 可(表12.2.3) (上記府内産木材の他、特記されているものは不可) 不可				10 止水板				11 床点検口				<table border="1"> <tr> <th>寸法(mm)</th> <td>600</td> <td>500角</td> </tr> <tr> <th>断熱材</th> <td>有り</td> <td>無し</td> </tr> </table>				寸法(mm)	600	500角	断熱材	有り	無し																																						
寸法(mm)	600	500角																																																																		
断熱材	有り	無し																																																																		
10 止水板				12 木工事				4 樹種 (12.2.1)	使用木材のうち杉、ひのきについては京都府内産木材とする。 京都府内産木材の産地証明書を提出のこと 可(表12.2.3) (上記府内産木材の他、特記されているものは不可) 不可				10 止水板				11 床点検口				<table border="1"> <tr> <th>寸法(mm)</th> <td>600</td> <td>500角</td> </tr> <tr> <th>断熱材</th> <td>有り</td> <td>無し</td> </tr> </table>				寸法(mm)	600	500角	断熱材	有り	無し																																						
寸法(mm)	600	500角																																																																		
断熱材	有り	無し																																																																		
都市設計														工事名称		瑞穂中学校配膳施設増築及び受電設備増設等工事				図面番号																																																
														図面名称		建築工事特記仕様書 3				4																																																
設計番号														平成 24 年 4 月																																																						
Ver_H22_01																																																																				

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																			
15 左官工事	①モルタル塗り (15.2.2) ~ (15.2.5)	既製目地材 適用する (形状) 床の目地 外部 プラットホーム、スロープ 設ける (工法 横仕15.2.6(b)(3)による)	⑤仕上塗材の下地処理 (15.5.4)	A L Cパネルの内壁目地部の形状 V型目地付き ALCフラットパネルの外壁目地 アルタック目地処理	16 建具工事	⑩建具用金物 (16.7.2) ~ (16.7.4)	マスターキーの製作 作成する (グループ、各グループ 個) 作成しない 在来マスターキーに合わせる																			
	②床コット直均し仕上 (15.3.1)	塗り物、敷物、張り物等の下地への適用 適用する (適用床仕上げ、範囲 塗り床下地)	6 ロックウール吹付け (15.7.2)	吹付け厚さ (mm) 施 工 箇 所 仕上げ表による		17 カーテンウオル工事	11 自動ドア開閉装置 (16.8.2) ~ (16.8.4)	⑫自閉式上吊り引戸装置 (16.9.3)																		
	③セルフレベリング材塗り (15.4.2)	種類及び品質は表15.4.1による 石こう系 セメント系 厚さ (mm) 10 15	①性能 本特記仕様書「1章 一般共通事項 4 風圧力及び積雪に対する性能」を満足させること。	吹付け厚さ (mm) 施 工 箇 所 仕上げ表による					18 塗装工事	12 重量シャッター (16.10.2) ~ (16.10.4)	13 軽量シャッター (16.11.2) (16.11.4)															
	④仕上塗材仕上げ (15.5.2)	薄付け仕上塗材 (表15.5.1)	2 見本の製作等 (16.1.4)	開口部の進入防止対策上有効な措置が講じられた「防犯建物部品」を適用する箇所 ・ ドア 適用箇所 () ・ サッシ 適用箇所 () ・ シャッター 適用箇所 ()								19 ガラス	14 ガラス (16.13.2)	15 オーバーヘッドドア (16.12.2) ~ (16.12.4)												
	16 建具工事	④アルミニウム製建具 (16.2.2) ~ (16.2.4)	⑥網戸 (16.2.3)	外部に面するアルミニウム製建具の性能等級 (表16.2.1)											⑦鋼製軽量建具 (16.4.2) (16.4.4)	⑧ステンレス製建具 (16.5.2) (16.5.3) (16.5.4)	⑨木製建具 (16.6.2)	⑪ガラス留め材 (16.13.2)								
																			性能値等の区分 (表16.9.1)	性能等級 A種 B種 C種 耐風圧性 S - 4 S - 5 S - 6 気密性 A - 3 A - 4 水密性 W - 4 W - 5 枠見込み (mm) 70 100 100	表面処理 (表14.2.1)	種類 別 施 工 箇 所 B 4種 (無着色) B 2種 (着色)	種類 別 種類及び厚さによる種別 種類 別 種類及び厚さによる種別 フロートガラス 熱線吸収ガラス 型板ガラス 複層ガラス 網入板ガラス FW-6.8 CPW-6.8 熱線反射ガラス 合わせガラス 倍強度ガラス 強化ガラス	種類 別 種類及び厚さによる種別 種類 別 種類及び厚さによる種別 フロートガラス 熱線吸収ガラス 型板ガラス 複層ガラス 網入板ガラス FW-6.8 CPW-6.8 熱線反射ガラス 合わせガラス 倍強度ガラス 強化ガラス		
																			防音ドアセット、防音サッシの適用 (遮音性の等級) 断熱ドアセット、断熱サッシの適用 (断熱性の等級) 耐震ドアセットの適用 (面内変形追従性の等級)	防音ドアセット、防音サッシの適用 (遮音性の等級) 断熱ドアセット、断熱サッシの適用 (断熱性の等級) 耐震ドアセットの適用 (面内変形追従性の等級)	防音ドアセット、防音サッシの適用 (遮音性の等級) 断熱ドアセット、断熱サッシの適用 (断熱性の等級) 耐震ドアセットの適用 (面内変形追従性の等級)	防音ドアセット、防音サッシの適用 (遮音性の等級) 断熱ドアセット、断熱サッシの適用 (断熱性の等級) 耐震ドアセットの適用 (面内変形追従性の等級)	防音ドアセット、防音サッシの適用 (遮音性の等級) 断熱ドアセット、断熱サッシの適用 (断熱性の等級) 耐震ドアセットの適用 (面内変形追従性の等級)	防音ドアセット、防音サッシの適用 (遮音性の等級) 断熱ドアセット、断熱サッシの適用 (断熱性の等級) 耐震ドアセットの適用 (面内変形追従性の等級)	防音ドアセット、防音サッシの適用 (遮音性の等級) 断熱ドアセット、断熱サッシの適用 (断熱性の等級) 耐震ドアセットの適用 (面内変形追従性の等級)	防音仕様、断熱仕様及び耐震仕様については図示による。 出入口のくつずりにステンレスを使用する場合は図示による。
																			厚付け仕上塗材 (表15.5.1)	⑤網戸 (16.2.3)	⑥鋼製建具 (16.3.2) (16.3.4)	⑦鋼製軽量建具 (16.4.2) (16.4.4)	⑧ステンレス製建具 (16.5.2) (16.5.3) (16.5.4)	⑨木製建具 (16.6.2)	⑩ガラス留め材 (16.13.2)	⑪ガラスブロック (16.13.5)
																			薄付け仕上塗材 (表15.5.1)	⑥網戸 (16.2.3)	⑦鋼製建具 (16.3.2) (16.3.4)	⑧ステンレス製建具 (16.5.2) (16.5.3) (16.5.4)	⑨木製建具 (16.6.2)	⑩ガラス留め材 (16.13.2)	⑪ガラスブロック (16.13.5)	⑫ガラス留め材 (16.13.2)
																			厚付け仕上塗材 (表15.5.1)	⑦鋼製建具 (16.3.2) (16.3.4)	⑧ステンレス製建具 (16.5.2) (16.5.3) (16.5.4)	⑨木製建具 (16.6.2)	⑩ガラス留め材 (16.13.2)	⑪ガラスブロック (16.13.5)	⑫ガラス留め材 (16.13.2)	⑬ガラス留め材 (16.13.2)
																			薄付け仕上塗材 (表15.5.1)	⑧ステンレス製建具 (16.5.2) (16.5.3) (16.5.4)	⑨木製建具 (16.6.2)	⑩ガラス留め材 (16.13.2)	⑪ガラスブロック (16.13.5)	⑫ガラス留め材 (16.13.2)	⑬ガラス留め材 (16.13.2)	⑭ガラス留め材 (16.13.2)
																			薄付け仕上塗材 (表15.5.1)	⑨木製建具 (16.6.2)	⑩ガラス留め材 (16.13.2)	⑪ガラスブロック (16.13.5)	⑫ガラス留め材 (16.13.2)	⑬ガラス留め材 (16.13.2)	⑭ガラス留め材 (16.13.2)	⑮ガラス留め材 (16.13.2)
																			薄付け仕上塗材 (表15.5.1)	⑩ガラス留め材 (16.13.2)	⑪ガラスブロック (16.13.5)	⑫ガラス留め材 (16.13.2)	⑬ガラス留め材 (16.13.2)	⑭ガラス留め材 (16.13.2)	⑮ガラス留め材 (16.13.2)	⑯ガラス留め材 (16.13.2)
																			薄付け仕上塗材 (表15.5.1)	⑪ガラスブロック (16.13.5)	⑫ガラス留め材 (16.13.2)	⑬ガラス留め材 (16.13.2)	⑭ガラス留め材 (16.13.2)	⑮ガラス留め材 (16.13.2)	⑯ガラス留め材 (16.13.2)	⑰ガラス留め材 (16.13.2)
																			薄付け仕上塗材 (表15.5.1)	⑫ガラス留め材 (16.13.2)	⑬ガラス留め材 (16.13.2)	⑭ガラス留め材 (16.13.2)	⑮ガラス留め材 (16.13.2)	⑯ガラス留め材 (16.13.2)	⑰ガラス留め材 (16.13.2)	⑱ガラス留め材 (16.13.2)
薄付け仕上塗材 (表15.5.1)					⑬ガラス留め材 (16.13.2)														⑭ガラス留め材 (16.13.2)	⑮ガラス留め材 (16.13.2)	⑯ガラス留め材 (16.13.2)	⑰ガラス留め材 (16.13.2)	⑱ガラス留め材 (16.13.2)	⑲ガラス留め材 (16.13.2)		
薄付け仕上塗材 (表15.5.1)					⑭ガラス留め材 (16.13.2)	⑮ガラス留め材 (16.13.2)	⑯ガラス留め材 (16.13.2)	⑰ガラス留め材 (16.13.2)											⑱ガラス留め材 (16.13.2)	⑲ガラス留め材 (16.13.2)	⑲ガラス留め材 (16.13.2)					
薄付け仕上塗材 (表15.5.1)					⑮ガラス留め材 (16.13.2)	⑯ガラス留め材 (16.13.2)	⑰ガラス留め材 (16.13.2)	⑱ガラス留め材 (16.13.2)	⑲ガラス留め材 (16.13.2)	⑲ガラス留め材 (16.13.2)	⑲ガラス留め材 (16.13.2)															

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
19 内装工事	接着剤 (19.2.2)(19.3.3) (19.5.5)(19.5.6) (19.7.2)(19.8.2) (19.9.2)	ビニ床タイル、ビニ床シート、ゴム床タイル、カーペット、フローリング、ボード類、合板、壁紙、断熱材の接着に使用する接着剤 ホルムアルデヒド等の放散量 JISで定める F 大臣認定品 トルエン、キシレン、アセトン 含有量の少ない規格品 接着剤に含まれる可塑剤 (壁紙用) 7%酸 7%等を含有しない、難揮発性のもので規格品 (木工用) 7%酸 7%等を含有しない、難揮発性のもの	19 内装工事	12 緑甲板張り (12.5.1)	樹種 等級 仕上程度 施工箇所	20 ユニット及びその他の工事	①家具、エント等の揮発性有機化合物対策	収納家具その他ユニットに使用する材料で、合板、化粧合板、MDF等のホルムアルデヒド等の放散量 JISで定める F F 収納家具その他ユニットに使用する合板等の接着剤 ホルムアルデヒド等の放散量 JISで定める F F 接着剤に含まれる可塑剤 7%酸 7%等を含有しない、難揮発性のもの	20 ユニット及びその他の工事	⑩表示・標識 (20.2.10) (20.2.11)	衝突防止表示 図示 (市販品 ステンレス製 径 30 mm) なし 法令に基づく表示 非常用進入口表示等は消防法に適合する市販品とし、その他は標準詳細図による。
	2 ビニ床シート張り (19.2.2)	種 類 記号 厚さ(mm) 色 柄 工法 施工箇所 発泡層のないもの NC 2.5 無地 熱溶接 仕上表による 発泡層のあるもの マーブル		種別 A種 B種 C種 D種 (表19.6.1)	2 フリーアクセスフロア (20.2.2)		建設技術評価制度「耐震型リアブリック」の技術評価を取得した製品とする。 パネル構法 施工箇所 設定高さ(mm) 地震時水平力 床仕上げ 1.0 G タイルカーペット 0.6 G 帯電防止ビニ床タイル 溝構法 施工箇所 設定高さ(mm) 地震時水平力 床仕上げ 1.0 G タイルカーペット 0.6 G 帯電防止ビニ床タイル 表面仕上げ材の品質、規模等は、標仕18章内装工事による。	⑪ブラインド (20.2.12)		案内板(館内、各階、便所) 厚さ(mm) 材質 色 書体 印刷等の種類 取付け形式 5 アクリル板 アルミ板 角太ゴシック丸 シルク印刷 平付型 持出型 外国語表現 行う (英語) 寸法(mm) 50×250 60×250 図示	
	3 ビニ床タイル張り (19.2.2)	種 類 記号 厚さ(mm) 品質・規格 コンポジションビニ床タイル(半硬質) CT 2.0 コンポジションビニ床タイル(軟質) CTS 2.5 ホモジニアスピニ床タイル HT		種別 表19.7.1によるJIS規格品とする (表19.7.1) 種 類 規 格、厚 さ (mm) 等 せっこうボード(GB R) 12.5(不燃) 9.5(準不燃) 化粧せっこうボード(GB D) 杉板模様 トラバーチン模様 12.5(不燃) (軒下地は専用のものとする) 不燃積層せっこうボード(GB NC) トラバーチン模様 9.5(不燃) シーリングせっこうボード(GB S) 15(不燃) 12.5(準不燃) 9.5(準不燃) 強化せっこうボード(GB F) 21(不燃) 15(不燃) 12.5(不燃) ロックウール吸音ボード(RW B) 25 グラスウール吸音ボード(GW B) 25 吸音あなきせっこうボード(GB P) 9.5(準不燃) ロックウール化粧吸音板(DR) 内部用 フラット 12(不燃) 9(不燃) 立体模様 15(不燃) 12(不燃) 軒天用 フラット 12(不燃) 9(不燃) 立体模様 15(不燃) 12(不燃)	③可動間仕切 (20.2.3)		種 類 構造形式 構成基材 表面仕上 遮音性 寸法・形状 パネル式 スタッド式 スタッドパネル式 メラミン樹脂系化粧板 アクリル樹脂焼付	⑫ロールスクリーン (20.2.13)		操作方法 スプリング式 チェーン式 幅及び高さ スクリーンの材質 布製 ガラス繊維製 木製 品質・規格	
	4 帯電防止床タイル (19.2.2)	種 類 性 能 厚 さ (mm) 帯電防止床シート 体積抵抗値 1.0×10 ⁹ 以下 帯電防止床タイル		けい酸カルシウム板(0.8FK) タイプ2(無石綿) 8.0 6.0 メラミン樹脂化粧板 JIS K 6903 による 1.2 難燃木毛セメント板 30 25 20 15 断熱木毛セメント板 30 25 20 15 普通合板 厚さ 接着の程度 表板樹種 (難燃処理 防煙処理) 表板の品質 防虫処理 行う 天然木化粧合板 厚さ 接着の程度 (難燃処理 防煙処理) 化粧板樹種 ならしおじ 防虫処理 行う 特殊加工化粧合板 厚さ 接着の程度 化粧加工の方法 (難燃処理 防煙処理) 表面性能 F FW W WS 防虫処理 行う その他下張り用合板	4 移動間仕切 (20.2.4)		パネル操作法による種類 パネル表面材・仕上 パネル圧接装置の操作方法 遮音性能 あと施工アンカー 材質() 寸法() 引抜耐力試験 行う	⑬カーテン (20.2.14)		取得方法 スプリング式 チェーン式 幅及び高さ スクリーンの材質 布製 ガラス繊維製 木製 品質・規格	
	5 誘導用、注意喚起用床材 (19.2.2)	種 類 寸 法 (mm) 厚 さ (mm) 塩化ビニル系 300mm角 レジンコンクリート系 150mm角 磁器又はせっ器質タイル		軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材 アクリル系シーリング ジョイントコンパウンド せっこうボードの目地処理 (表19.7.5) 目透かし 突付け 継目処理 (表19.7.3) 合板類の張付け A種 B種 パネルボード、MDF、合板、化粧合板等のホルムアルデヒド等の放散量 JISで定める F F	5 トイレブース (20.2.5)		表面材 メラミン樹脂系化粧板 ポリエステル樹脂系化粧板 (標準色、アルミ製コーナーエッジ付き) () 脚部 幅木型 足金物型 ヒンジ グレブティールヒンジ	⑭カーテンレール (20.2.14)		取得箇所 形式 開閉操作方法 カーテン用切れ地の種類 引掛タイプ 片引 引分 電動 引き引 種類・品質・特殊加工等 ひだの種類	
	6 耐動荷重性床シート (19.2.2)	種類() 厚さ()		防火性能・品質・規格・施工箇所 図示による 壁紙のホルムアルデヒド等の放散量 JISで定める F 大臣認定品 素地ごしらえ モルタル及びプラスチック面 A種 B種 (表18.2.4) コンクリート面 A種 B種 (表18.2.5) せっこうボード面 目地継目処理工法の場合 A種 B種 (表18.2.7) 突付け・目透し工法の場合 A種 B種 (表18.2.7)	6 階段滑り止め (20.2.6)		材質 アルミニウム製 塩化ビニル製	⑮カーテンボックス (20.2.14)		取得箇所 形式 開閉操作方法 カーテン用切れ地の種類 引掛タイプ 片引 引分 電動 引き引 種類・品質・特殊加工等 ひだの種類	
	7 ビニ床幅木 (19.2.2)	種 類 寸 法 (mm) 厚 さ (mm) 軟質 硬質 60 75 100 1.5 2.0		⑯天井廻り縁 (19.9.2) (19.9.3)	⑯断熱・防露 (19.9.2) (19.9.3)		8 黒板及びホワイトボード (20.2.8)	⑰鏡 (20.2.9)		⑮カーテンボックス (20.2.14)	取得箇所 形式 開閉操作方法 カーテン用切れ地の種類 引掛タイプ 片引 引分 電動 引き引 種類・品質・特殊加工等 ひだの種類
	8 ゴム床タイル張り (19.2.2)	色 柄 厚 さ (mm) 寸 法 (mm) 品 質 ・ 規 格		打込み工法 ビーズ法 [※] 吹付フォーム 種類 () 断熱材厚さ() 難燃性等級 () 硬質ウレタンフォーム 種類 (A種) 断熱材厚さ() 難燃性等級 () フォーム 種類 () 断熱材厚さ() 難燃性等級 () F 押出発法 [※] 吹付フォーム 種類 () 断熱材厚さ(25) 難燃性等級 () 現場発泡工法 建築物断熱用吹付硬質ウレタンフォーム 種類 (A種1) 断熱材厚さ() 難燃性等級 () 開口部等補修用接着剤のホルムアルデヒド放散量はJISで定めるF とする 特定フロンを使用しないものとする。	8 黒板及びホワイトボード (20.2.8)		⑰鏡 (20.2.9)	⑰鏡 (20.2.9)		⑮カーテンボックス (20.2.14)	取得箇所 形式 開閉操作方法 カーテン用切れ地の種類 引掛タイプ 片引 引分 電動 引き引 種類・品質・特殊加工等 ひだの種類
	9 カーペット敷き (19.3.3) (19.3.4)	カーペットの種類等 施工箇所 帯電性 人体帯電圧値3KV以下		⑰断熱・防露 (19.9.2) (19.9.3)	⑰断熱・防露 (19.9.2) (19.9.3)		8 黒板及びホワイトボード (20.2.8)	⑰鏡 (20.2.9)		⑮カーテンボックス (20.2.14)	取得箇所 形式 開閉操作方法 カーテン用切れ地の種類 引掛タイプ 片引 引分 電動 引き引 種類・品質・特殊加工等 ひだの種類
	⑩合成樹脂塗り床 (19.4.2)	弾性ウレタン系塗床材 平滑仕上げ 防滑仕上げ つや消し仕上げ 塗厚(mm) 1.5 エポキシ樹脂系塗床材 薄膜流し展べ仕上げ 厚膜流し展べ仕上げ(平滑 防滑) 樹脂モルタル仕上げ(平滑 防滑) 防滑仕上げ 塗料のホルムアルデヒド放散量 F		⑰断熱・防露 (19.9.2) (19.9.3)	⑰断熱・防露 (19.9.2) (19.9.3)		8 黒板及びホワイトボード (20.2.8)	⑰鏡 (20.2.9)		⑮カーテンボックス (20.2.14)	取得箇所 形式 開閉操作方法 カーテン用切れ地の種類 引掛タイプ 片引 引分 電動 引き引 種類・品質・特殊加工等 ひだの種類
	11 フローリング張り (19.5.2) (19.5.7)	単層フローリング (表19.5.1)(表19.5.3) 種 別 樹 種 厚さ(mm) 下張り 工 法 備 考 フローリング ボード なら 15 あり 釘留め工法 フローリング ブロック なら 15 なし 接着工法 防水処理足金物付 接着工法 複合フローリング (種別 1種 2種 3種) 種 別 樹 種 厚さ(mm) 下張り 工 法 備 考 1×6タイプ フローリング ボードタイプ なら 15 あり 釘留め工法 A種 B種 C種 接着工法 下張りは合板張りによる。ただし、C種釘留め工法は下張りなしとする。 仕上げ塗装 ウレタン樹脂ワニス塗り(1液形) B種 オイルステインの上ワックス塗り 生地のままワックス塗り フローリング材のホルムアルデヒド等の放散量 JIS又はJASで定める F F 接着剤等不使用(単層フローリング限)、ホルムアルデヒドを発生しない塗料等使用(単層フローリング限)、非ホルムアルデヒド系接着剤使用並びに非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発生しない塗料等使用とする。		⑰断熱・防露 (19.9.2) (19.9.3)	⑰断熱・防露 (19.9.2) (19.9.3)		8 黒板及びホワイトボード (20.2.8)	⑰鏡 (20.2.9)		⑮カーテンボックス (20.2.14)	取得箇所 形式 開閉操作方法 カーテン用切れ地の種類 引掛タイプ 片引 引分 電動 引き引 種類・品質・特殊加工等 ひだの種類

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
20	21 洗面カウンター	材種 メラミン樹脂化粧板張り(芯材:集成材) 人工大理石(品質 図示) 奥行き(mm) 約450 約600	21	①排水管 (21.2.1) (21.2.3)	材種(表21.2.1) 管の種類 接合方法 透心力鉄筋コンクリート管 外圧管(1種 2種) 凸凹 ゴム輪 硬質塩化ビニル管 V P V U 接着 ゴム輪 硬質塩化ビニル管 R S - V P R S - V U 硬質塩化ビニル管 D V V U継手	22	6 透水性舗装 (22.7.3) ~ (22.7.6)	アスファルト 車道部 60R-改質アスファルト 型 歩道部 ストレートアスファルト フィルタ層の厚さ 車道部150mm、歩道部50mm 透水性アスファルト混合物の抽出試験 行う 行わない 舗装厚さの試験 行う 行わない	23	6 屋上緑化 (23.5.3)	屋上緑化システム 排水層 軽量骨材 厚さ() 板状成形品 土壌層 改良土 厚さ() 人工軽量土 厚さ() 屋上緑化軽量システム 見切材 () 舗装材 () 水抜き管 () 排水材 ()
	②流し台ユニット	種 類 部品寸法(mm) 規 格 仕 様 流し台 優良住宅部品 トラップ付き コンロ台 優良住宅部品 バックガード有り 吊戸棚 優良住宅部品 高さ 約500 mm 水切り棚 優良住宅部品 ステンレス製1段式		②側塊、排水樹及 ふた (21.2.2)	側塊の形状および寸法 図示 () 排水樹の種類 図示 () 鋼鉄製マンホールふたの種類 種 類 適用荷重(安全荷重) 水封形 密閉形(7-バ--バツ式) T-2用(50KN) T-6用(115KN) 中蓋付密閉形 簡易密閉形(バツ式) T-20用(50KN)		7 排水性舗装 (22.8.3) ~ (22.8.6)	アスファルト 60R-改質アスファルト 型 改質アスファルト 型 アスファルト混合物の抽出試験 行う 行わない 舗装厚さの試験 行う 行わない		樹木の種類、寸法、数量等 図示による 下表による	
	23 非常用救助袋等	垂直降下式緩下機は消防法に基づく国家検定に合格したものとす。 形式 傾斜式 垂直式 品質・規格		③コンクリート側溝 (22.9.2)	鉄筋コンクリートL形のJISによる呼び名 250A 250B コンクリートL形のJISによる呼び名 250A 250B 鉄筋コンクリートU形のJISによる呼び名 240 300A 360A 現場打ちコンクリートの設計基準強度 Fc(N/mm ²) 1 8 地盤の材料 標仕4.6.2(a) C-40 RC-40		8 ブロック系舗装 (22.9.3)	コンクリート平板舗装 種 類 寸法(mm) 厚さ(mm) 目 地 普通平板(N) カラー平板(C) 300角 60 砂 洗出平板(W) 擬石(S) モルタル 品質・規格		芝・地被類の種類 図示による こらい芝(目地張り) 野芝 (目地張り) セダム類 (カット ふるい プラグ苗) かん水装置 設置する () 設置しない	
	24 縦箱	市販品 形式 釣下式 差込式 (30 60 120) 組用 () 個		④路床 (22.2.3) (22.2.5)	盛土に用いる材料 A種 B種 C種 D種(表3.2.1) 路床安定処理用材料 添加材料による安定処理 (表22.2.2) 種 類 地盤改良材 () 高炉むく土B種 普通ポルトランドセメント 生石灰 特号 生石灰 1号 フライアッシュセメントB種 消石灰 特号 消石灰 1号 添加量 (kg/m ³) 路床土の支持力比(CBR)試験 行う (乱した土 乱さない土) 路床締固め度の試験 行う 行わない 砂の粒度試験 行う 行わない		インターロッキングブロック舗装 種 類 厚 さ (mm) 色彩及び表面加工等 標準ブロック 京エッジ 車道部 80 標準品 透水性ブロック 歩道部 60 80 植生ブロック 60 80 100 品質・規格	かん水装置 設置する () 設置しない			
	25 定礎	定礎石 御影石 文字掘込共 寸法 450×600×30 定礎銘板 銅板製 両面文字掘込共 寸法 B4版 厚さ 5mm 定礎箱 銅板製 寸法 400×300×60		⑤コンクリート舗装 (22.4.2) ~ (22.4.6)	材料 再生クラッシュラン (RC-40) クラッシュラン (C-40) クラッシュ鉄鋼スラグ (CS-40) 路盤締固め度の試験 行う		舗石舗装 種 類 厚さ(mm) 工 法 規 格 品 小舗石(花崗岩) 80-100 うろこ張り 2等品 品質・規格	支柱材 (23.3.2)による			
	26 旗竿受金物	材種 ステンレス鋼(SUS304) (市販品 1箇所 箇所) 品質・規格		⑥路盤 (22.3.3) (22.3.5)	舗装の種類 車道部基層 カラー舗装の種類 アスファルト舗装 再生アスファルト ストレートアスファルト 再生加熱アスファルト混合物の種類 区分 一般地域 寒冷地域 表層 密粒度アスファルト混合物(13) 密粒度アスファルト混合物(13F) 細粒度アスファルト混合物(13) 細粒度アスファルト混合物(13F) 基層 粗粒度アスファルト混合物(20) シールコート 行わない 行う(施工範囲) アスファルト混合物の抽出試験 行う 行わない アスファルト締固め度、厚さの試験 行う 行わない		⑦緑石 (22.10.2)	歩車道境界ブロックのJISによる呼び名 A 地先境界ブロックのJISによる呼び名 A C 砂利地盤の厚さ 100mm		⑧芝 (23.4.2) (23.4.3) (23.2.3)	種 別 芝 張 り の 工 法 客 土 平地 切土法面 盛土法面 行わない こらい芝 目地張り べた張り 筋芝張り 行う 畑土 野芝 行わない 黒土
	27 旗ポール	材 質 形 式 地上高さ(m) 操作方法 固定方法 アルミニウム合金 テーパー型 6 10 ハンドル式 埋込式 同一断面型 8 ロープ式 ベース式 品質・規格		⑨コンクリート舗装 (22.5.2) ~ (22.5.6)	早強セメント 使用しない 使用する 注入材料 低弾性タイプ 高弾性タイプ コンクリート版厚さの試験 行う 行わない		⑩砂利敷き (22.11.1) (22.11.2)	通 路 A種 B種 建物周囲その他 A種 B種 下敷きの使用材料は再生クラッシュランとする		5 新植、移植樹木、 芝等の枯補償	引渡しの日から1年 引渡しの日から 年 (23.3.4-.6)
	28 煙突ライニング (20.2.11)	煙突用成形ライニング材及びキャスタブル耐火材 最高温度 400 650 品質・規格		⑩フェンス (22.6.3) ~ (22.6.6)	5 カラー塗装 (22.6.3) ~ (22.6.6)		11 白線引き	種 類 溶解式 ペイント式 幅(cm) 15		1 植栽基礎整備 (23.2.2) (23.2.3)	行う 樹木の樹高 有効土層の厚さ(cm) 工 法 整備範囲 12m以上 100 120 150 A種 植込み部分 7~12m未満 80 100 B種 葉張りの範囲 3~7m未満 60 80 C種 (樹高7m以上) 3m未満 50 60 D種 図示 芝、地被類 20 B種 植栽範囲 工法D種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高から有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植込み用土で盛土を行う。 土壌改良材 行う(パーク堆肥 下水汚泥コンポスト) 施工箇所 植込み部分 図示 植込み用土 現場発生土の良質土 客土(畑土 黒土)
	29 間知石及びコンクリート間知ブロック (20.4.2) (20.4.3)	間知石の材種 花こう岩 コンクリート間知ブロック 面の形状 長方形 正方形 六角形 H型 質量区分 ブロックA ブロックB 地盤の材料 再生クラッシュラン 練積みの工法 谷積み 布積み (目塗り 行う) 伸縮目地材の材種、厚さ		⑪カラー塗装 (22.6.3) ~ (22.6.6)	2 樹木の種類等 (23.3.2)		23	1 植栽基礎整備 (23.2.2) (23.2.3)		2 樹木の種類等 (23.3.2)	樹木の種類、寸法、数量等 図示による 下表による
	30 敷地境界石標	種別 花こう石類(文字記号入り) コンクリートブロック製(市販品)		⑫カラー塗装 (22.6.3) ~ (22.6.6)	3 支柱材、幹巻き用材料 (23.3.2)		3 支柱材、幹巻き用材料 (23.3.2)	支柱材 杉(焼き丸太) 竹 ひのき から松(皮はぎ) 形式 図示 防腐処理方法 加圧式防腐処理丸太 幹巻き用材料 幹巻き用テープ わら及びこも		⑬カラー塗装 (22.6.3) ~ (22.6.6)	3 支柱材、幹巻き用材料 (23.3.2)
31 車止め	形 式 材 質 柱径・肉厚(mm) 高さ(mm) 上下式鎖内蔵型 スチール製(SUS304) 76.3 t=2.0 GL+700 (スリット付き) 114.3 t=2.5 GL+850 基礎 無筋コンクリート造 350×350 H250程度	⑬カラー塗装 (22.6.3) ~ (22.6.6)	4 芝 (23.4.2) (23.4.3) (23.2.3)	4 芝 (23.4.2) (23.4.3) (23.2.3)	種 別 芝 張 り の 工 法 客 土 平地 切土法面 盛土法面 行わない こらい芝 目地張り べた張り 筋芝張り 行う 畑土 野芝 行わない 黒土	5 新植、移植樹木、 芝等の枯補償	引渡しの日から1年 引渡しの日から 年 (23.3.4-.6)				
⑬フェンス	表 面 仕 上 等 種 類 門扉の様 亜鉛めっき 樹脂塗装 タフフェイス 鉄バンドフェイス 片開き ビニル被覆 ヌメフェイス 両開き	⑭カラー塗装 (22.6.3) ~ (22.6.6)	5 カラー塗装 (22.6.3) ~ (22.6.6)	5 新植、移植樹木、 芝等の枯補償	種 別 芝 張 り の 工 法 客 土 平地 切土法面 盛土法面 行わない こらい芝 目地張り べた張り 筋芝張り 行う 畑土 野芝 行わない 黒土	5 新植、移植樹木、 芝等の枯補償	引渡しの日から1年 引渡しの日から 年 (23.3.4-.6)				

解体工事特記仕様書	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																								
<p>【1】工事概要</p> <p>1 工事名称 瑞穂中学校配膳施設増築及び受電設備増設等体工事</p> <p>2 工事場所 船井郡京丹波町 大朴 地内</p> <p>3 工事範囲 ・木造便所棟解体除却工事</p> <p>4 敷地面積 16,568、00 m² (全体)</p> <p>5 工期 平成 24 年 月 日 ~ 平成 24 年 月 日</p>	<p>1 一般共通事項</p>	<p>適用基準</p> <p>建築物解体工事共通仕様書 平成18年版 (監修:国土交通省) 公共建築工事標準仕様書(建築工事編) 平成22年版 (監修:国土交通省) 建築工事標準詳細図 平成13年版 (監修:国土交通省) 土木工事共通仕様書(案) 平成16年2月 (監修:京都府) 土木工事施工管理基準 平成16年2月 (監修:京都府) 土木請負必携 平成16年2月 (監修:京都府) 公共建築改修工事標準仕様書 平成19年版 (監修:国土交通省) 公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編) 平成19年版 (監修:国土交通省) 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編) 平成19年版 (監修:国土交通省)</p> <p>(注:監修欄「国土交通省」は国土交通省大臣官房庁営繕部を示す)</p> <p>工事実績情報の登録 (1.1.13)</p> <p>適用する 適用しない</p> <p>受注時、変更時、完了時の各時点において、工事請負金額が500万円以上の工事について工事実績情報システム(CORINS)に基づき、「工事カルテ」を作成し、監督職員の確認を受けた後、契約締結後10日以内、変更事項の確定日から10日以内、工事解体検査後10日以内に(財)日本建築情報総合センター(以下JACICという)に工事実績情報として「工事カルテ」を作成し、フロッピー・ディスクにより提出しなければならない。また、日本建築情報センター発行の「工事カルテ受領書」の写しを監督職員に提出しなければならない。</p> <p>(ただし、期間には、土曜日、日曜日、祝日等は含まない。)</p>	<p>1 一般共通事項</p>	<p>8 アスベスト成形板の処理 (1.2.14)</p>	<p>処理を行うアスベスト成形板の仕様</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>種 類</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石綿波形スレート板(屋根建材)</td> <td>6.3</td> <td>アスベスト含有内装建材</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>処理を行う範囲 図示(撤去建物毎に種別を確認) 全ての室 (便所棟)</p> <p>施工調査 アスベスト成形板の撤去に当たり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う調査結果は図面により記録し監督職員に提出すること。 (1)アスベスト成形板使用部位の確認 記載上の成形板及びその使用範囲以外についても監督職員と協議の上確認を行うこと。 (2)アスベスト成形板の種別、厚さ等の確認 (3)アスベスト成形板使用数量の確認 (4)施工範囲等の確認</p> <p>確認方法 整形板の製造年等の確認(確認が出来ない場合は分析による確認を行う。) 分析 X線解析法</p> <p>処理方法 「非飛散性アスベスト廃棄物の取り扱いに関する技術指針」に従いあらかじめ処理計画書を作成し、適切に解体処分等を行うこと。 交通整理員B 工事期間中 常駐 1人(必要に応じて増員する)</p>	種 類	厚さ (mm)	種 類	厚さ (mm)	石綿波形スレート板(屋根建材)	6.3	アスベスト含有内装建材																		
種 類	厚さ (mm)	種 類	厚さ (mm)																											
石綿波形スレート板(屋根建材)	6.3	アスベスト含有内装建材																												
<p>総 則 編</p>																														
<p>【2】適用範囲 (1.1.5)</p> <p>現場説明事項書(質問回答書を含む)、本特記仕様書、設計図、解体工事仕様書、標準仕様書、に示す範囲とする。全ての設計図書は、相互に補完するものとし、相違がある場合は、上記の順番を優先順位とする。解体工事共通仕様書とは、国土交通大臣官房庁営繕部監修建築物解体工事共通仕様書(平成18年版)をいう。(以下、これを「解体共仕」という。)解体共仕に記載されていない事項は、公共建築工事標準仕様書(平成22年版)(以下、これを「標仕」という。)による。本工事の施工にあたって、土木工事にあつては、「土木工事共通仕様書(案)平成16年2月監修:京都府」の適用を受けるものとする。本書に特に記載のない事項にあつても、すべて、「解体共仕」の適用を受けるものとする。</p>		<p>処理計画書の提出 (1.2.14)</p> <p>発生材の処理等 (1.2.14)</p> <p>引き渡しを要するもの() 現場において再利用を図るもの、再資源化を図るもの。(コンクリート)</p> <p>● 指定副産物の搬出</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>コンクリート類</th> <th>アスファルト類</th> <th>木 材 類</th> <th>鉄 類</th> <th>アスベスト成形板</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指定処分地</td> <td>京丹波町</td> <td></td> <td>南丹市</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>処分業者</td> <td>共栄建設</td> <td>金下建設</td> <td>山陰土建</td> <td></td> <td>京都環境保全公社</td> </tr> <tr> <td>自由処分</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>自由処分(最寄りの再資源化施設へ搬出すること。)</p> <p>指定副産物以外の搬出 構外搬出適切処理 特別管理産業廃棄物の処理() 産業廃棄物管理票(マニフェスト)制度により、適正な処理を行うこと。 産業廃棄物の処理を委託する場合は、運搬と処分についてそれぞれの許可業者と処理委託料を記載した「処理委託契約書」により委託契約すること。</p>	種 類	コンクリート類	アスファルト類	木 材 類	鉄 類	アスベスト成形板	指定処分地	京丹波町		南丹市			処分業者	共栄建設	金下建設	山陰土建		京都環境保全公社	自由処分						<p>交通整理員</p> <p>10 建設工事保険</p> <p>11 現場代理人 (1.2.3)</p> <p>12 施工体制台帳等の作成・提出 (1.2.12)</p> <p>13 施工図等の取扱い 実施工程表 (1.2.1)</p>	<p>15 施工計画書 (1.2.2)</p>	<p>16 施工中の安全確保及び環境保全 (1.3.6) (1.3.9)</p>	<p>17 管理技術者及び主任技術者</p> <p>18 工事の記録 (1.2.3)</p> <p>19 竣工図等</p> <p>20 工事工程報告</p>
種 類	コンクリート類	アスファルト類	木 材 類	鉄 類	アスベスト成形板																									
指定処分地	京丹波町		南丹市																											
処分業者	共栄建設	金下建設	山陰土建		京都環境保全公社																									
自由処分																														
<p>【3】関係法令等の遵守</p> <p>工事の施工にあつては、工事請負契約書・建築基準法・建設業法・労働基準法・労働安全衛生法・廃棄物の処理及び清掃に関する法律・建設リサイクル法・石綿障害予防規則・大気汚染法・建設副産物適正処理推進要綱・建設工事公衆災害防止対策要綱等の関係法令を守り行う。</p> <p>【4】工事区分 (1.1.3)</p> <p>設計図書による別契約の施工上密接に関連する工事との取り合い部分が発生する場合は、十分打合わせの上解体を行うこと。</p> <p>【5】工事仕様</p> <p>1.設計図書による。設計図書に記載されていない事項は、「解体共仕」のほか別記の適用基準に</p> <p>2.項目は、番号に 印の付いたものを適用する。</p> <p>3.特記事項は、 印の付いたものを適用する。 印の付かない場合は、 印の付いたものを適用する。 印と 印の付いた場合は共に適用する。 印が抹消された場合は、 印のみ適用する。</p> <p>4.項目及び特記事項に記載の()内表示番号は「解体共仕」の当該項目、当該図又は当該表を示し、[]内表示番号は[改修標仕]の当該項目、当該図又は当該表を示す。</p> <p>5.本解体工事特記仕様書 項目 中、建築工事特記仕様書と重複する内容については、建築工事特記仕様書による。</p>	<p>産業廃棄物 運搬車両の表示等</p> <p>自己(社)運搬の場合 収集運搬車両の両側面に鮮明に識別しやすい文字の色で次の内容の表示をおこなうこと。 ・「産業廃棄物運搬車」の文字(同 140ポイント以上(5cm以上)) ・事業者の氏名又は名称(同 90ポイント以上(3cm以上)) 収集運搬車両は、次の内容が記載された書面を備え付けること。 ・「氏名又は名称及び住所」、「運搬する産業廃棄物の種類及び数量」、「運搬する産業廃棄物の積載日」、「積載した事業者の名称、所在地及び連絡先」、「運搬先の事業場の名称、所在地及び連絡先」 許可業者に運搬を委託する場合 収集運搬車両の両側面に鮮明に識別しやすい文字の色で次の内容の表示がされている業者に委託すること。 ・「産業廃棄物運搬車」の文字(JISZ8305 140ポイント以上(5cm以上)) ・許可業者の氏名又は名称(同 90ポイント以上(3cm以上)) ・統一許可番号(下6桁)(同 90ポイント以上(3cm以上)) 収集運搬車両に次の書面が備え付けられている業者に委託すること。 ・産業廃棄物収集運搬業の許可証の写し ・産業廃棄物管理票(マニフェスト)</p> <p>提出資料 工事完成時に産業廃棄物の収集運搬車両への表示状況を確認できる写真を提出すること。</p> <p>産業廃棄物税 平成17年4月1日より「京都府産業廃棄物税条例」に基づき導入される産業廃棄物税(以下「産廃税」という。)は、京都府内の最終処分施設に搬入される産業廃棄物について課税されるものである。また、中間処理施設に搬入された産業廃棄物においても、リサイクル後の処理残滓等が最終処分場に搬入される場合は、最終処分場に搬入される量に対して課税される。なお、本工事においても、産廃税相当額を見込んでいる。</p>	<p>7 技能士 (1.2.4)</p> <p>仮設工事 とび工事</p>			<p>15 施工計画書 (1.2.2)</p> <p>16 施工中の安全確保及び環境保全 (1.3.6) (1.3.9)</p> <p>17 管理技術者及び主任技術者</p> <p>18 工事の記録 (1.2.3)</p> <p>19 竣工図等</p> <p>20 工事工程報告</p>	<p>15 施工計画書 (1.2.2)</p> <p>16 施工中の安全確保及び環境保全 (1.3.6) (1.3.9)</p> <p>17 管理技術者及び主任技術者</p> <p>18 工事の記録 (1.2.3)</p> <p>19 竣工図等</p> <p>20 工事工程報告</p>																								
			<p>都 市 設 計</p> <p>一級建築士事務所登録 (24A) 第01211号 一級建築士登録 第152097号 村林俊治</p>	<p>工事名称 瑞穂中学校配膳施設増築及び受電設備増設等工事</p> <p>図面名称 解体工事特記仕様書 1</p>	<p>図面番号</p>	<p>8</p>																								

	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																		
1 一般 共通 事項	21 建設業退職金 共済制度	請負者は、工事完成時に退還共運営実績報告書を提出しなければならない。	3 事前 調査	事前調査	<p>施工に先立ち、下記の事項について事前調査を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 建物解体工事に係る敷地の配置状況 2. 周辺状況 3. 各分別品目の棟内配置状況 4. 建築物への水道引込管、電気引込線、及びガス引込管等の埋設配置状況 5. 各分別品目の発生量の予測 6. 各分別品目の撤去・保存方法 7. 有害物質（アスベスト成形板、石綿管、PCB等）の配置状況及びこれらの適正処理に係る対応策の検討 8. 各分別品目の現場内保管スペースの確保に係る検討 	8 その 他	1 屋外電気設備	解体する建築物の周囲の設備調査の結果、関西電力・NTTの不要となる支柱及び配線類は、請負行者の責任により撤去処分とすること。																																		
	22 建設機械 (1.2.10)	<p>「排出ガス対策型建設機械指定要領（平成3年10月8日付け建設省経発第249号）」または、「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する指定（平成9年建設省告示第1536号）」第2条第1項の規定に基づき指定された建設機械を使用すること。</p> <p>なお、上記建設機械であることを確認できる写真を撮影し、監督職員に提出すること。</p> <p>ただし、京都府告示第500号に基づき「騒音規制法に基づく地域の指定」を除く地域又は、これにより難しい場合は監督職員と協議すること。</p> <p>工事写真の撮り方（改訂2版）建築編（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）によるほかは監督職員の指示による。</p> <p>下記ものを監督職員に提出する。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>部数（ネガ1枚につき）</td> <td>分類・規格</td> <td>原版の大きさ（mm）</td> </tr> <tr> <td>着工前</td> <td>1</td> <td>カラーサービス版</td> <td>24×36以上</td> </tr> <tr> <td>工事中</td> <td>1</td> <td>カラーサービス版</td> <td>24×36以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">完成時</td> <td>屋内（ ）箇所</td> <td>＝2</td> <td>カラーサービス版 カラーキャビネ版</td> <td>24×36以上 60×70以上</td> </tr> <tr> <td>外観（ ）箇所</td> <td>＝2 1</td> <td>カラーサービス版 カラーパネル版切</td> <td>24×36以上 60×70以上</td> </tr> </table> <p>着工前及び工事中の工事写真に限り、デジタルカメラ使用を可とする。この場合の規格等は工事写真の撮り方（改訂2版）による。</p> <p>完成写真撮影業者は、監督職員の承諾する撮影業者（建築写真専門業者）とする。</p> <p>完成写真は、ネガとも提出とする。</p>			部数（ネガ1枚につき）		分類・規格	原版の大きさ（mm）	着工前	1	カラーサービス版	24×36以上	工事中	1	カラーサービス版	24×36以上	完成時	屋内（ ）箇所	＝2	カラーサービス版 カラーキャビネ版	24×36以上 60×70以上	外観（ ）箇所	＝2 1	カラーサービス版 カラーパネル版切	24×36以上 60×70以上	24 諸官庁 手続	<p>施工に先立ち、関係機関に手続きのうえ撤去工事を行う。</p> <table border="1"> <tr> <td>項目</td> <td>届出先等</td> </tr> <tr> <td>公害に関すること（特定建設作業）</td> <td>市町</td> </tr> <tr> <td>交通に関すること</td> <td>所轄警察署</td> </tr> <tr> <td>道路占用（使用）に関すること</td> <td>道路管理者、所轄警察署</td> </tr> <tr> <td>火災予防に関すること</td> <td>所轄消防署</td> </tr> <tr> <td>地下埋設物、地上（架空）施設に関すること</td> <td>市町、NTT、関西電力等</td> </tr> <tr> <td>発生材廃棄に関すること</td> <td>市町</td> </tr> <tr> <td>建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第11条の規定による解体工事通知書（建設リサイクル法該当時のみ）</td> <td>所轄土木事務所</td> </tr> </table> <p>各事項について、「計画・調査」の報告書を着工前に提出すること。</p>	項目	届出先等	公害に関すること（特定建設作業）	市町	交通に関すること	所轄警察署	道路占用（使用）に関すること	道路管理者、所轄警察署	火災予防に関すること	所轄消防署	地下埋設物、地上（架空）施設に関すること	市町、NTT、関西電力等	発生材廃棄に関すること	市町	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第11条の規定による解体工事通知書（建設リサイクル法該当時のみ）
	部数（ネガ1枚につき）	分類・規格	原版の大きさ（mm）																																							
着工前	1	カラーサービス版	24×36以上																																							
工事中	1	カラーサービス版	24×36以上																																							
完成時	屋内（ ）箇所	＝2	カラーサービス版 カラーキャビネ版	24×36以上 60×70以上																																						
	外観（ ）箇所	＝2 1	カラーサービス版 カラーパネル版切	24×36以上 60×70以上																																						
項目	届出先等																																									
公害に関すること（特定建設作業）	市町																																									
交通に関すること	所轄警察署																																									
道路占用（使用）に関すること	道路管理者、所轄警察署																																									
火災予防に関すること	所轄消防署																																									
地下埋設物、地上（架空）施設に関すること	市町、NTT、関西電力等																																									
発生材廃棄に関すること	市町																																									
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第11条の規定による解体工事通知書（建設リサイクル法該当時のみ）	所轄土木事務所																																									
2 仮設 工事	1 監督員事務所 (1.3.4)	<p>面積 10㎡程度 20㎡程度 35㎡程度 65㎡程度</p> <p>100㎡程度</p>	5 解体 工事	一般事項	<p>騒音規制法、振動規制法その他関連法令にに従い、災害及び公害の防止に努めること。</p> <p>解体材の破片及び粉塵の飛散を防止するため、シート類または防網などによる養生、仮囲いを行うとともに、散水などの処置を行うこと。</p> <p>第3者からの苦情申出があったときは、遅滞なくその内容について監督職員に報告すること。</p> <p>解体工事にあたっては、事故防止を図るため「建築物の解体工事における外壁の崩落など公衆災害防止対策に関するガイドライン（平成15年7月3日国総建第104号、国住防第4号）」のほか関連する法令、指針を遵守すること。</p> <p>解体工事にあたっては、構造物の基礎を全て撤去する。（便槽の撤去に先立ち、溜り水の処分、清掃を行ったあとに埋戻すこと。）</p> <p>解体工事にあたっては、建設資材ごとに分別解体を行うこと。（コンクリート、アスファルト・コンクリート、木材（解体木など）、その他混合廃棄物）</p> <p>建物躯体は、内装材などの撤去がすべて完了した後に解体を行う。</p> <p>PCBを含有する設備を解体する場合は、技能者が撤去し梱包の上、ラベルを貼り保管場所へ移送する。</p> <p>CCA処理木材（土台及び大引き等）を解体する場合は、その他の資材と混合しないよう分別をし、適正な処理施設へ搬出すること。</p>	6 その 他	1 屋外電気設備	解体する建築物の周囲の設備調査の結果、関西電力・NTTの不要となる支柱及び配線類は、請負行者の責任により撤去処分とすること。																																		
	2 監督員事務所 の備品等 (1.3.4)	<p>机 いす 書棚 黒板 製図板 掛時計 温度計</p> <p>ゴム長靴 雨かっぱ 保護帽 懐中電灯 加入電話の付属電話機</p> <p>衣類ロッカー 冷暖房機器 消化器 湯沸器 掃除具</p> <p>共仕（平成16年度版） 共仕解説書（平成13年度版）</p> <p>工事写真の撮り方（改訂2版）建築編</p>		解体作業等	<p>解体工事にあたっては、事故防止を図るため「建築物の解体工事における外壁の崩落など公衆災害防止対策に関するガイドライン（平成15年7月3日国総建第104号、国住防第4号）」のほか関連する法令、指針を遵守すること。</p> <p>解体工事にあたっては、構造物の基礎を全て撤去する。（便槽の撤去に先立ち、溜り水の処分、清掃を行ったあとに埋戻すこと。）</p> <p>解体工事にあたっては、建設資材ごとに分別解体を行うこと。（コンクリート、アスファルト・コンクリート、木材（解体木など）、その他混合廃棄物）</p> <p>建物躯体は、内装材などの撤去がすべて完了した後に解体を行う。</p> <p>PCBを含有する設備を解体する場合は、技能者が撤去し梱包の上、ラベルを貼り保管場所へ移送する。</p> <p>CCA処理木材（土台及び大引き等）を解体する場合は、その他の資材と混合しないよう分別をし、適正な処理施設へ搬出すること。</p>		2 屋内電気設備	建築物に取付られている照明器具は、事前に取り外し場内に分別集積の上、適切に処理すること。																																		
	工事用水 (1.3.1)	構内既存の施設 利用できない 利用できる（有償 無償）		廃棄物の処理	<p>解体材の処分にあたっては、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「資源の有効な利用の促進に関する法律」、「建設副産物適正処理推進要綱（平成5年1月12日建設省経建発第3号）等」の関係法令に従って適切に行う。なお、解体材の再資源化など及び処理については、監督職員の検査（確認を含む）及び立会いを受け、その結果について監督職員の承諾を受ける。</p> <p>樹木について、図中特記以外 全て伐採、除根を行う。</p> <p>埋戻 盛土 地均し 雨水排水みぞ形 形成 砕石敷き（RC-40）</p> <p>構外指示の受入場所に処分 受入場所 下山地内町有地</p> <p>解体中は常に散水を行い、粉塵等が生じない様にする事。</p> <p>建築物内部及び敷地内に存する残置廃材、備品、設備機器等の撤去も工事範囲とする。</p> <p>既設電気配線・電話配線・ガス管・水道管・下水道管等の撤去は、供給者と調整の上、端末処理等を行うこと。</p> <p>周辺環境に損傷・汚損を生じた場合は、請負者の責任で現状復旧すること。</p>	3 屋外機械設備	給水管は事前に調査を行い、町上水道と切り離す。																																			
	工事用電力	構内既存の施設 利用できない 利用できる（有償 無償）		6 家屋 調査	<p>1 事前調査</p> <p>解体する建築物の周辺家屋及び構造物等について、工事施工前に監督職員立会いの元確認を行い、その結果を報告書として提出する。</p> <p>調査対象家屋は、別図のとおりとする。</p> <p>調査は、（社）日本補償コンサルタント協会員の中から選出し調査すること。</p> <p>共通仕様書については、「用地調査等共通仕様書（近畿地区用地対策連絡協議会）」による。</p> <p>成果品は、各2部提出とする。</p> <p>成果品の提出物は、調査写真、建物図面、建物調査書、工作物調査書、その他とする。</p> <p>調査は建築物の内部、外部とも実施すること。なお、建築物所有者から調査辞退の申し出を受けた場合は、当該所有者等に係る調査は、実施しないこと。また、経過について文章にて報告すること。</p> <p>2 事後調査</p> <p>調査対象家屋は、1事前調査で指示した図面のとおりとする。</p> <p>調査内容及び成果品等については、1事前調査と同様とする。</p>	4 屋内機械設備	建築物に露出配管されているガス管、その他の管材及び機器類等は、事前に撤去する。																																			
	5 仮囲い等 (1.3.1)	図示					5 屋内機械設備	建築物に露出配管されているガス管、その他の管材及び機器類等は、事前に撤去する。																																		
	6 現場における 表示板 (1.3.5)	500×1800					その他	<p>給水管、下水管の撤去に際しては、京丹波町水道課と打ち合わせの上撤去工事を行うこと。</p> <p>工事用副産物は、指定した搬出先に処分すること。</p> <p>交通対策・騒音・粉塵・振動・汚染排水等により、通行者及び近隣住民に迷惑のかからないよう十分配慮すること。</p> <p>安全災害防止対策等</p> <p>工事用車両（関係車両全て）の進入・退出は、ステッカー貼付け等により工事関係車両であることを明らかにすること。</p> <p>工事車両等の進入・退出・停車等にあたっては十分な注意を払い、通行者等の安全を第一に図ること。</p> <p>資材の搬入・搬出時には必ずシート等にてカバーし、土砂・ｺﾝｸﾘｰﾄ等が飛散しないよう注意するとともに、タイヤ等に付着した土砂によって道路汚損等ないように適切な管理に努めること。道路等を汚損した場合は速やかに清掃等の復旧を行うこととし、工事期間中の進入路・退出路にかかる維持管理（舗装・構造物等の保護養生及び補修等）は請負者で行うこと。</p> <p>工事により周囲の建物や工作物に汚損等が生じた場合は、請負者の責任で誠意を持って解決に努めること。</p> <p>休日及び作業時間</p> <p>行政機関の休日に関する法律に定める行政機関の休日（以下1から3項）及び以下4項の期間には、工事の施工を行わない。ただし、設計図書に定めのある場合又はあらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 日曜日及び土曜日 2 国民の祝日に関する法律に規定する休日 3 12月29日から翌年の1月3日までの日（前号にあげる日を除く。） 4 現場周辺の行祭事の期間 <p>作業時間 平日一般 午前8時30分～午後5時30分</p> <p>騒音・振動を伴う場合 午前9時00分～午後5時00分</p> <p>大型車の出入り 午前8時30分～午後5時00分</p>																																		
	足場その他 (1.3.1)	枠組足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」（厚生労働省平成15年4月策定）により、設置については同ガイドラインに基づく働きやすい安心感のある足場とし、二段手すりと幅木の機能を有する部材があらかじめ備えられた手すり先行専用足場型とするか、または改善措置機材を用いて手すり先行専用足場型と同等の機能を確保するものとする。																																								
	災害防止用 設備	養生用金網枠 防災シート 安全ネット 防護シート 防音パネル																																								
	安全標識等	安全を必要とする場所には、監督職員の指示に従い標識、夜間の安全灯等を設置すること。																																								
都 市 設 計																																										
一級建築士事務所登録（24A）第01211号 一級建築士登録 第152097号 村林俊治							工事名称 瑞穂中学校配膳室増築及び受電設備増設等工事	図面番号	9																																	
							図面名称 解体工事特記仕様書 2																																			

項目		区分		建築	電気	衛生	機械 空調	別 途	備 考	項目		区分		建築	電気	衛生	機械 空調	別 途	備 考	項目		区分		建築	電気	衛生	機械 空調	別 途	備 考										
項目		区分								項目		区分								項目		区分																	
仮囲い・足場・栈橋等の架け、維持・補修 監理員事務所の架け、備品・維持・補修 監理員事務所の事務員、工事現場保安委員 工事用電話・電力・上水・下水・ガスの支払い、使用料 *** 建物引き渡し時までの高圧受変電設備（本設電気）の 基本料及び使用料を含む*** その他の仮設建物及び機械器具等										雨水排水配管（外樋）（第一会所までの横引き管を含む） 同 上 （内樋）（第一会所までの横引き管を含む） 屋外排水管（雨水）（雨水溝を含む） 同 上 （汚水）（汚水溝を含む） 同 上 （雑排水）（雑排水溝を含む） 玄関出入口の床排水マット下の排水溝（仕上げを含む） 同 上 排水金具 同 上 排水管及び接続 床下ピット及び昇降路ピット（仕上げを含む） 同 上 通気管・排水管 同 上 排水溝（仕上げを含む） 同 上 排水溝内設置の水中ポンプ 同 上 水中ポンプからの排水管及び接続 地階二層壁内排水溝および水抜管（仕上げを含む） 同 上 湧水槽（仕上げを含む） 同 上 湧水槽内設置の水中ポンプ 同 上 屋外雨水溝までの排水管及び接続 ドライエリア側溝（仕上げを含む） 同 上 雨水排水溝（仕上げを含む） 同 上 雨水排水溝内設置の水中ポンプ 同 上 屋外雨水溝までの排水管及び接続 防火水槽（RC造）（仕上げを含む） 消火水槽（RC造）（仕上げを含む） 据え付け流し（既製品）（据え付けを含む） 同 上 排水金物 同 上 接続工事 据え付け流し（特注品）（据え付けを含む） 同 上 排水金物（オーバーフロー付） 同 上 排水金物（オーバーフロー無） 同 上 接続工事 造り付け流し 同 上 排水金物（オーバーフロー付） 同 上 排水金物（オーバーフロー無） 同 上 接続工事 洗濯パン（据え付けを含む） 同 上 接続工事 浴 槽（風呂釜と接続するもの）（据え付けを含む） 同 上 （風呂釜と接続しないもの）（据え付けを含む） 同 上 接続工事 ユニットバス（据え付けを含む） 同 上 接続工事 風呂釜 同 上 接続工事 留置室・保護室の手洗（据え付けを含む） 同 上 排水金物 同 上 接続工事 実験台（据え付けを含む） 同 上 給排水・ガス接続工事 同 上 一次側電気配管・配線及び接続 ドラフトチャンバー（据え付けを含む） 同 上 給排水・ガス接続工事 同 上 換気接続工事 同 上 一次側電気配管・配線及び接続 厨房機器（据え付けを含む） 同 上 給排水・ガス接続工事 同 上 一次側電気配管・配線及び接続工事 換気フード 同 上 接続工事 同 上 フード取りに取付ける幕板 （材質はフードと同材質とする） 自動座 同 上 一次側電気配管・配線及び接続 同 上 二次側電気配管・配線及び接続 電動シャッター・電動スクリーン及び電動カーテン 同 上 一次側電気配管・配線及び接続 同 上 リモートスイッチの機器取付け・電気配管・配線及び接続 （ただし機器は別途） 内照式 案内板・標示板・看板等（照明器具を含む） 同 上 一次側電気配管・配線及び接続 身障者用手摺										煙感知器連動の防火戸・防火防煙シャッター及び防煙垂れ壁 同 上 レリーズ 同 上 動作用煙感知器及び電気配管・配線・接続 同 上 動作表示及び電気配管・配線・接続 同 上 制御盤 同 上 制御盤の一次側電気配管・配線及び接続（予備電源共） 防煙ダンパ及び温度ヒューズ付防煙ダンパ 同 上 動作用煙感知器及び電気配管・配線・接続 同 上 動作表示及び電気配管・配線・接続 同 上 遠方復帰用電気配管・配線・接続 同 上 制御盤 同 上 制御盤の一次側電気配管・配線及び接続（予備電源共） 床下ピット及び昇降路ピット（仕上げを含む） 同 上 排煙口 同 上 動作表示 同 上 一次側電気配管・配線及び接続 同 上 二次側電気配管・配線及び接続 屋内消火栓箱総合盤（操作機構を含む） 同 上 盤組込みの発信機・ベル・表示灯及び起動押し釦 衛生設備の制御盤 同 上 一次側電気配管・配線及び接続 同 上 二次側電気配管・配線及び接続 ユニット形消火栓ポンプ・スプリンクラーポンプ・自動給水装置 等の付属型制御盤 同 上 一次側電気配管・配線及び接続 同 上 二次側電気配管・配線及び接続 湧水槽・雨水排水槽の液面電極工事 汚水槽・雑排水槽の液面電極工事 受水槽・高架水槽の液面電極工事 膨張水槽の液面電極工事 液面電極以外の水位制御器（フロースイッチ等） 膨張水槽・クーリングタワー塔への給水管の接続 空調設備の制御盤 同 上 一次側電気配管・配線及び接続 同 上 機器連動インターロック （火災発生時の空調機停止を含む） 同 上 遠方操作機器 同 上 遠方操作機器の取付け 同 上 遠方操作用電気配管・配線及び接続 自動制御機器の計装盤 同 上 一次側電気配管・配線及び接続（電源供給） 自動制御用電気配管・配線及び接続 空調機器の一次側電気配管・配線及び接続 ファンコイルユニットのリモートスイッチの機器取付け・電気配 管・配線及び接続（但し機器は別途） セバレート型空調機の二次側電気配管・配線及び接続 空調機器のドレン排水（最寄り会所への接続を含む） 地下貯油槽（附属品を含む） 同 上 遠隔油面計 同 上 遠隔油面計の取付け 同 上 遠隔油面計用一次側電気配管・配線及び接続 同 上 遠隔油面計用二次側電気配管・配線及び接続 同 上 遠隔注油口に設ける第3種接地工事 同 上 RC造外部工事（コンクリート打ち放しまで） 同 上 RC造外部の仕上げ 同 上 杭 同 上 杭頭処理及び杭頭補強										配膳台 二層シンク 牛乳保冷庫 冷凍冷蔵庫 パン櫃 シェルフ（櫃） パンラック 移動台 コンテナ 事務机・椅子 更衣ロッカー 掃除具入れ プラインド 室名札 消火器・消火器スタンド									
RC造・CB造のスリーブ・箱入れ 同 上 貫通箇所の補強 S造・SRC造・RC造及びALCパネルのスリーブ・箱入れ 同 上 貫通箇所の補強 PC部材の貫通・開口補強等、押込み部品の取付け RC造のスライプインサート PC造のスライプインサート 防火区画・防火壁を貫通するダクト・配管等の防火処置 点検口（壁） 同 上 （天井） 同 上 （コンクリートシャフト） 同 上 位置出し 同 上 位置の指定 照明器具・スピーカーの天井切込み及び補強・補修 同 上 位置出し 同 上 位置の指定 吹出口・吸込口の天井切込み及び補強・補修 同 上 位置出し 同 上 位置の指定 換気扇の取付け工事 同 上 取付け枠（木枠） 同 上 取付け枠（木枠以外） 同 上 電気配管・配線及び接続 同 上 リモートスイッチ取付け 同 上 天井切込み及び補強・補修 同 上 位置出し 同 上 位置の指定 設備機器（ダクト・配管等）下の軽天の吊りボルト支持及び補強 網製間隔間仕切（既製品）の開口及び開口補強 同 上 配管・ボックス取付け及び補強 同 上 機器取付け・配線及び接続 軽鉄間仕切壁の貫通及び補強 同 上 ボックス・機器取付け、配管・配線及び接続										1/100 0 5 10 15 m 1/300 0 5 10 15 m 1/200 0 5 10 15 m 1/400 0 5 10 15 20 m 1/500 0 5 10 15 20 30 m										都市設計 一級建築士事務所登録工事（24A）第01211号 一級建築士登録 第152097号 村林俊治										工事名称 瑞穂中学校配膳施設増築及び受電設備増設等工事 図面番号 10 図面名称 工事区分表 日付 24.4.27									
各項目の工事区分は、印の記載のある工事の範囲とする。																				本工事に該当のない項目を参考とし、類似する項目は類推適用する。																			

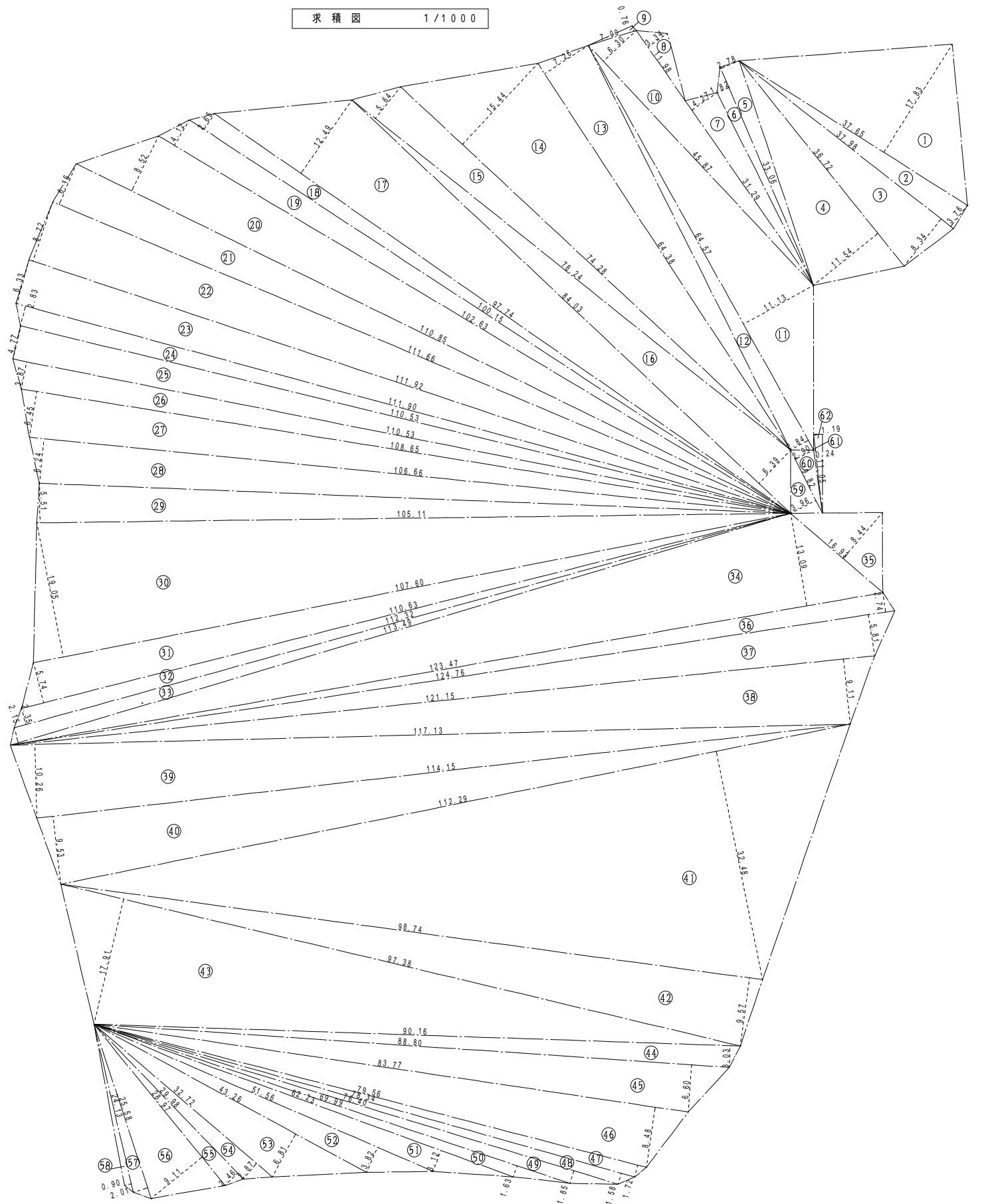
敷地求積表

	長辺	短辺	計
①	37.65	X 17.83	671.2995
②	37.98	X 3.76	142.8048
③	37.98	X 8.34	316.7532
④	36.72	X 11.54	423.7488
⑤	33.06	X 2.78	91.9068
⑥	33.06	X 1.82	60.1692
⑦	31.29	X 4.27	133.6083
⑧	11.98	X 3.34	40.0132
⑨	7.00	X 0.76	5.3200
⑩	45.87	X 6.30	288.9810
⑪	64.57	X 11.13	718.6641
⑫	64.57	X 2.84	183.3788
⑬	64.38	X 7.26	467.3988
⑭	74.28	X 15.44	1146.8832
⑮	78.24	X 5.64	441.2736
⑯	84.03	X 6.39	536.9517
⑰	97.74	X 12.49	1220.7726
⑱	100.15	X 2.65	265.3975
⑲	102.63	X 4.12	422.8356
⑳	110.85	X 8.52	944.4420
㉑	111.66	X 6.16	687.8256
㉒	111.92	X 8.72	975.9424
㉓	111.90	X 6.33	708.3270
㉔	111.90	X 2.83	316.6770
㉕	110.53	X 4.77	527.2281
㉖	110.53	X 3.87	427.7511
㉗	108.65	X 6.45	700.7925
㉘	106.66	X 6.24	665.5584
㉙	105.11	X 5.51	579.1561
㉚	107.60	X 19.05	2049.7800
㉛	110.63	X 5.74	635.0162
㉜	112.32	X 2.35	263.9520
㉝	113.49	X 2.15	244.0035
㉞	123.47	X 13.09	1616.2223
㉟	16.93	X 8.44	142.8892
㊱	124.76	X 2.74	341.8424
㊲	124.76	X 5.81	724.8556
㊳	121.15	X 9.11	1103.6765
㊴	117.13	X 10.26	1201.7538
㊵	114.15	X 9.53	1087.8495
㊶	112.29	X 32.48	3647.1792
㊷	98.74	X 9.57	944.9418
㊸	97.38	X 17.91	1744.0758
㊹	90.16	X 3.03	273.1848
㊺	88.80	X 6.60	586.0800
㊻	83.77	X 8.48	710.3696
㊼	79.56	X 1.72	136.8432
㊽	78.34	X 1.58	123.7772
㊾	76.40	X 1.85	141.3400
㊿	69.99	X 1.63	114.0837
①	62.23	X 3.12	194.1576
②	51.56	X 3.82	196.9592
③	43.26	X 6.81	294.6006
④	32.72	X 2.87	93.9064
⑤	29.98	X 2.46	73.7508
⑥	28.97	X 9.11	263.9167
⑦	25.58	X 2.01	51.4158
⑧	24.13	X 0.90	21.7170
⑨	9.82	X 3.96	38.8872
⑩	9.82	X 2.90	28.4780
⑪	11.05	X 0.24	2.6520
⑫	11.05	X 1.19	13.1495

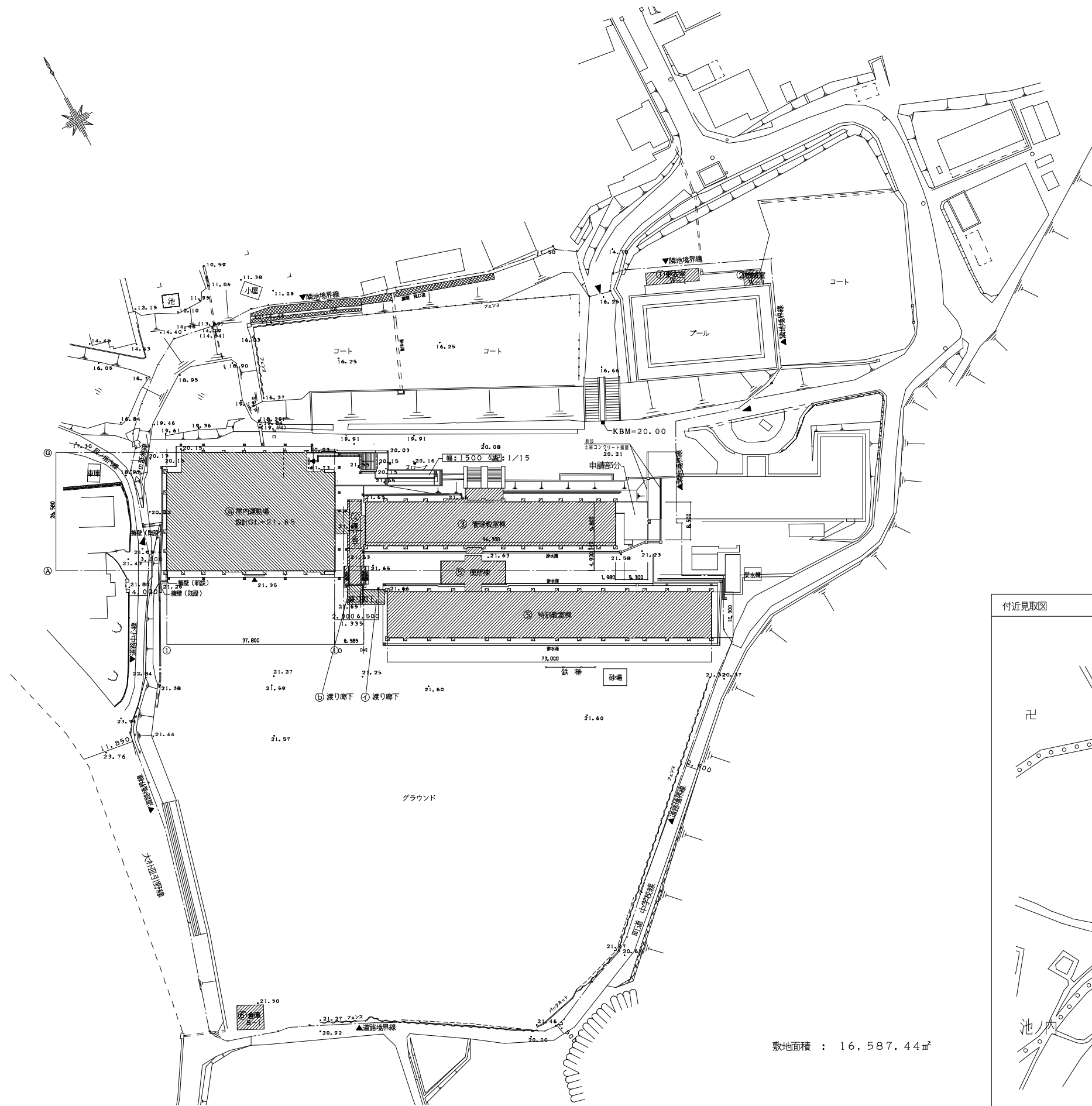
倍面積 33174.8885

1 / 2 16587.4443 16,587.44㎡ 5,017.68坪

求積図 1/1000



<h2>都市設計</h2>	工事名称 瑞穂中学校配膳施設増築 及び受電設備増設等工事	図面番号 11
	図面名称 求積図	縮尺 S=1/1000
一級建築士事務所登録 (24A) 第01211号 一級建築士登録 第152097号 村林俊治	製図 E. T.	日付 24.2.29



敷地面積 : 16,587.44㎡

※敷地内は、避難通路幅員1.5m以上確保されている。

A. 既存建物面積表

記号	名称	建築面積 (㎡)	延べ面積 (㎡)	階数			構造/規模	最高高さ (m)	確認年月日/確認番号	検査済年月日/検査番号
				1階	2階	3階				
①	更衣室	32.40	32.40	32.40			W/F	-		
②	機械室	12.00	12.00	12.00			CB/F	-		
③	管理教室棟	631.76	1,674.12	570.64	551.74	551.74	RC/3F	16.71	S59年7月31日/59建第108号	現取60年2月20日/第76号
④	渡り廊下(開放)	47.85	46.25	46.25			S/F	3.17	S59年7月31日/59建第108号	現取60年2月20日/第76号
⑤	特別教室棟	910.89	1,433.86	836.46	597.40	597.40	RC(一部)/2F	8.92	H14年8月29日/平成14年145号	平成2年2月23日/第101号
	便所棟									
⑥	倉庫	33.00	33.00	33.00			S/F			
合計		1,667.90	3,231.63							

B. 既存建物面積表

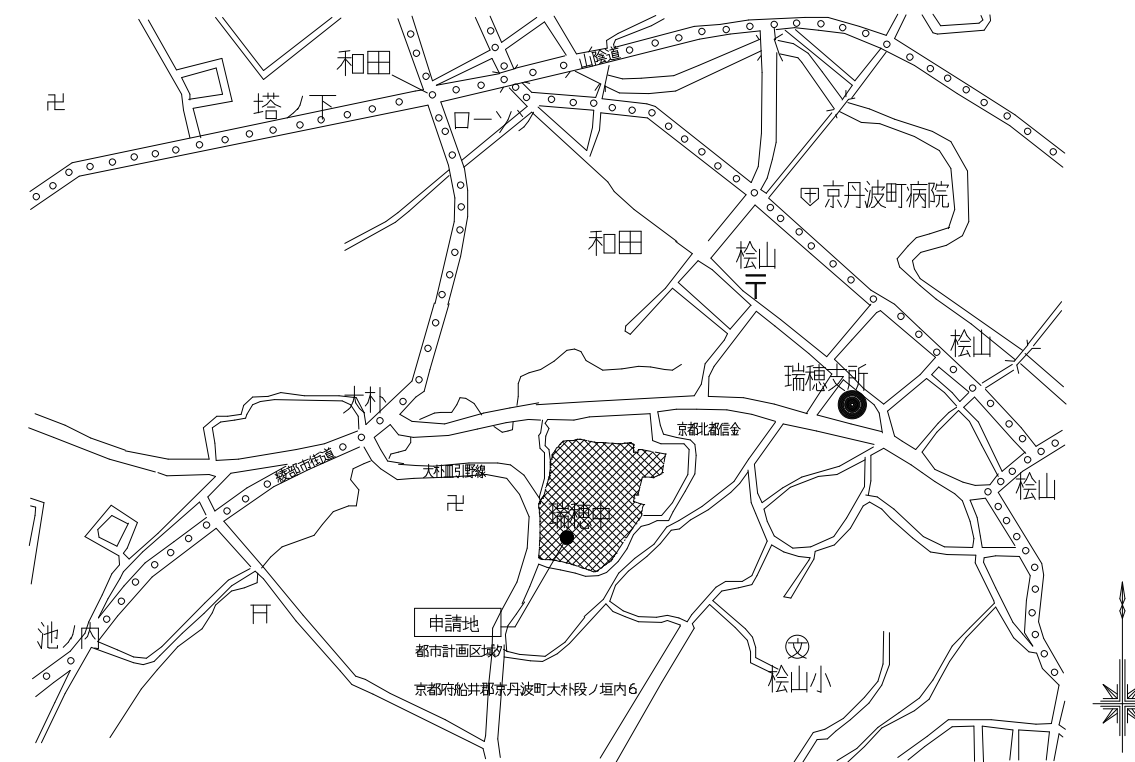
㊸	屋内運動場	1,009.68	962.92	962.92			RC(一部)/1F	12.68		
㊹	渡り廊下(開放)	7.25	5.18	5.18			S/F	3.25		
㊺	渡り廊下(開放)	7.00	5.75	5.75			S/F	3.725		
合計		1,023.93	973.85							

	建築面積 (㎡)	延べ面積 (㎡)
A+Bの合計	2,691.83	4,205.48

申請部分面積表

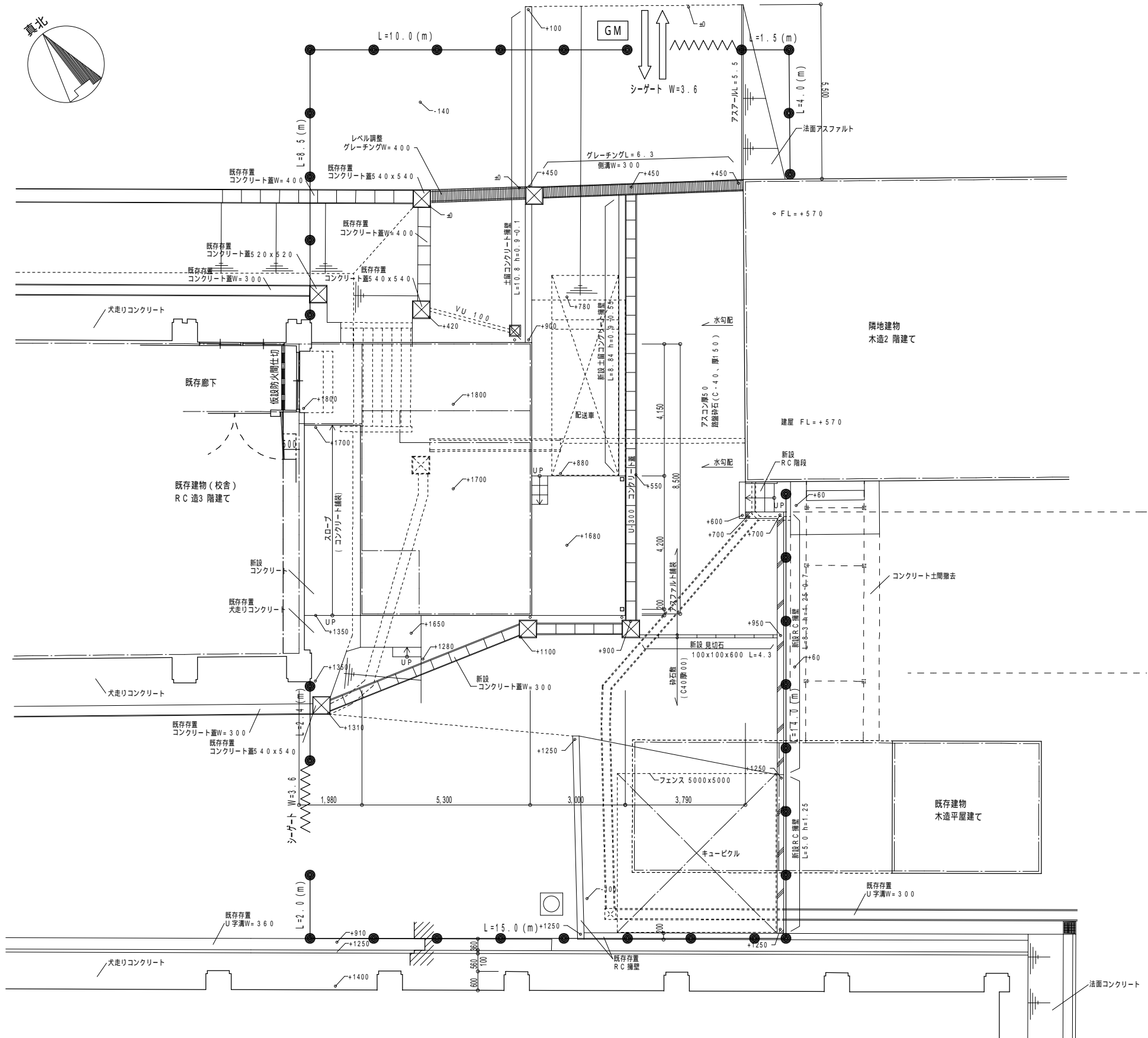
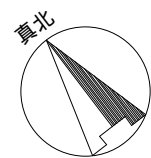
	建築面積 (㎡)	延べ面積 (㎡)
	63.05	50.00

付近見取図



都市設計

工事名称	瑞穂中学校 配属施設増築 及び受電設備増設等工事	図番	12
図番名称	配置図・付近見取図	縮尺	
設計者	一級建築士事務所登録 (24A) 第1211号 一級建築士登録 第152097号 村林俊哉	日付	24.5.28



仮設計画図 1/100

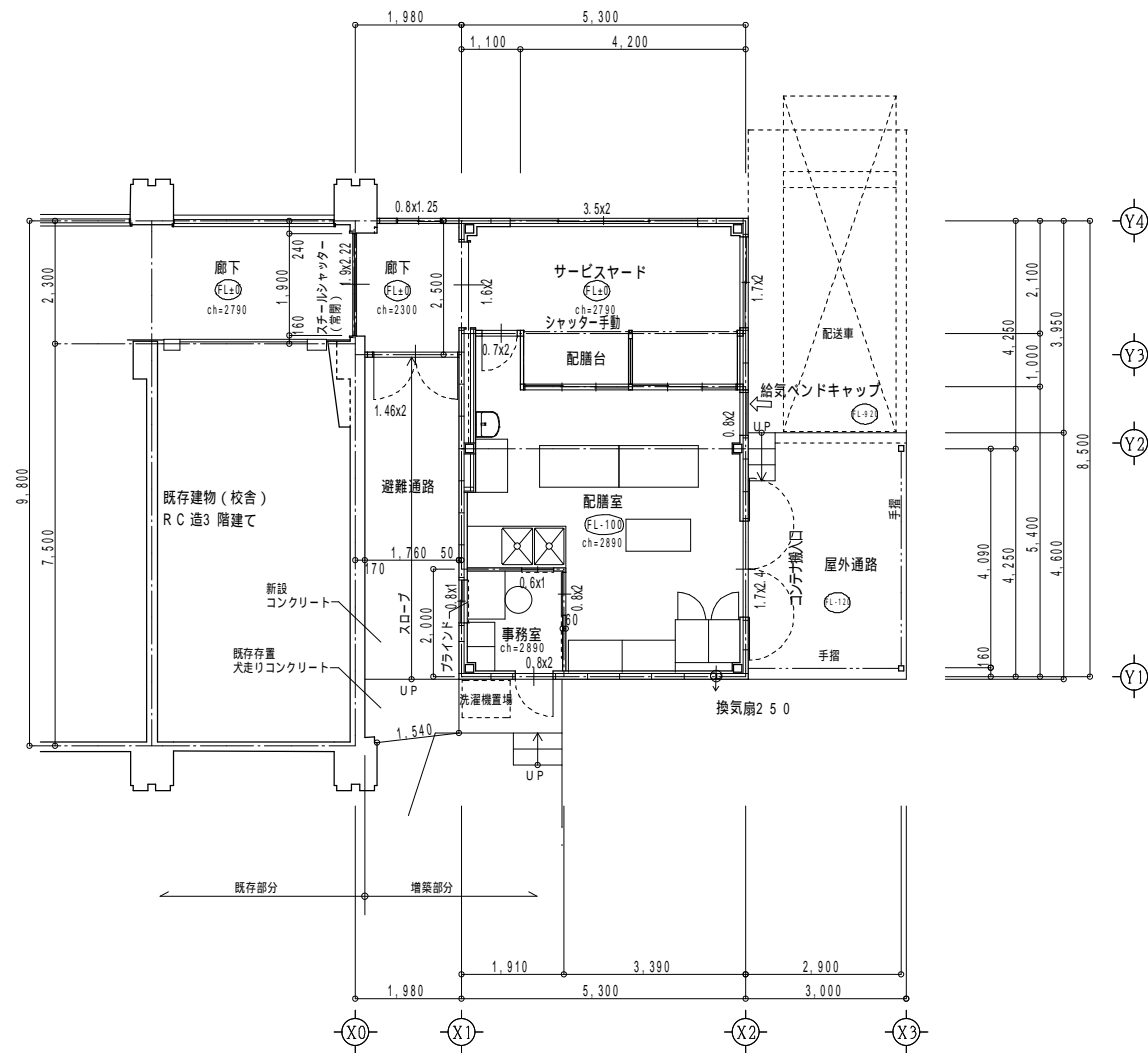
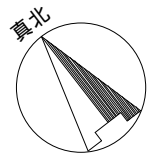
都市設計	工事名称 瑞穂中学校配膳施設増築 及び受電設備増設等工事	図面番号 13
	図面名称 仮設計画図	縮尺 S=1/100
一級建築士事務所登録 (24A)第01211号 一級建築士登録 第152097号 村林俊治	製図	日付 24.4.27

外部仕上表					
部 位	配膳室棟	備 考	部 位	プラットホーム（屋外通路）	備 考
屋 根	フ素樹脂塗装 ガルバリウム化粧鋼板段葺 厚0.4 切妻屋根 4寸勾配 アスファルトルーフィング 2.2kg 硬質木片セメント板 厚2.5	30分耐火	屋 根 (庇)	折版 厚0.6 山高8.8 ガラス繊維系断熱材裏貼 厚5.0 ガルバリウム化粧鋼板 ケラバ、軒先 鼻隠し	30分耐火
軒 裏	化粧ケイ酸カルシウム板厚6 軽鉄Mバー下地	アルミ製 EXP. J	柱・梁	耐火塗料塗（外部仕様）	1時間耐火
庇			床	コンクリート木コテ押工（水勾配） 土間下 スタイロフォーム厚5.0	
外 壁	ALC版 厚100下地（目地処理アルタック同等品）コーナパネル300x300 吹付けタイル RE 仕上	アルミ製 EXP. J			
腰（基礎巾木）	コンクリート打放し補修 アクリル樹脂クリア（AC）塗装		腰（基礎巾木）	コンクリート打放し補修 アクリル樹脂クリア（AC）	カーستッパー
開口部	アルミ製建具				
樋	軒樋：硬質塩化ビニール角形 W=120（前高） 吊金物SUS@450、落葉除けアルミメッシュ 竪樋：硬質塩化ビニール 75 VP		樋	軒樋：硬質塩化ビニール角形 W=120（軒先内面吊） 竪樋：硬質塩化ビニール 75 VP	
スロープ	（避難通路）コンクリート刷毛引仕上		手 摺	ステンレス 3.4 HL 手摺子 1.9	
			階 段	モルタル塗 段鼻 ノンスリップタイル	

内部仕上表											
室 名	床		巾 木		腰		壁		天 井		備 考
	下 地	仕 上	下 地	仕 上	下 地	仕 上	下 地	仕 上	下 地	仕 上	
配膳室	コンクリートコテ押工	ウレタン系塗床 厚1.5 （ノンスリップ）	モルタル塗 厚2.0	ウレタン系塗床 H=200			ケイ酸カルシウム板厚6 シーリング石膏ボード厚12.5 （目地シーリング） 軽鉄壁下地6.5形	VP 塗 アルミ下端見切縁	軽鉄天井下地 天井内：グラスウール断熱材厚100	化粧PB厚9.5 アルミ廻縁	（内装制限） ストレッチガード コーナーガード シャッター付配膳台
事務室	コンクリートコテ押工	ウレタン系塗床 厚1.5 （ノンスリップ）	モルタル塗 厚2.0	ウレタン系塗床 H=200			ケイ酸カルシウム板厚6 シーリング石膏ボード厚12.5 （目地シーリング） 軽鉄壁下地6.5形	VP 塗 アルミ下端見切縁	軽鉄天井下地 天井内：グラスウール断熱材厚100	化粧PB厚9.5 アルミ廻縁	アルミ簡易パーテーション 窓 ブラインド 造作掃除用具入 天井点検口
サービスヤード	コンクリートコテ押工	ウレタン系塗床 厚1.5 （ノンスリップ）	モルタル塗 厚2.0	ウレタン系塗床 H=100	ケイ酸カルシウム板厚6 シーリング石膏ボード厚12.5 RC 腰壁断熱材打込厚2.5	VP 塗 アルミ下端見切縁	ケイ酸カルシウム板厚6 シーリング石膏ボード厚12.5 （目地シーリング） 軽鉄壁下地6.5形	VP 塗 アルミ下端見切縁	軽鉄天井下地 天井内：グラスウール断熱材厚100	化粧PB厚9.5 アルミ廻縁	天井点検口
廊 下	コンクリートコテ押工	ウレタン系塗床 厚1.5 （ノンスリップ）	モルタル塗 厚2.0	ウレタン系塗床 H=100			ケイ酸カルシウム板厚6 シーリング石膏ボード厚12.5 （目地シーリング）	VP 塗 アルミ下端見切縁	軽鉄天井下地 天井内：グラスウール断熱材厚100	化粧PB厚9.5 アルミ廻縁	床、壁、天井 アルミ製EXP. J 天井点検口
既存廊下 （ 建具撤去跡）	モルタルコテ押工 （補修巾50cm）	ウレタン系塗床 厚1.5 （ノンスリップ）	モルタル塗	ビニールソフト巾木			モルタル塗補修 垂壁 ケイ酸カルシウム板厚6 石膏ボード厚12.5 軽鉄壁下地100形	EP 塗 VP 塗	軽鉄天井下地補修	化粧PB厚9.5 補修 木製廻縁 SOP 木製廻縁 SOP	天井点検口 天井廻り縁 木製SOP 既存建具撤去後 軽量シャッター取付

塗装記号凡例 OP：油性調合ペイント（鉄部・木部） （適応下地）SOP：合成樹脂調合ペイント（鉄部・木部・鋼製建具） VP：酢酸系塩化ビニールエナメルペイント（塩ビ樋） EP：酢酸系エマルジョンペイント（コンクリート・モルタル） AEP：アクリル系エマルジョンペイント（コンクリート・モルタル）	OS：オイルステイン（木部） AC：アクリル樹脂クリア、アクリル樹脂ワニス（コンクリート・モルタル） 吹付けタイルRE：合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材	下地調整（RB）：既存塗膜劣化部除去 活膜残し 素地ごしらえ（B）種 研磨紙ずり EP塗（B）：下地調整の上EP下塗・上塗 SOP塗（鉄鋼面）：下地調整（RB）の上錆止め塗装 SOP下塗・研磨紙ずり・上塗
---	---	--

<h1>都 市 設 計</h1>	工事名称 瑞穂中学校配膳施設増築 及び受電設備増設等工事	図面番号 14
	図面名称 仕 上 表	縮 尺
	一級建築士事務所登録（24A）第01211号 一級建築士登録 第152097号 村林俊治	製図 E.T.



平面図 1/100

事務室	
CH	2,890
A	3.82
L	(0.38) 1.4
V	(0.19) 1.4
S	(0.076) 0.08
(必要面積)	

配膳室	
CH	2,890
A	25.90
L	(2.59) 4.8
V	(1.30) 4.32
S	(0.52) 0.55
(必要面積)	

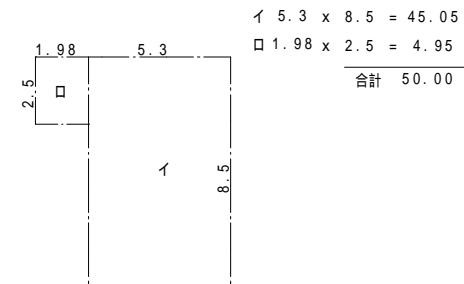
建築概要	工事種別	増築部	既存部	合計
敷地面積		m ²		
建築面積	63.05	m ²	m ²	m ²
1階床面積	50.00	m ²	m ²	m ²
2階床面積		m ²	m ²	m ²
3階床面積		m ²	m ²	m ²
延床面積	50.00	m ²	m ²	m ²
建ぺい率	%	< 60		
容積率	%	< 200		

建物仕様 (法22準地域) 鉄骨造	
屋根	ガルバリウム鋼板 (フ素樹脂塗装鋼板) NM-8697
軒裏	アスノンキング厚11
外壁	吹付けタイル ALC版100下地 (告示1399)
柱梁	
1階床	全面コンクリート打

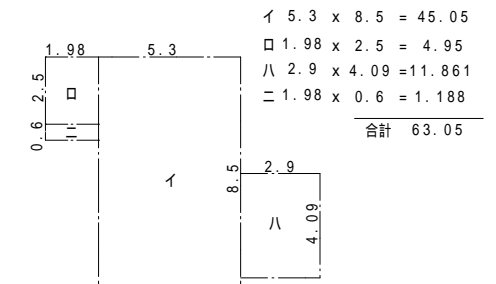
記号 防火開口認定番号 (使用サッシ)	
1	○ EB-9101 アルミニウム合金製はめ殺し窓
2	○ EB-9102 アルミニウム合金製引き窓
3	EB-9103 アルミニウム合金製上げ下げ窓
4	EB-9104 アルミニウム合金製ルーバー窓
5	EB-9105 アルミニウム合金製プロジェクト窓
6	EB-9106 アルミニウム合金製回転窓
7	○ EB-9107 アルミニウム合金製開き窓
8	EB-9108 アルミニウム合金製引き自動ドア

(ガラスは全て断熱6.8t)

1階床面積求積図 1/200



建築面積求積図 1/200



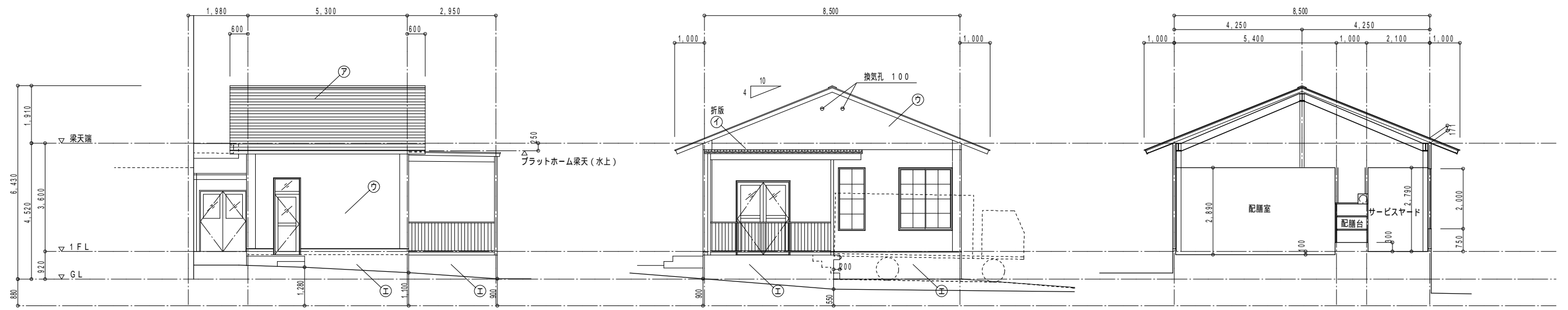
凡例

番号	名称	規格仕様	外形寸法 (m/m)			数量	工事区分	
			間口	奥行	高さ		本工事	厨房設備
	牛乳保冷库		615	800	1950	1		○
	冷凍冷蔵庫		615	800	1950	1		○
	パン棚		1000	600	1800	1		○
	シェルフ (棚)		1000	600	1800	1		○
	二槽シンク		1800	750	850	1	○	
	パンラック	SUS 340	1000	600	1800	1		○
	移動台		1200	600	850	1		○
	コンテナ		1480	770	1550	2		○
	事務机		900	700	700	1		備品
	更衣ロッカー	コクヨ SWA-455	455	515	1790	1		備品
	掃除具入		455	515	1790	1	○	
	手洗い器	TOTO MR850APA	480	450	850	1	○	

* 本工事に於いては、京都市域消防防災予防条例を遵守する。

都市設計 <small>一級建築士事務所登録 (24A) 第01211号 一級建築士登録 第152097号 村林俊治</small>	工事名称 瑞穂中学校配膳施設増築 及び受電設備増設等工事	図面番号 15
	図面名称 平面図	縮尺 S=1/100
		日付 24.4.27

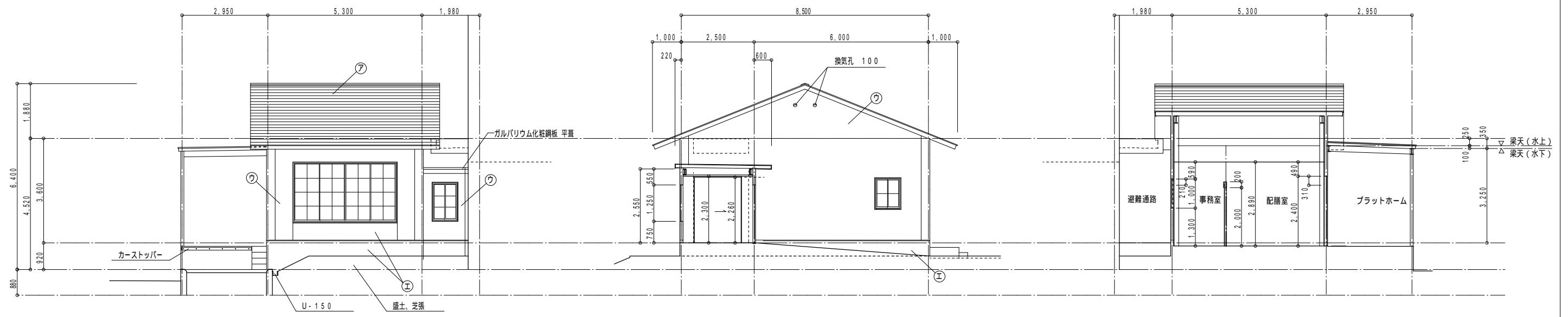
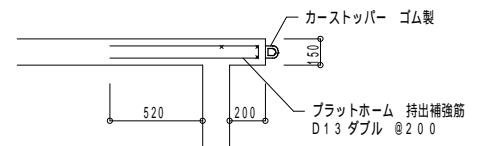
⑦	屋根	フ素樹脂塗装 ガルバリウム化亜鉛鋼板 厚0.4
①	屋根	ガルバリウム化亜鉛鋼板 折版
②	外壁	ALC板 厚100 目地処理下地 吹付けタイル RE仕上
⑤	基礎巾木	コンクリート打放し補修 アクリル樹脂クリア(AC)塗装



南立面図 1/100

東立面図 1/100

断面図 1/100

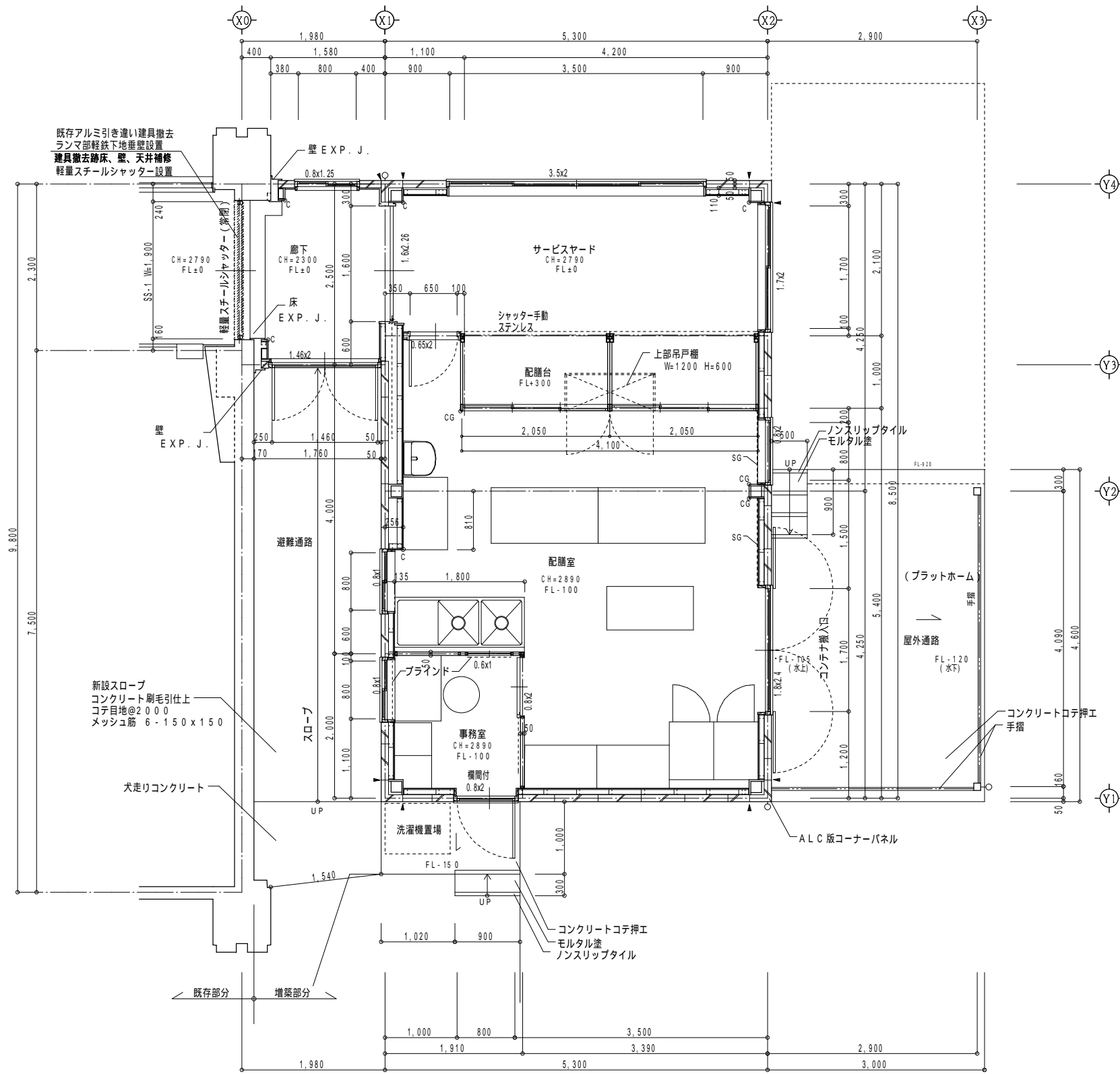
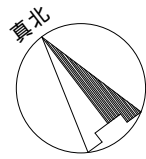


北立面図 1/100

西立面図 1/100

断面図 1/100

都市設計	工事名称 瑞穂中学校配膳施設増築 及び受電設備増設等工事	図面番号 16
	図面名称 立面図 断面図	縮尺 S=1/100
一級建築士事務所登録 (24A) 第01211号 一級建築士登録 第152097号 村林俊治	製図 E. T.	日付 24.4.27



凡例

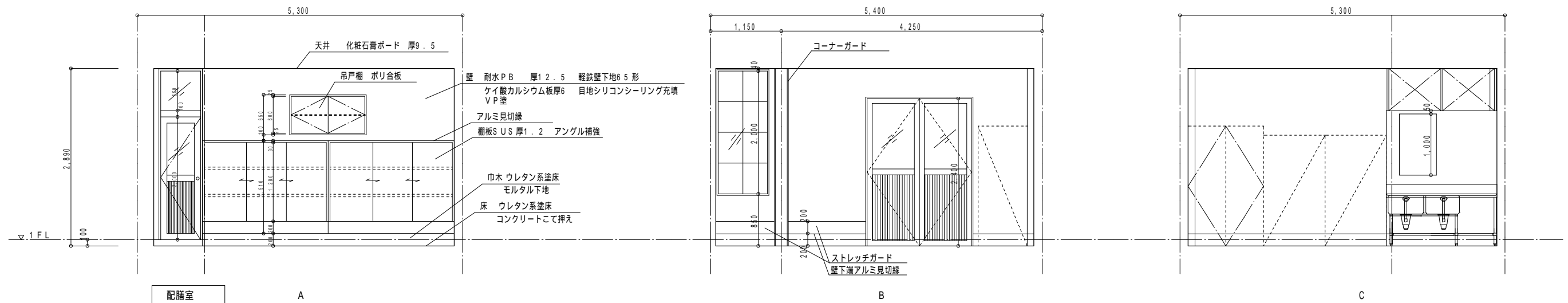
番号	名称	規格仕様	外形寸法 (m/m)			数量	工事区分	
			間口	奥行	高さ		本工事	厨房設備
	牛乳保冷庫		615	800	1950	1		○
	冷凍冷蔵庫		615	800	1950	1		○
	パン棚		1000	600	1800	1		○
	シェルフ (棚)		1000	600	1800	1		○
	二槽シンク		1800	750	850	1	○	
	パンラック	SUS 340	1000	600	1800	1		○
	移動台		1200	600	850	1		○
	コンテナ		1480	770	1550	2		○
	事務机		900	700	700	1		備品
	更衣ロッカー	コクヨ SWA-455	455	515	1790	1		備品
	掃除具入		455	515	1790	1	○	
	手洗い器	TOTO MR850APA	480	450	850	1	○	

凡例

- C - コーナー見切り (柱、壁出隅)
- CG - コーナーガード (壁、柱出隅)
- SG - ストレッチガード
- ▽ - ポリサルファイド系シーリング (壁目地)

平面詳細図 1/50

<h2 style="margin: 0;">都市設計</h2>	工事名称 瑞穂中学校配膳施設増築 及び受電設備増設等工事	図面番号 17
	図面名称 平面詳細図	縮尺 S=1/50
一級建築士事務所登録 (24A) 第01211号 一級建築士登録 第152097号 村林俊治		日付 24.4.27

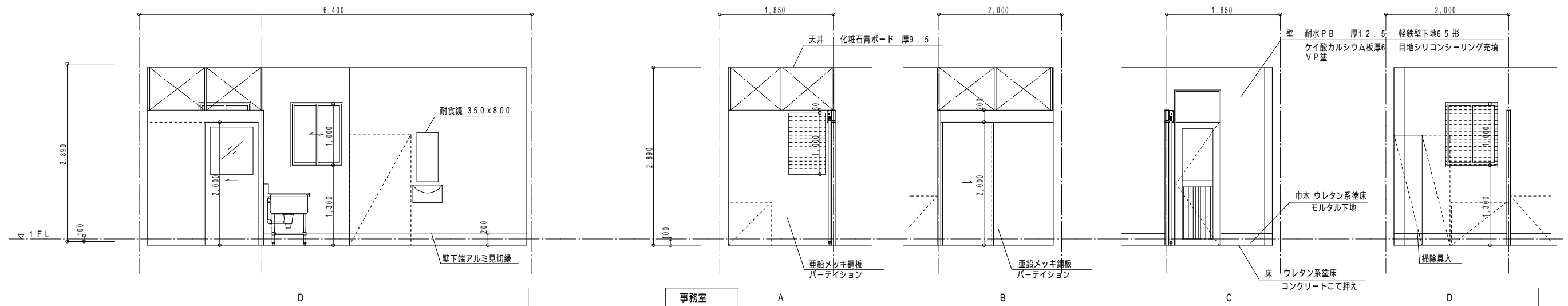


配膳室

A

B

C



事務室

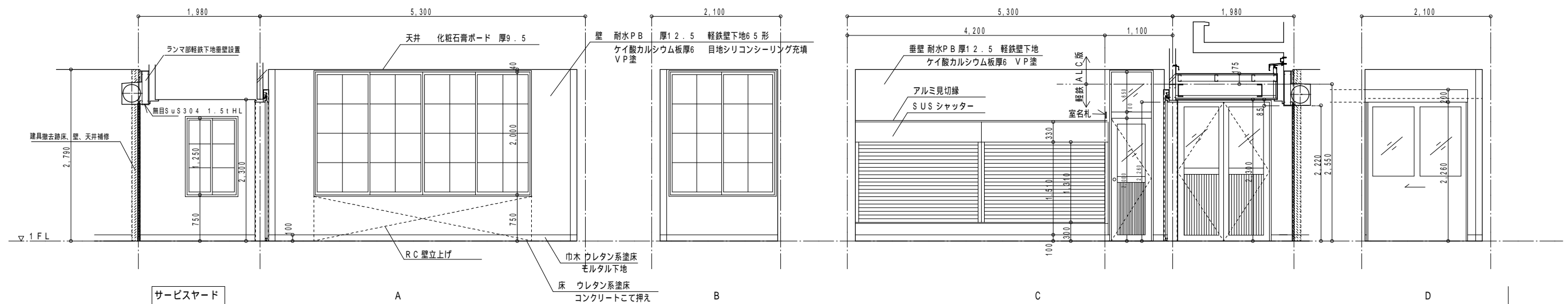
D

A

B

C

D



サービスヤード

A

B

C

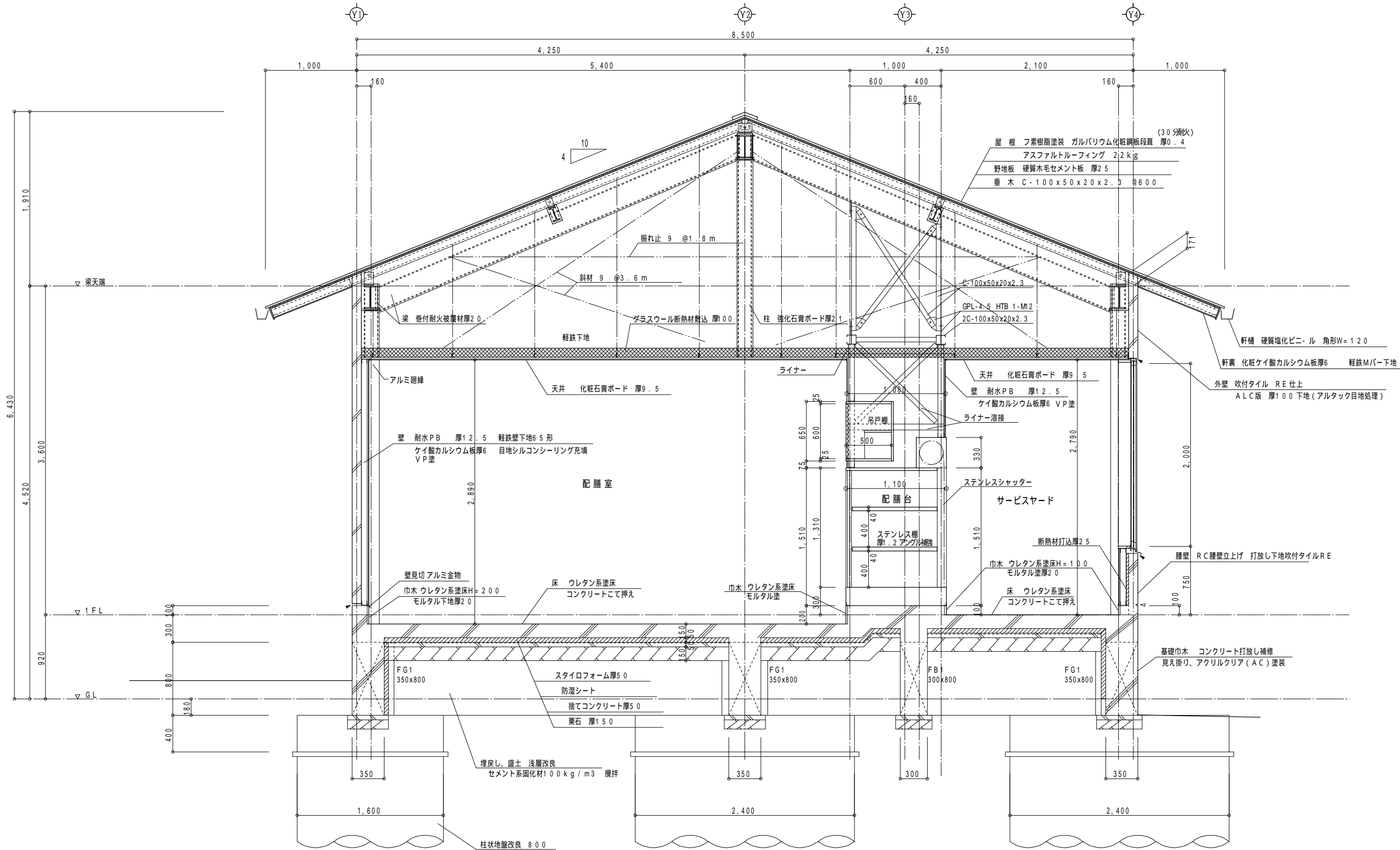
D

ケイ酸カルシウム板ジョイント部シリコン系シーリング充填
壁下部アルミ見切縁

都市設計

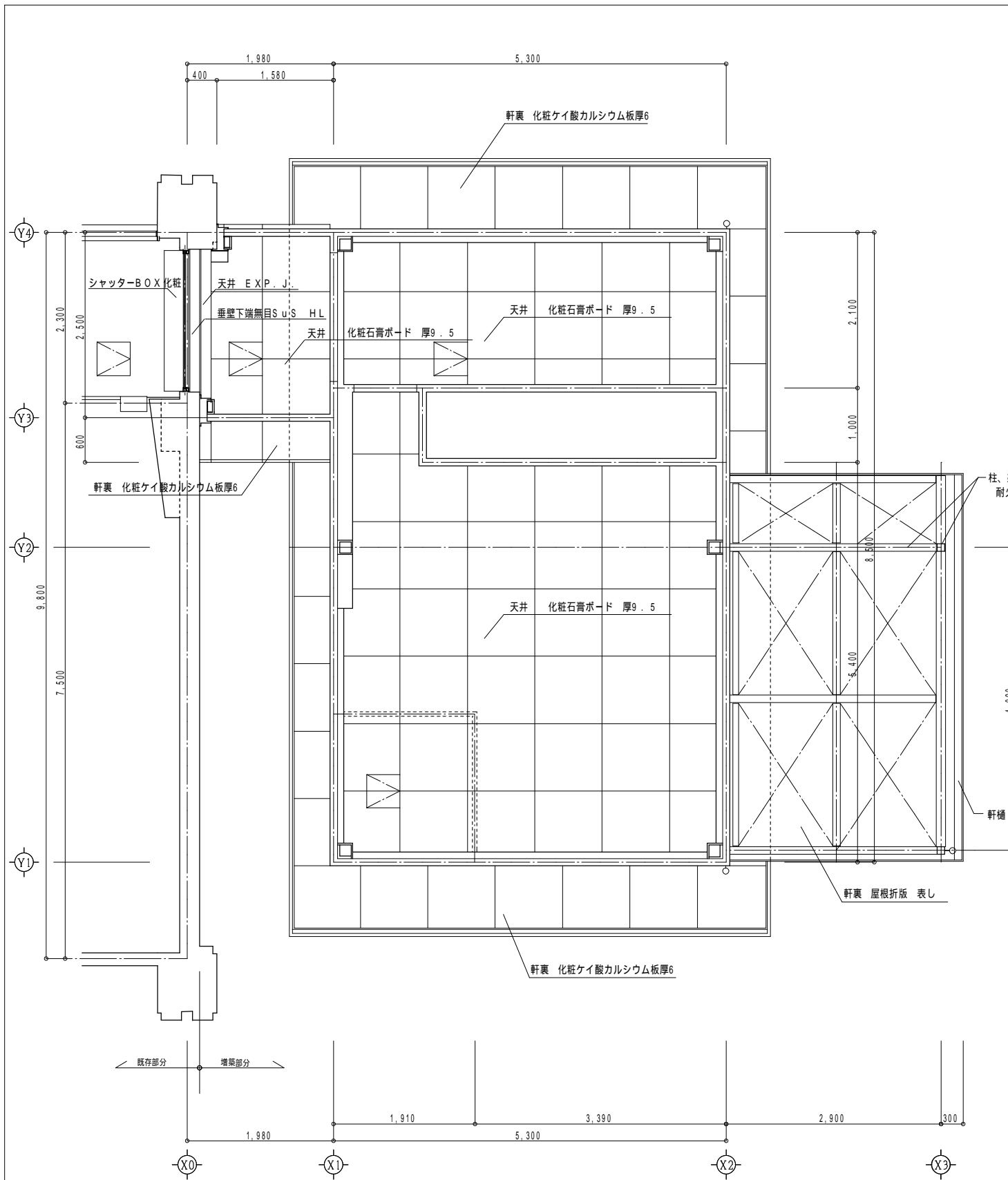
工事名称	瑞穂中学校配膳施設増築 及び受電設備増設等工事	図面番号	18
図面名称	展開図	縮尺	S=1/50
製図	E. T.	日付	24.4.27

一級建築士事務所登録 (24A) 第01211号
一級建築士登録 第152097号 村林俊治

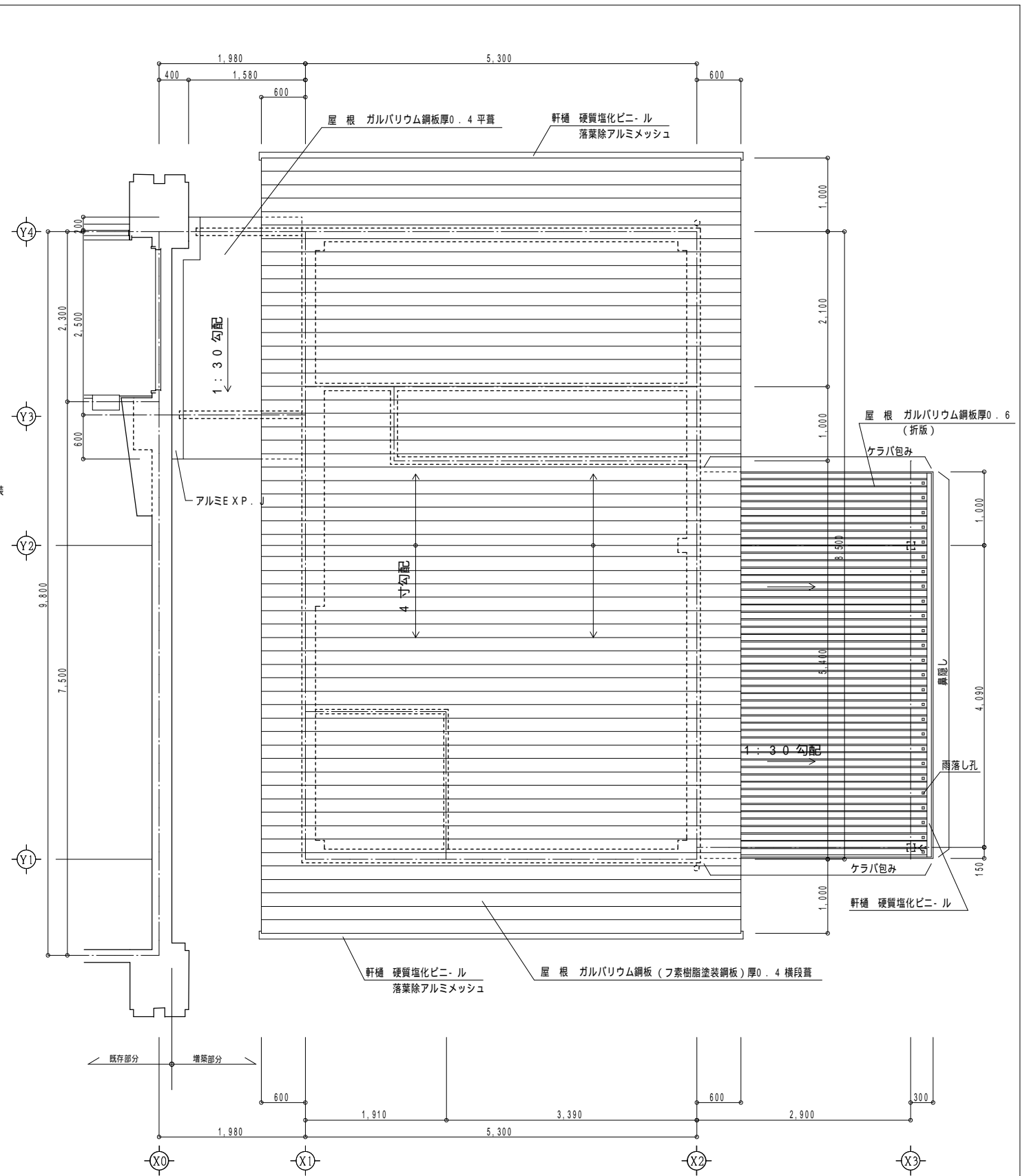


矩計図 1/30

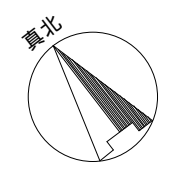
都市設計 <small>一級建築士事務所登録 (24A) 第01211号 一級建築士登録 第152097号 村林俊治</small>	工事名称 瑞穂中学校配膳施設増築 及び受電設備増設等工事	図面番号 19
	図面名称 矩計図	縮尺 S=1/30



天井伏図 1/50



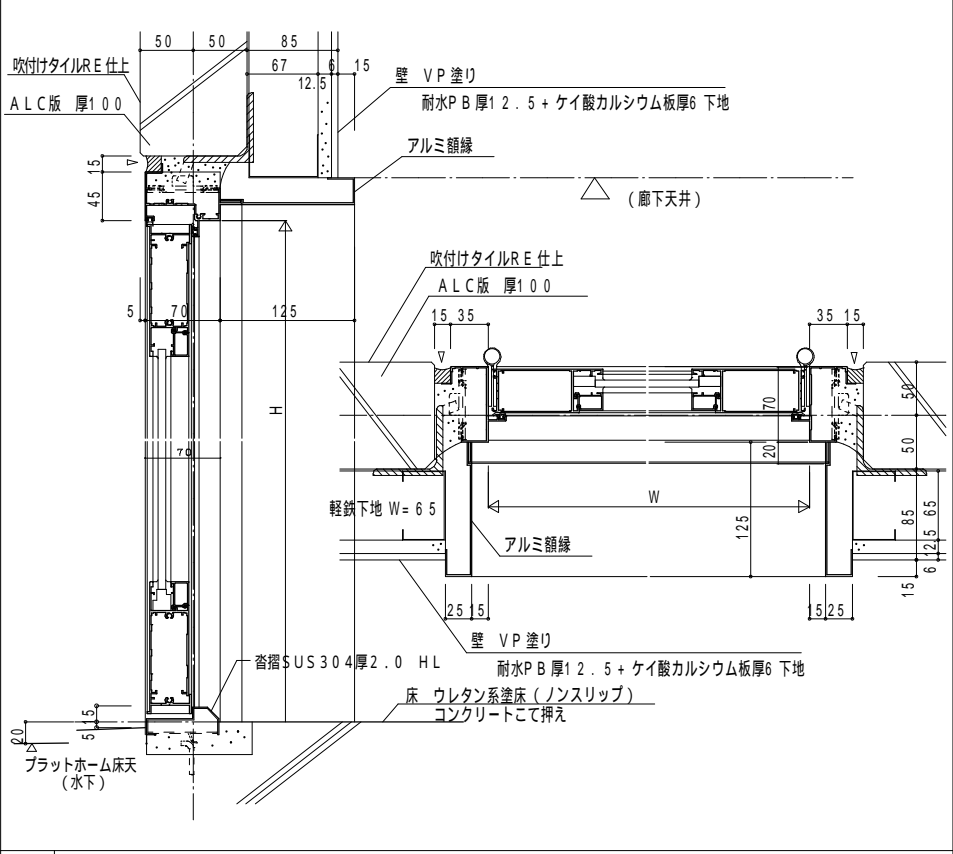
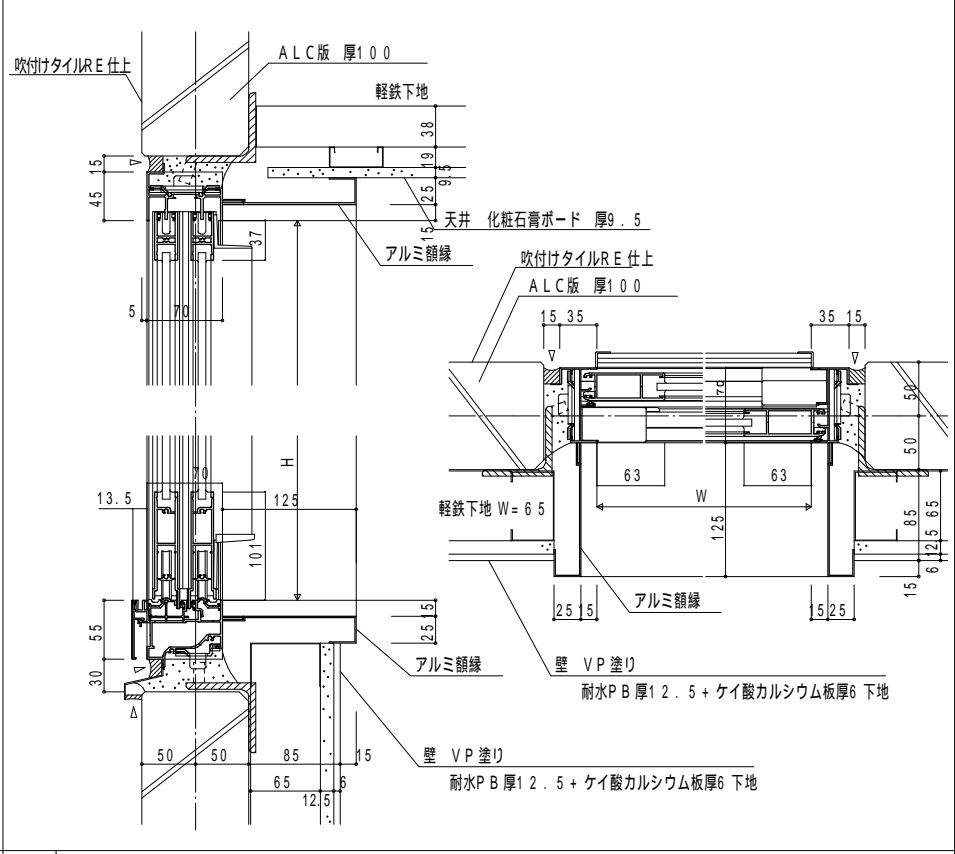
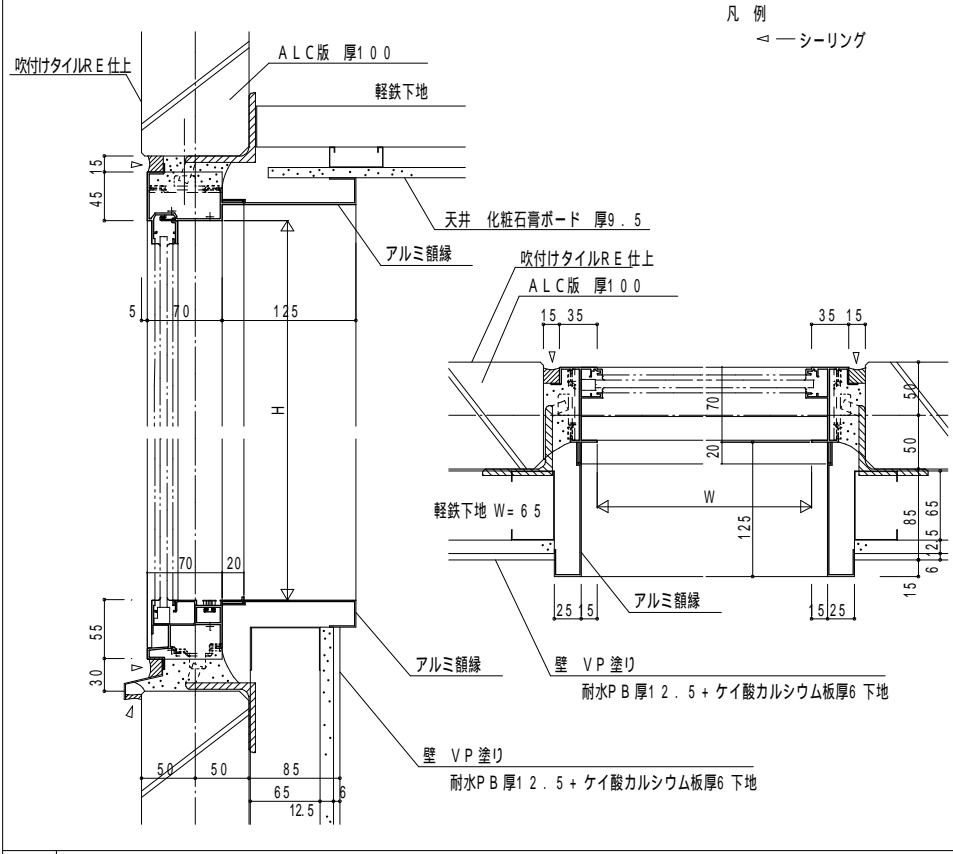
屋根伏図 1/50



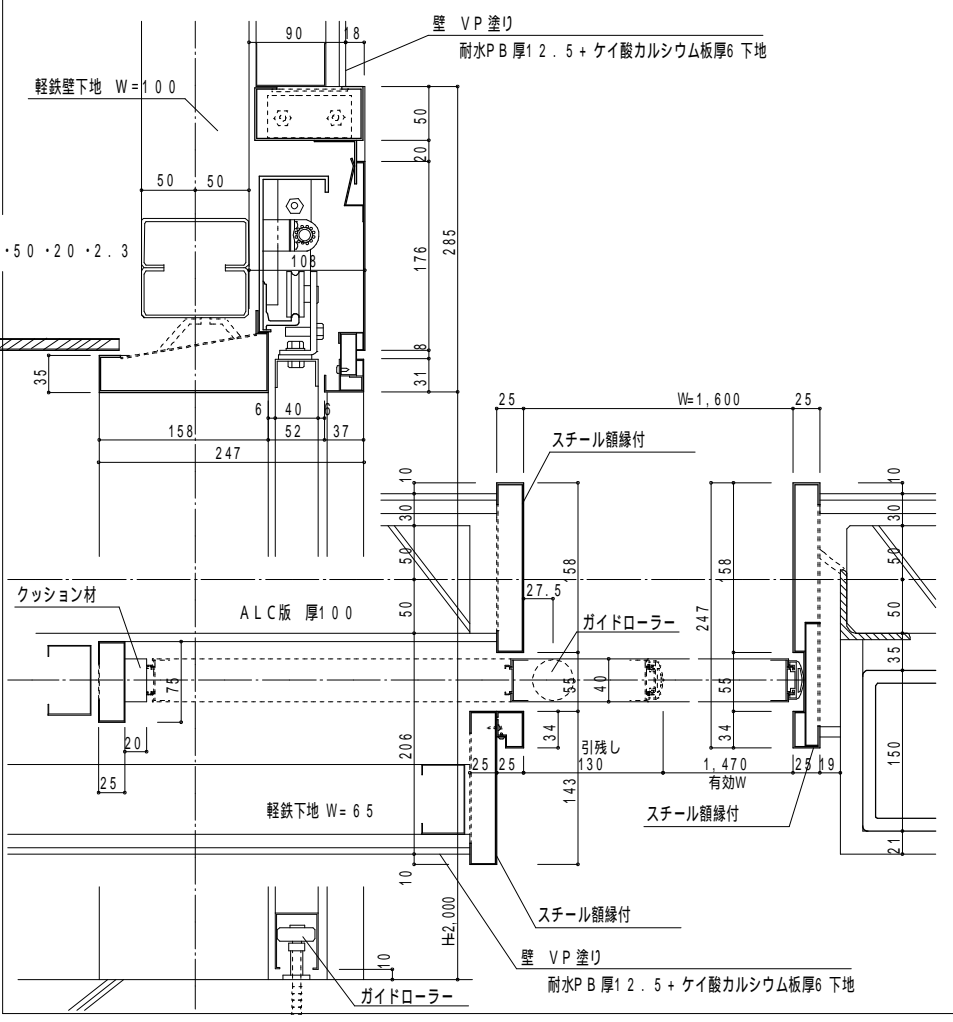
- 凡例
- アルミ天井点検口 450x450

都市設計	工事名称 瑞穂中学校配膳施設増築 及び受電設備増設等工事	図面番号 20
	図面名称 天井伏図 屋根伏図	縮尺 S=1/50
一級建築士事務所登録 (24A) 第01211号 一級建築士登録 第152097号 村林俊治	製図 E. T.	日付 24.4.27

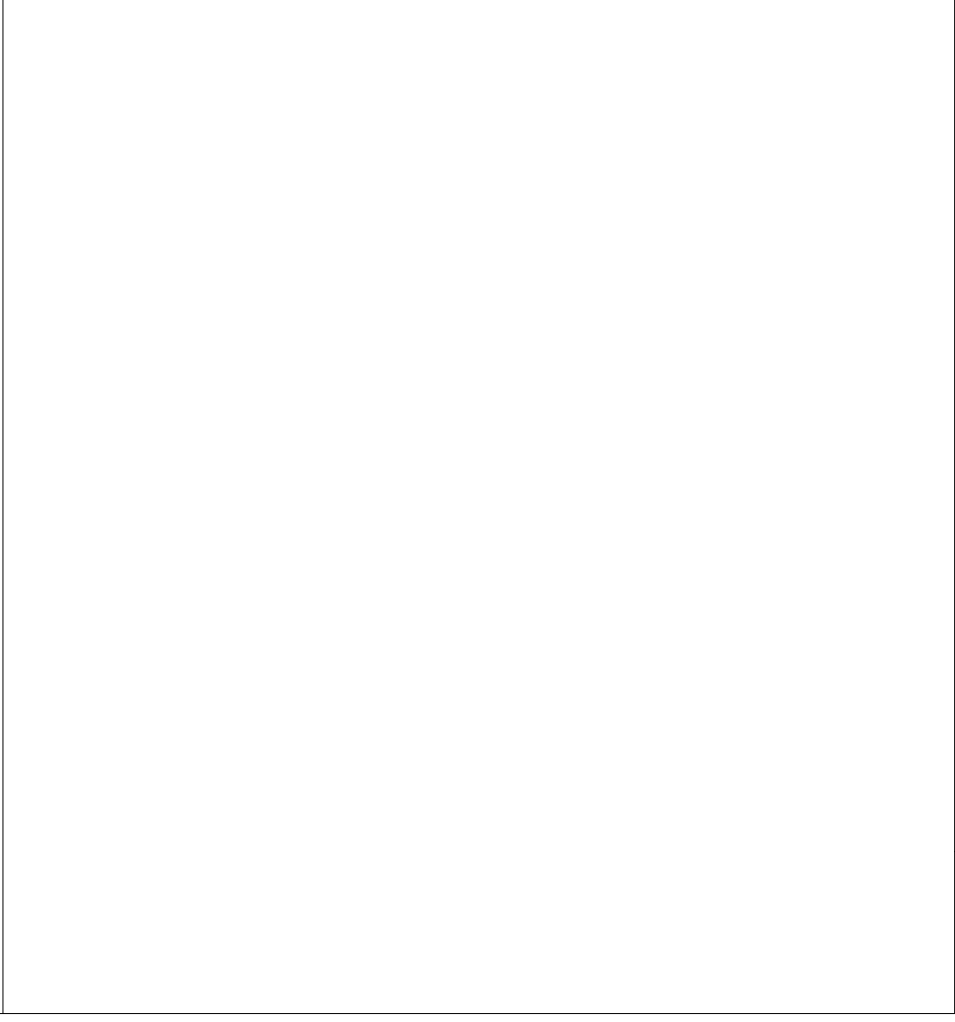
1 FIX窓 (ALC用枠) EB-9101 2 引違い窓 (ALC用枠) B-9102 3 かまちドア (ALC用枠) EB-9107



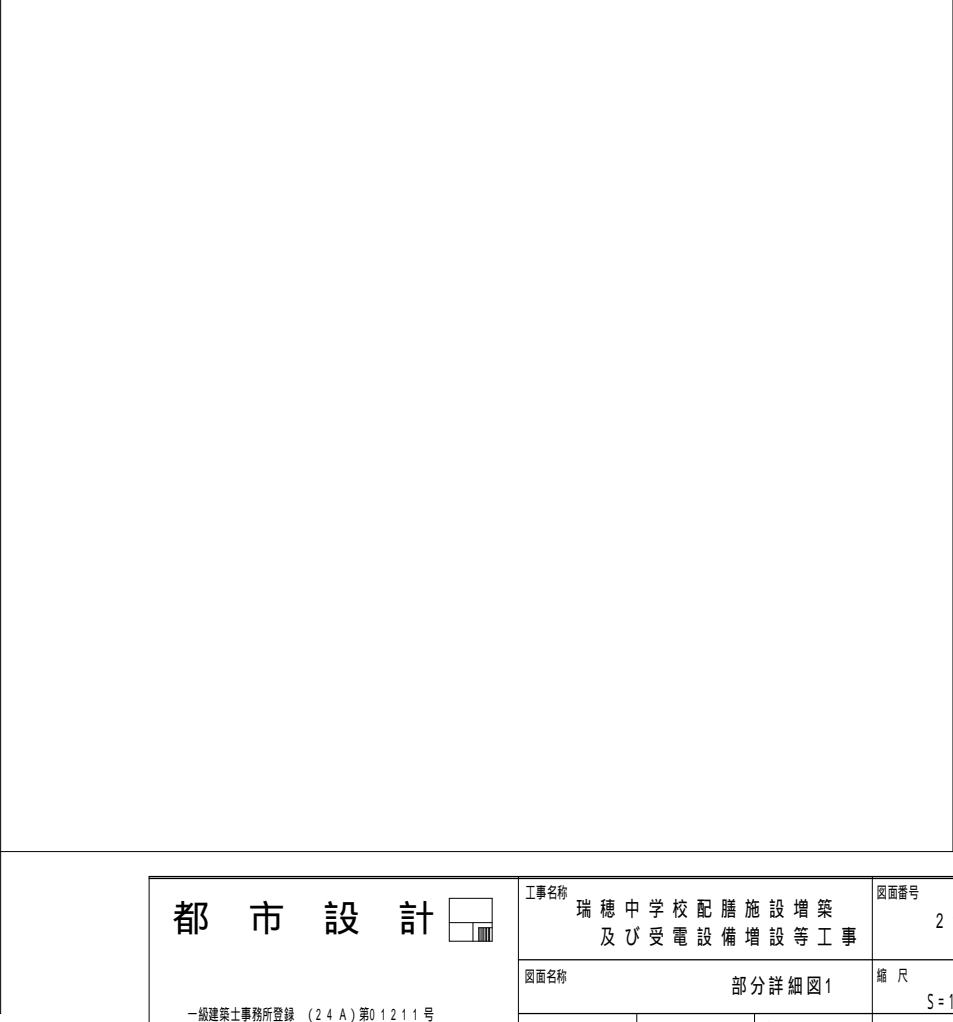
4 スチール製片引吊戸



5

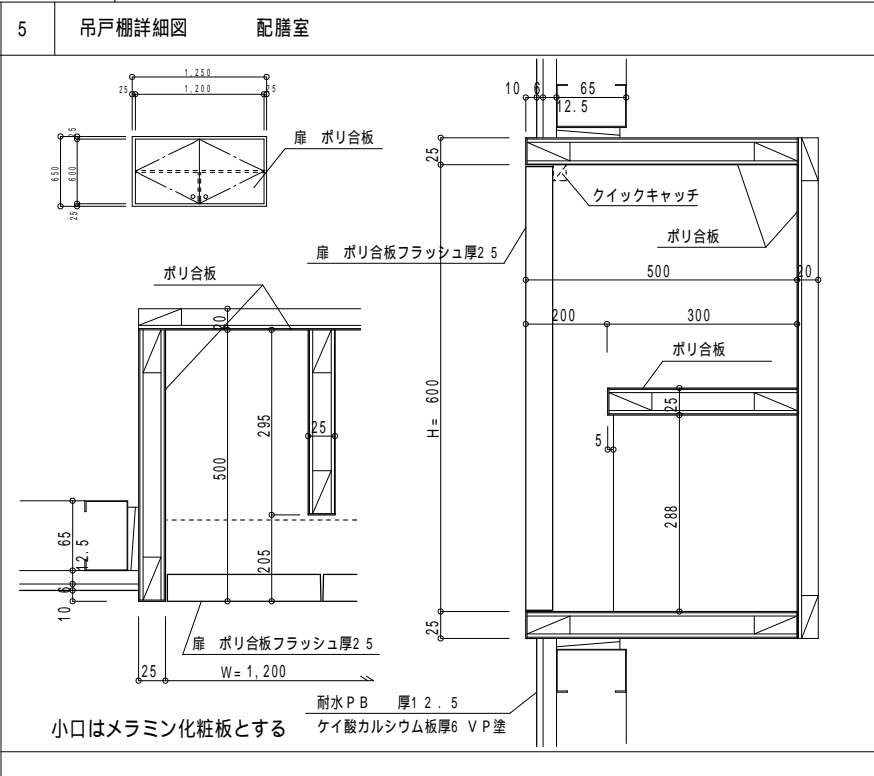
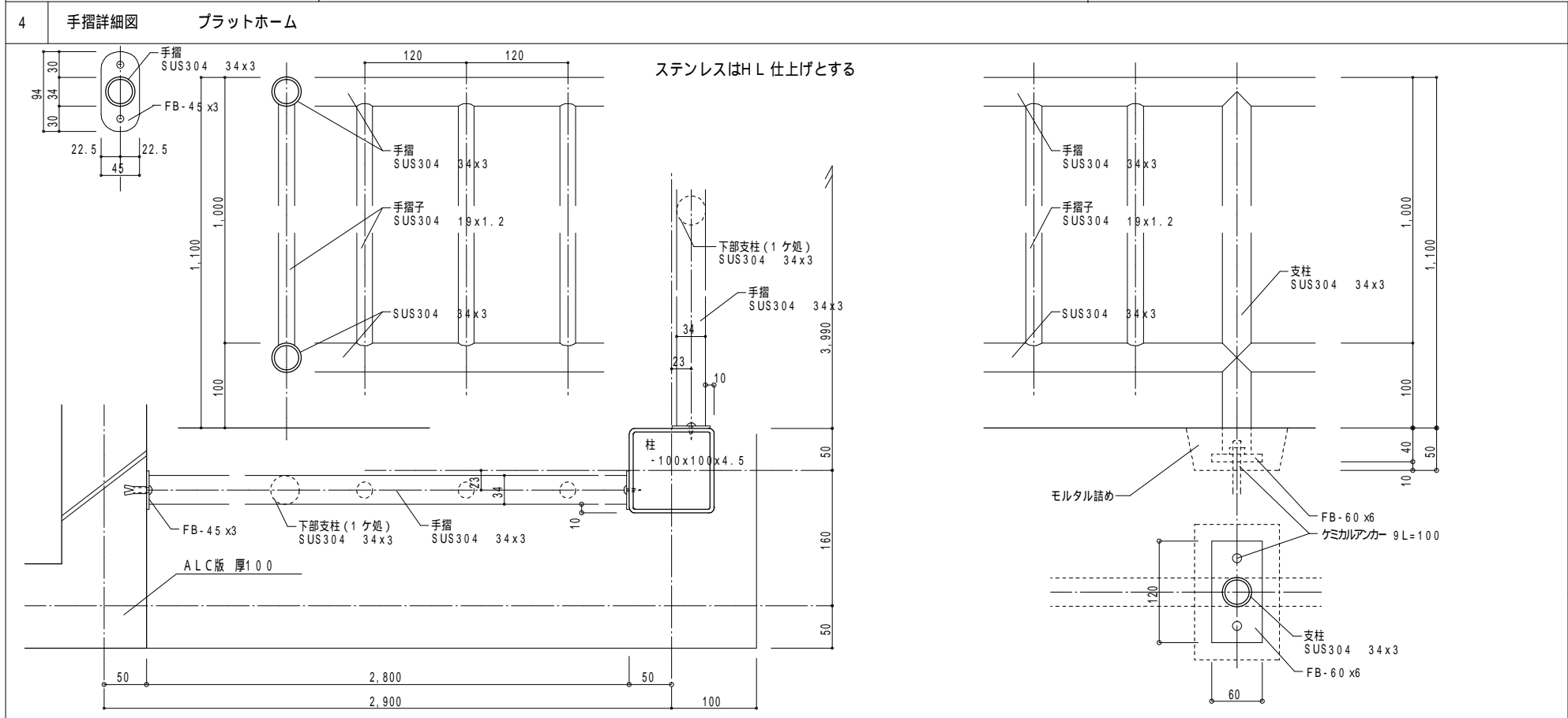
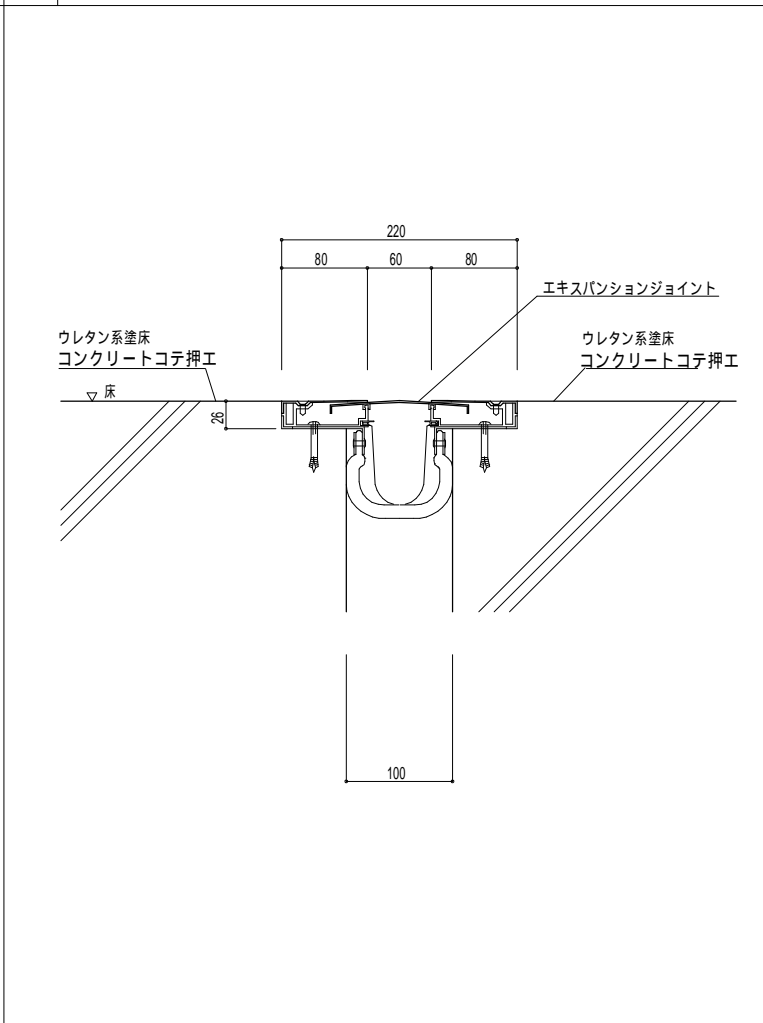
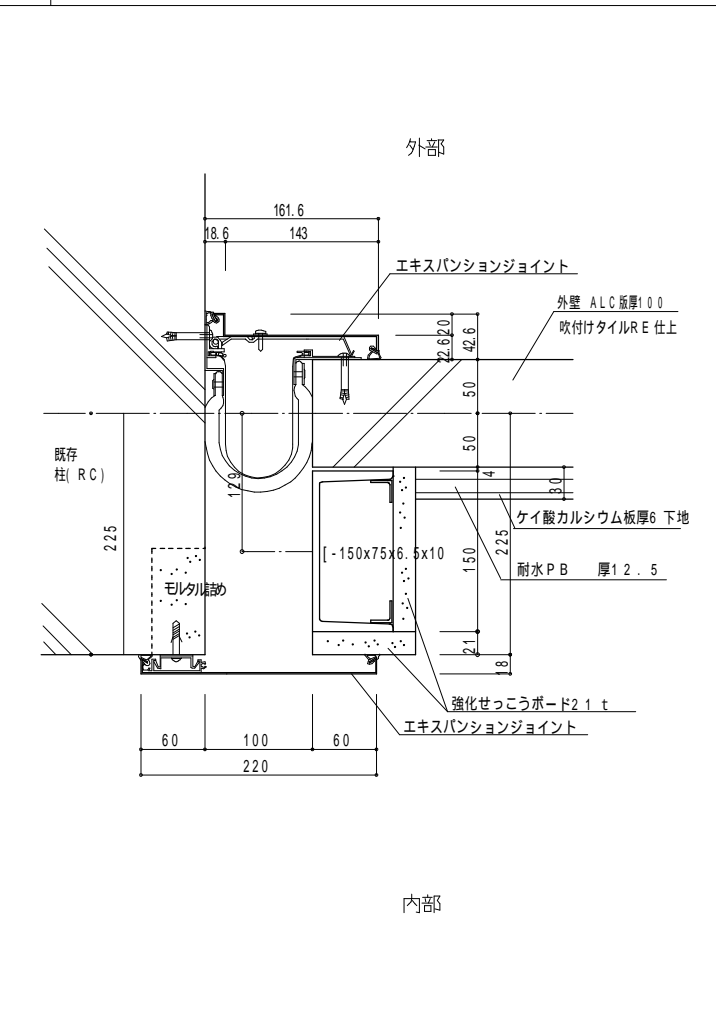
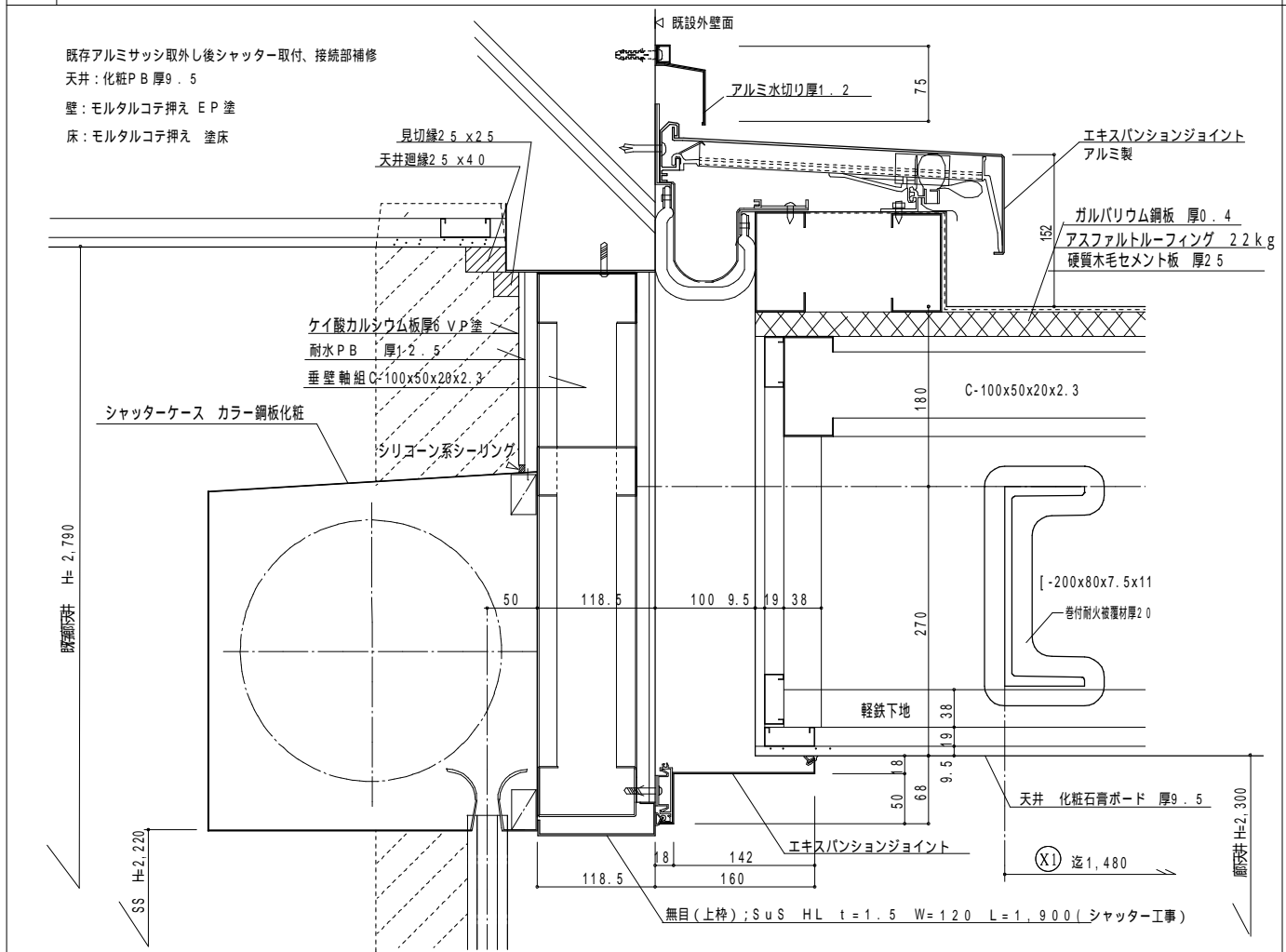


6



<h1>都市設計</h1>	工事名称 瑞穂中学校配膳施設増築 及び受電設備増設等工事	図面番号 21
	図面名称 部分詳細図1	縮尺 S=1/5
一級建築士事務所登録 (24A)第01211号 一級建築士登録 第152097号 村林俊治	製図 E.T.	日付 24.4.27

1 SS-1 (軽量スチールシャッター) 取付納まり	2 EXP.J 壁~壁	3 EXP.J 床~床
----------------------------	-------------	-------------



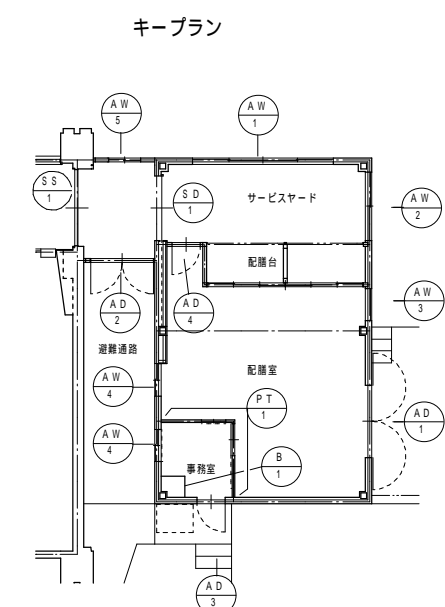
都市設計	工事名称 瑞穂中学校配膳施設増築 及び受電設備増設等工事	図面番号 22
	図面名称 部分詳細図2	縮尺 S=1/5
一級建築士事務所登録 (24A)第01211号 一級建築士登録 第152097号 村林俊治	製図 E.T.	日付 24.4.27

<p>屋根</p> <p>ガルバリウム鋼板 + 硬質木毛セメント板</p> <p>認定番号 FP030RF-9082 耐火時間 0.5h</p> <p>横包み ガルバリウム鋼板 (フ素樹脂塗装鋼板) 下地 t=0.8加工 屋根 フ素樹脂塗装 ガルバリウム化粧鋼板段葺 厚0.4 アスファルトルーフィング 22kg 野地板 硬質木毛セメント板 厚2.5 垂木 C-100x50x20x2.3 @600</p>	<p>軒裏</p> <p>アスノンキング 11t</p> <p>認定番号 QF045RS-9001 耐火時間 -</p> <p>鼻木 ガルバリウム化粧鋼板 厚0.4 垂木 C-100x50x20x2.3 @600 下地 軽鉄Mバー 軒裏 化粧ケイ酸カルシウム板厚6</p>	<p>屋根</p> <p>ガルバリウム鋼板 (折板)</p> <p>認定番号 FP030RF-9326 耐火時間 0.5h</p> <p>釘先ボルト M8 L=25 ガルバリウム鋼板厚 0.6 溶接 (20mm以上) 裏貼材</p>	<p>外壁</p> <p>ALC版100t</p> <p>認定番号 FP060NE-9293 耐火時間 1.0h</p> <p>* ALC取付金物は耐火被覆を処す</p> <p>ケイ酸カルシウム板厚 6 VP塗 耐水PB 厚12.5 軽鉄壁下地65形 ストレッチガード 壁下端アルミ見切縁 ALC版用流し筋 ALC版用アンカー筋 600φ ポリサルファイド系シーリング充填 吹付けタイル RE仕上 外壁 ALC版厚100 FPO60NE-9293</p>
<p>柱</p> <p>鉄骨に強化せつこうボード21t被覆</p> <p>認定番号 FP060CN-9170 耐火時間 1.0h</p> <p>参考: (吉野石膏(株))</p> <p>裏当て材(不燃材料) (せつこうボード) 外壁 ALC版100t 吹付けタイル RE仕上 鉄骨柱 強化せつこうボード21t FP060CN-9170 コーナガード</p>	<p>柱</p> <p>鉄骨に耐火塗料</p> <p>認定番号 FP060CN-9400 耐火時間 1.0h</p> <p>参考: (ナリファイア社)</p> <p>耐火塗料 鉄骨柱</p>	<p>梁</p> <p>鉄骨に巻付耐火被覆材厚20</p> <p>認定番号 FP060BM-0159 耐火時間 1.0h</p> <p>参考: (ニチアス(株) マキベ工同等品)</p> <p>外壁 ALC版厚100 吹付けタイル RE仕上 巻付耐火被覆材厚20 ビス固定(ワッシャー挿入) φ300</p>	

<h1>都市設計</h1> <p>一級建築士事務所登録 (24A)第01211号 一級建築士登録 第152097号 村林俊治</p>	<p>工事名称</p> <p>瑞穂中学校配膳施設増築 及び受電設備増設等工事</p>	<p>図面番号</p> <p>23</p>
	<p>図面名称</p> <p>耐火リスト図</p>	<p>縮尺</p> <p>S=1/20</p>
	<p>製図</p> <p>E.T.</p>	<p>日付</p> <p>24.4.27</p>

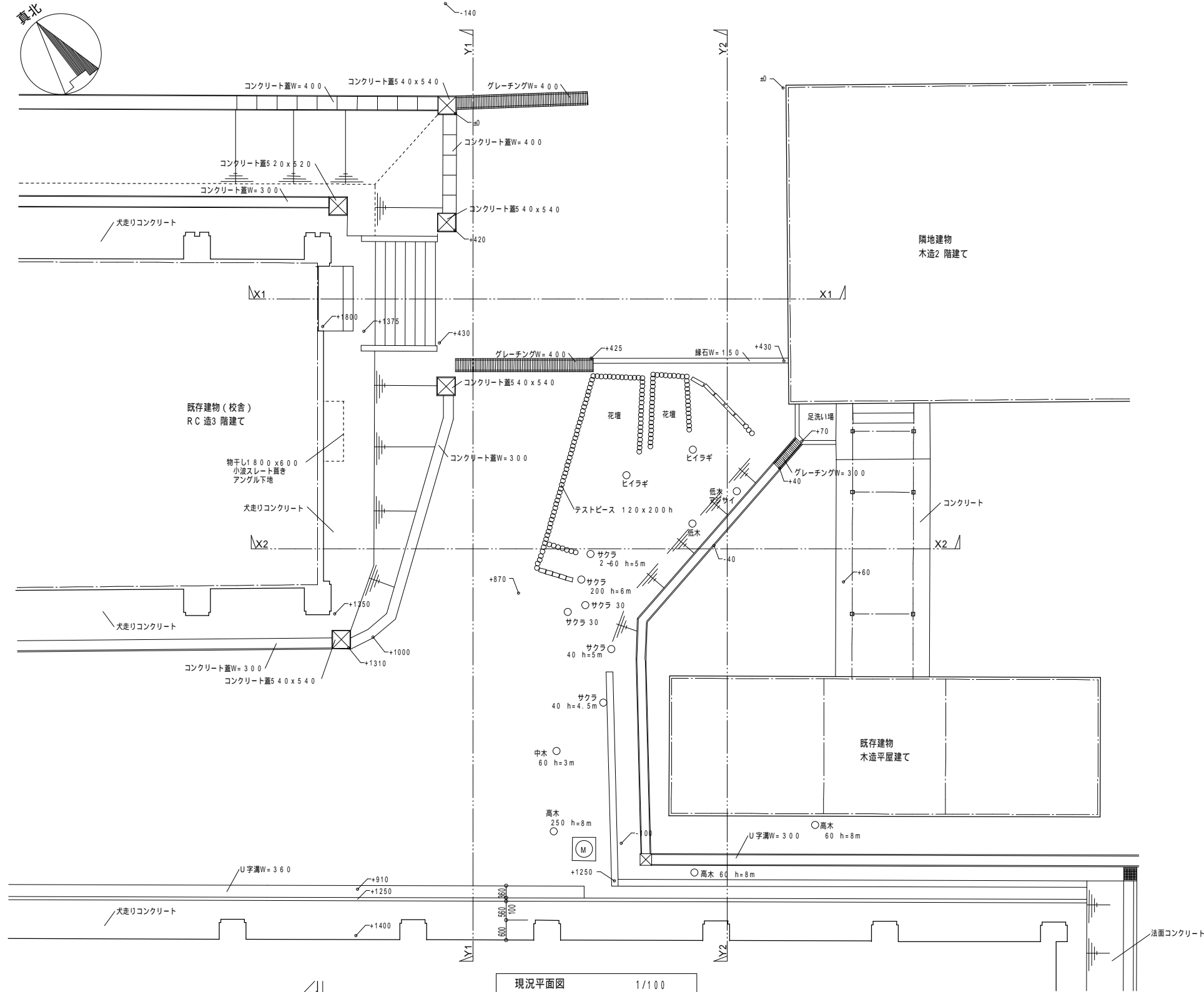
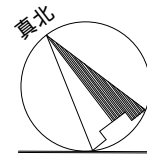
記号・数量	AW1 サービスヤード 1	AW2 サービスヤード 1	AW3 配膳室 1	AW4 事務室 配膳室 2	AW5 廊下 1	AD1 配膳室 1	AD2 廊下 1
型式	アルミ製4枚引違窓	アルミ製引違窓	アルミ製FIX窓	アルミ製引違窓	アルミ製引違窓	アルミ製両開き扉	アルミ製両開き扉
図	防火設備 S=1/50 	防火設備 	防火設備 	防火設備 	防火設備 	防火設備 	防火設備
見込 枠(扉)	70	70	70	70	70	70	70
材質・仕上	アルミ製 A-2種 (シルバー)	アルミ製 A-2種 (シルバー)	アルミ製 A-2種 (シルバー)	アルミ製 A-2種 (シルバー)	アルミ製 A-2種 (シルバー)	アルミ製 A-2種 (シルバー)	アルミ製 A-2種 (シルバー)
ガラス	網入透明ガラス厚 6.8	網入透明ガラス厚 6.8	網入透明ガラス厚 6.8	網入透明ガラス厚 6.8	網入透明ガラス厚 6.8	網入型板ガラス厚 6.8	網入透明ガラス厚 6.8
建具金物	アルミ額縁付 アルミ水切 クレセント アルミ格子	アルミ額縁付 アルミ水切 クレセント アルミ格子	アルミ額縁付 アルミ水切 アルミ格子	アルミ額縁付 アルミ水切 クレセント アルミ格子	アルミ額縁付 アルミ水切 クレセント アルミ格子	アルミ額縁付 アルミパネル フランス落し シリンダー錠 D.C	アルミ額縁付 アルミパネル フランス落し シリンダー錠 D.C
備考				ブラインド (事務室のみ)		沓摺SUS304	沓摺SUS304

記号・数量	AD3 事務室 1	AD4 配膳室 1	SD1 サービスヤード 1	PT1 配膳室 1	B1 掃除具入 1	SS1 既存廊下 1	
型式	アルミ製片開き扉	アルミ製片開き扉	スチール製片引吊戸	スチール製片引吊戸	ポリ合板ブース	(手動式)軽量スチールシャッター 常時閉鎖	
図	防火設備 S=1/50 						シャッターBOX カラー鋼板化粧
見込 枠(扉)	70	70	40	50	40		
材質・仕上	アルミ製 A-2種 (シルバー)	アルミ製 A-2種 (シルバー)	亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装	亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装	ポリ合板	焼付カラー鋼板	
ガラス	網入型板ガラス厚 6.8	強化ガラス厚 4.0	強化ガラス厚 4.0	強化ガラス厚 4.0			
建具金物	アルミ額縁付 アルミパネル D.C シリンダー錠	アルミ額縁付 アルミパネル D.C シリンダー錠	スチール額縁付 引手 錠前	引手 錠前	アルミ笠木 SUS巾木 壁面レール 丁番 ラッチ	SuS t=1.5 HL (レール, まぐさ, 座板)	
備考	沓摺SUS304	沓摺SUS304	自動閉鎖式	ブラインド 片引吊戸 自動閉鎖式	掃除具吊金物	無目(上枠)SuS HL	

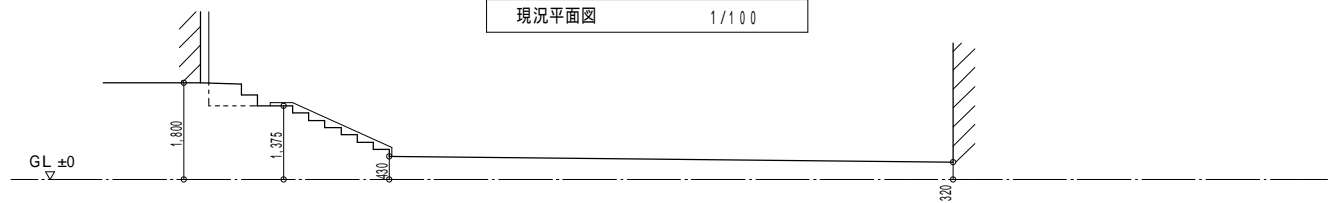


マスターキー(グランドマスター)必要
建具金物は全てステンレス製とする

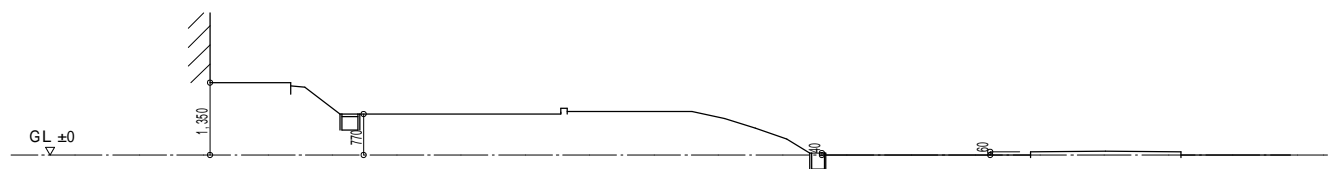
都市設計	工事名称	瑞穂中学校配膳施設増築 及び受電設備増設等工事	図面番号	24	
	図面名称	建具表	縮尺	S=1/50	
	一級建築士事務所登録 (24A) 第01211号 一級建築士登録 第152097号 村林俊治	製図	E.T.	日付	24.4.27



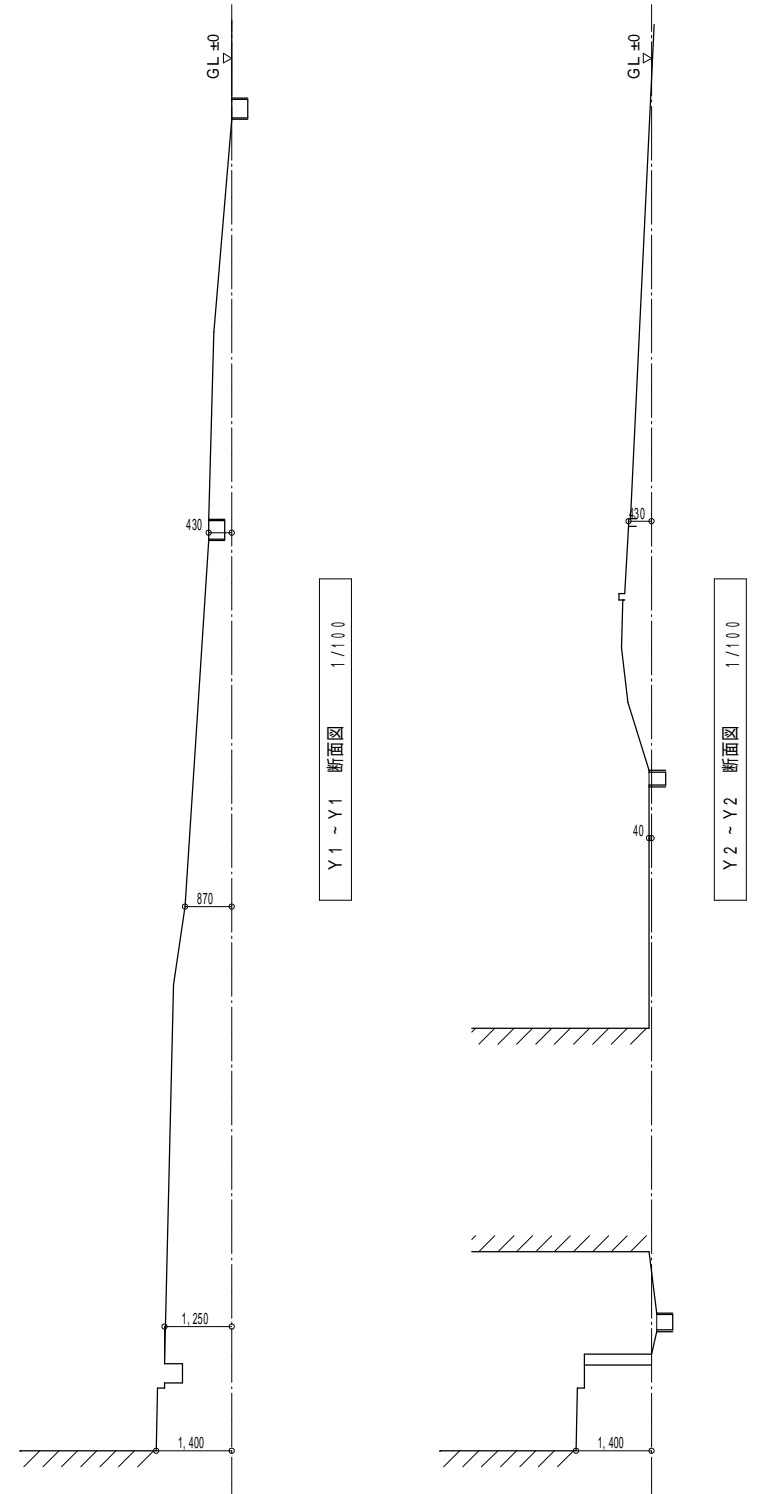
現況平面図 1/100



X1-X1 断面図 1/100



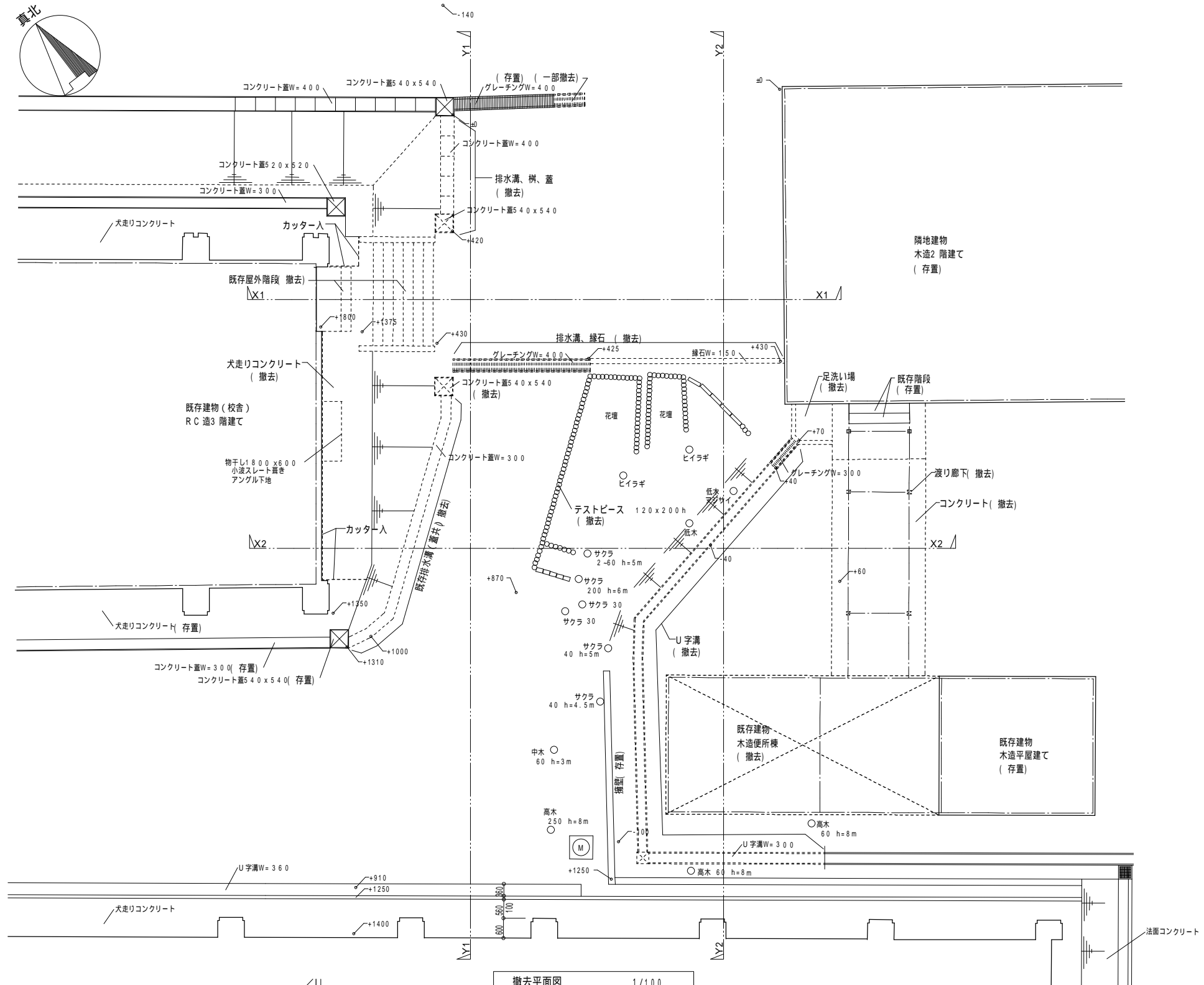
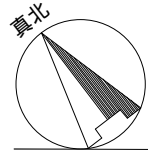
X2-X2 断面図 1/100



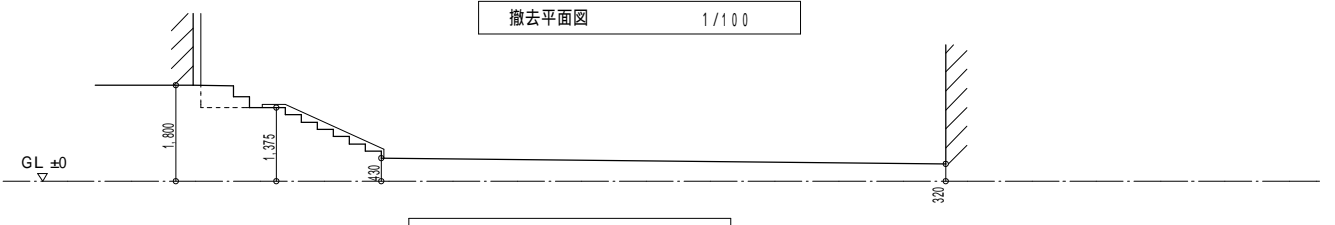
既存樹木撤去処分

都市設計	工事名称 瑞穂中学校配膳施設増築 及び受電設備増設等工事	図面番号 25
	図面名称 外構現況図 断面図	縮尺 S=1/100
	製図 E.T.	日付 24.4.27

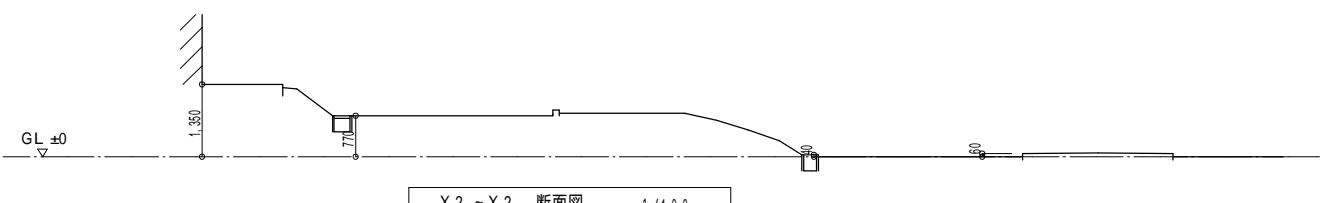
一級建築士事務所登録 (24A)第01211号
一級建築士登録 第152097号 村林俊治



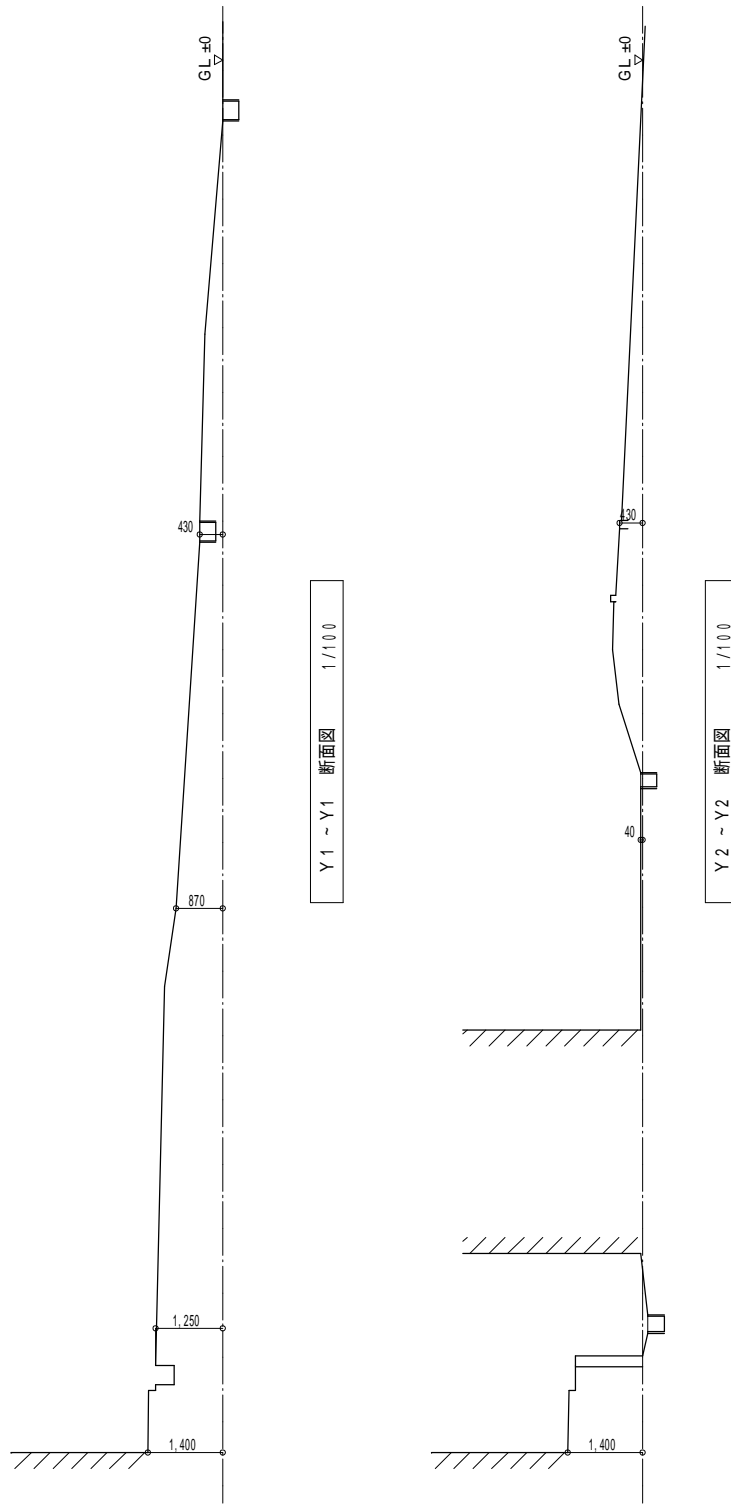
撤去平面図 1/100



X1 ~ X1 断面図 1/100



X2 ~ X2 断面図 1/100

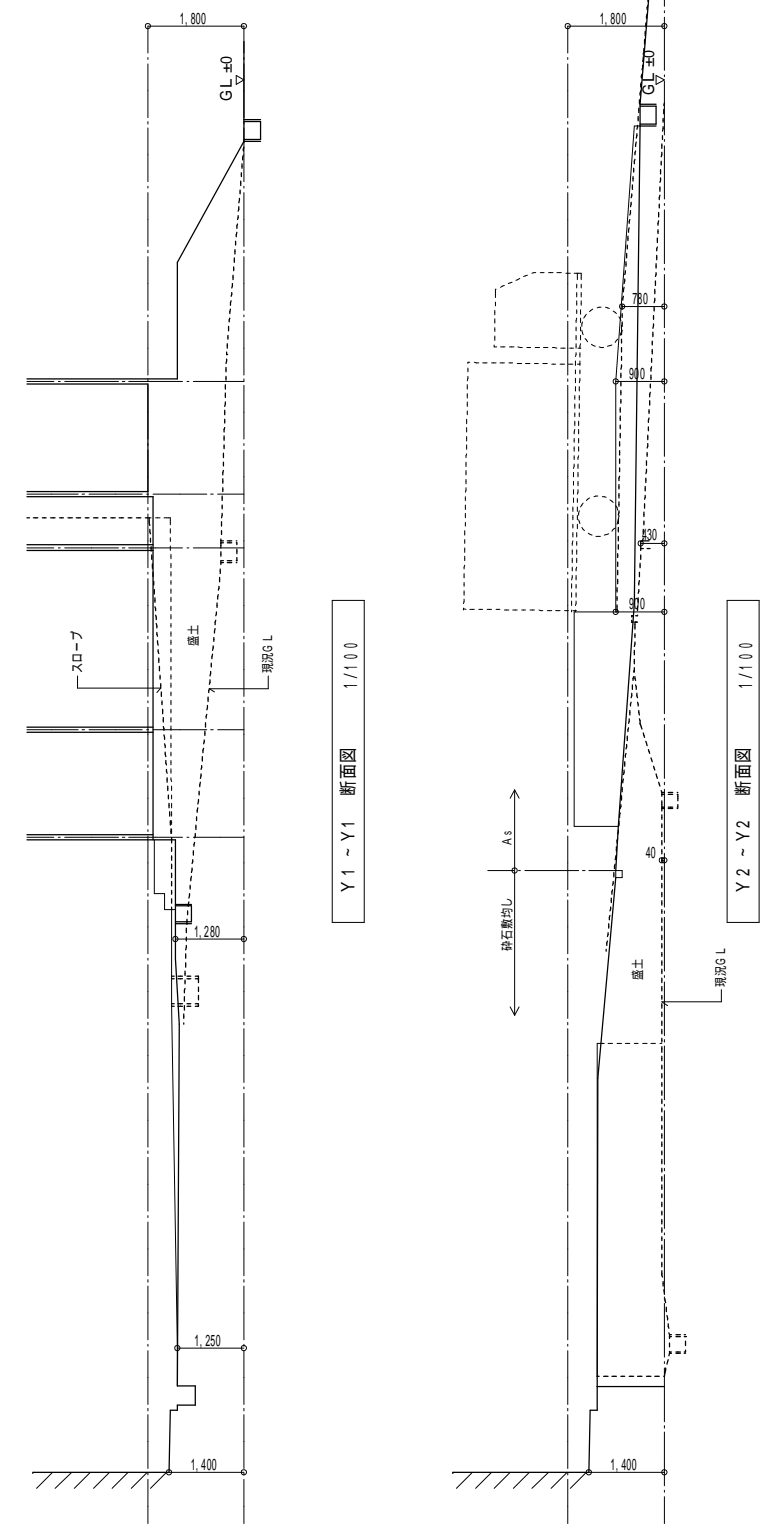
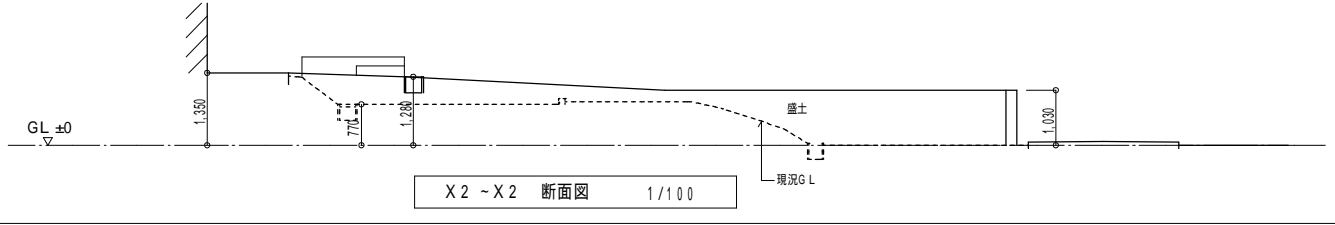
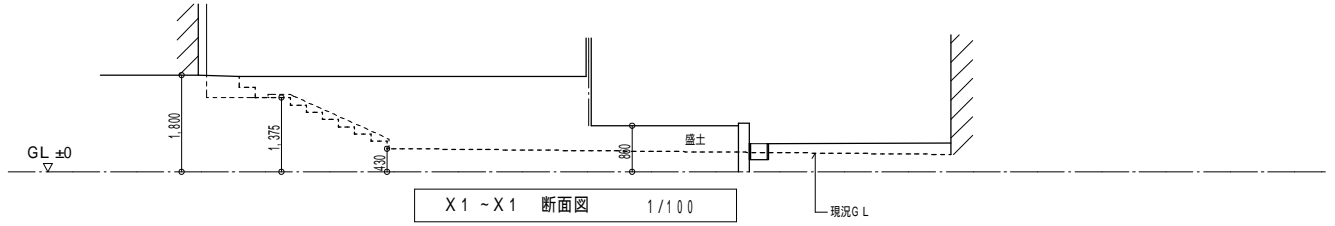
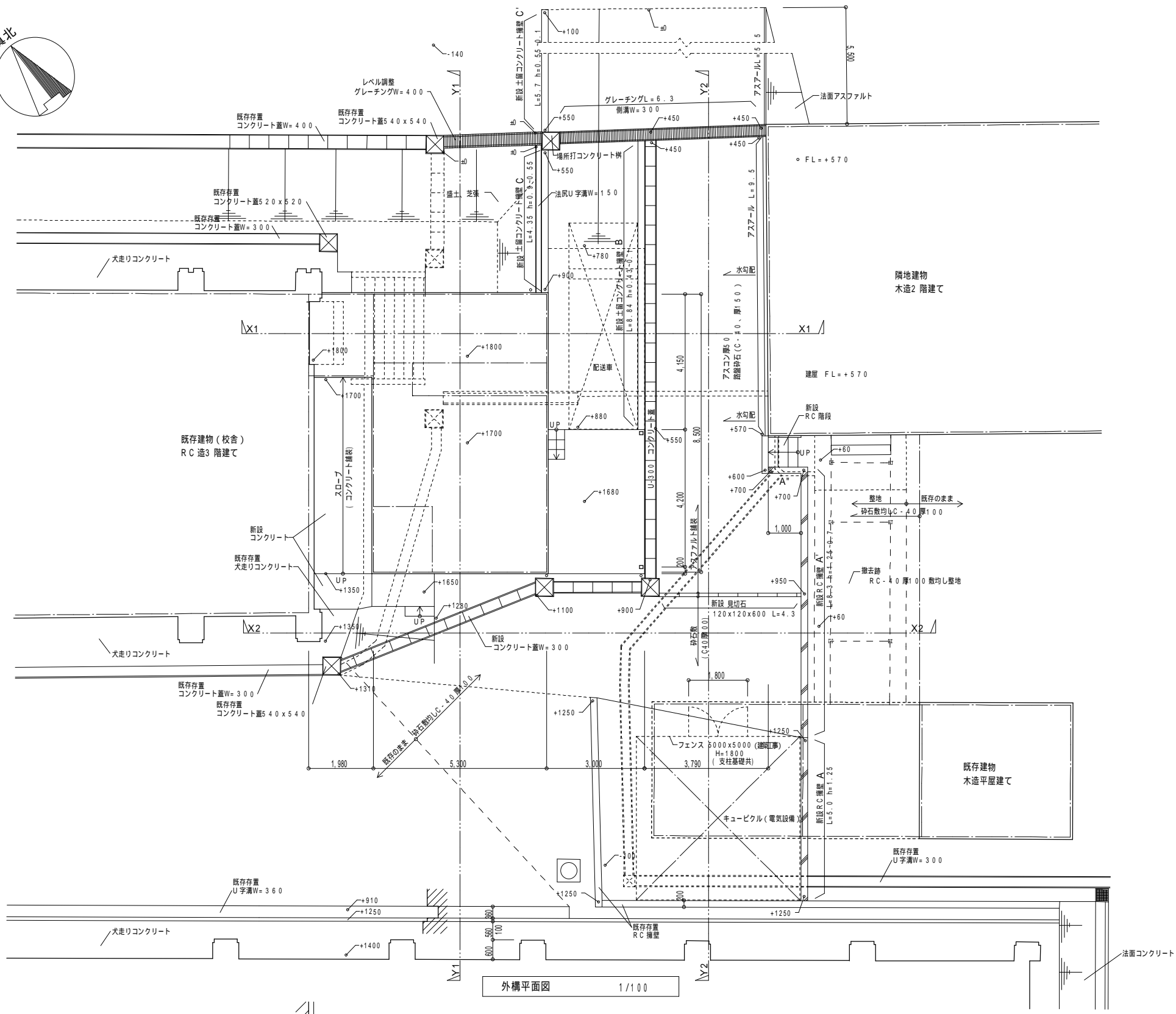
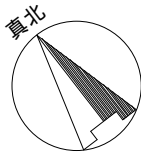


Y1 ~ Y1 断面図 1/100

Y2 ~ Y2 断面図 1/100

既存樹木撤去処分

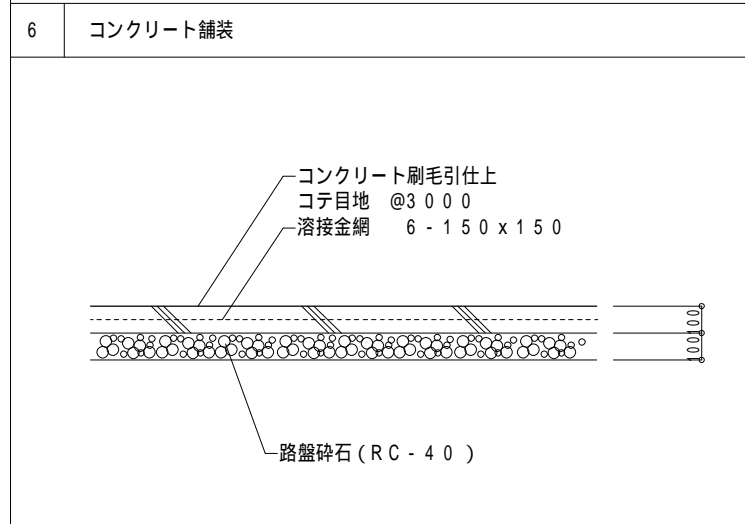
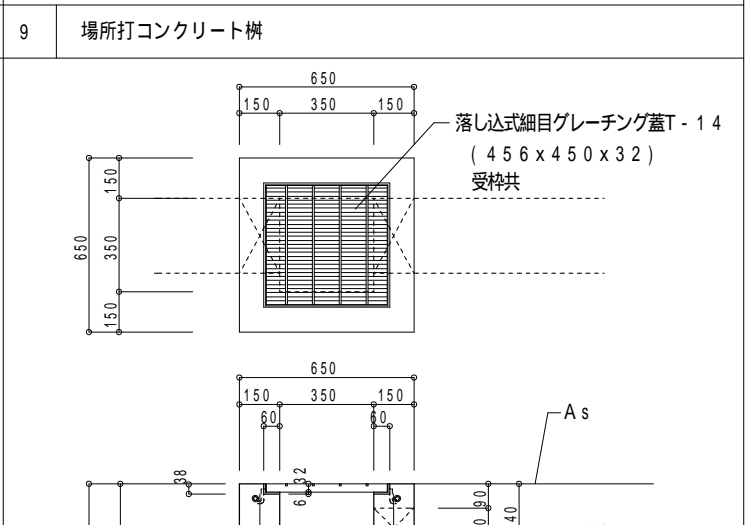
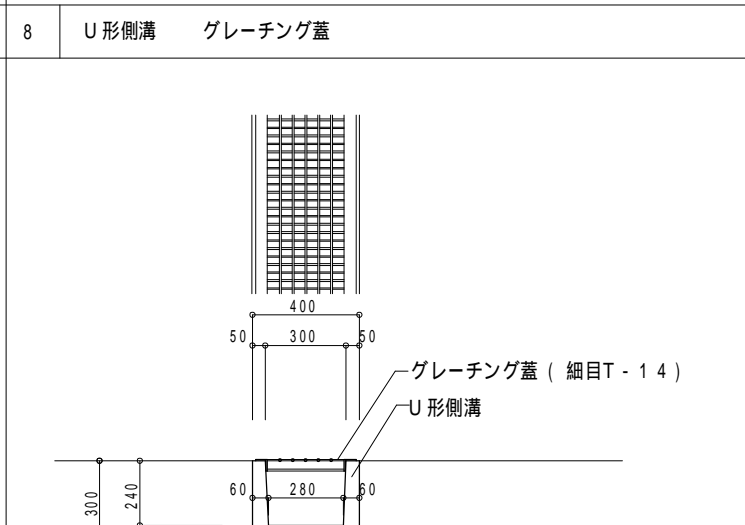
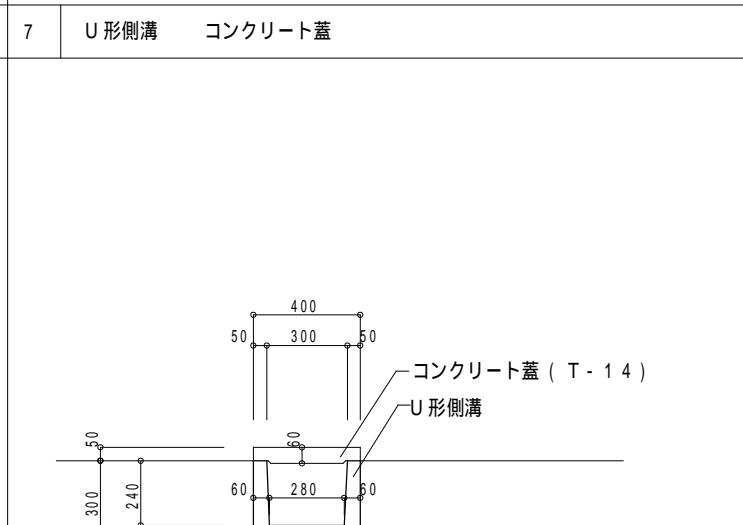
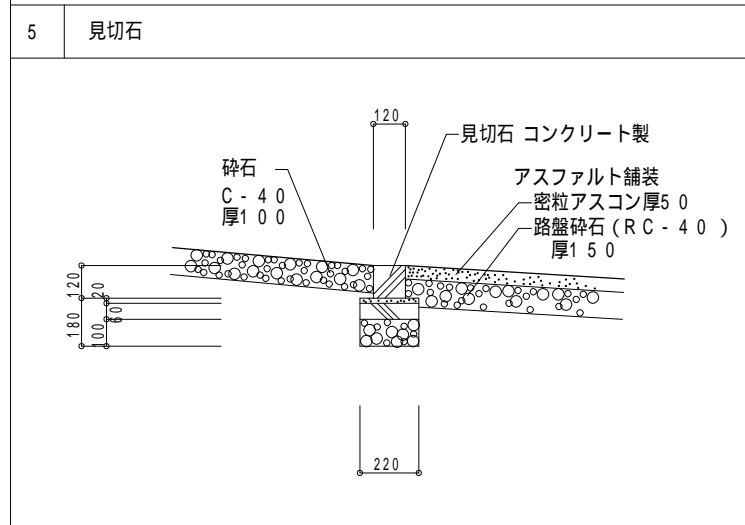
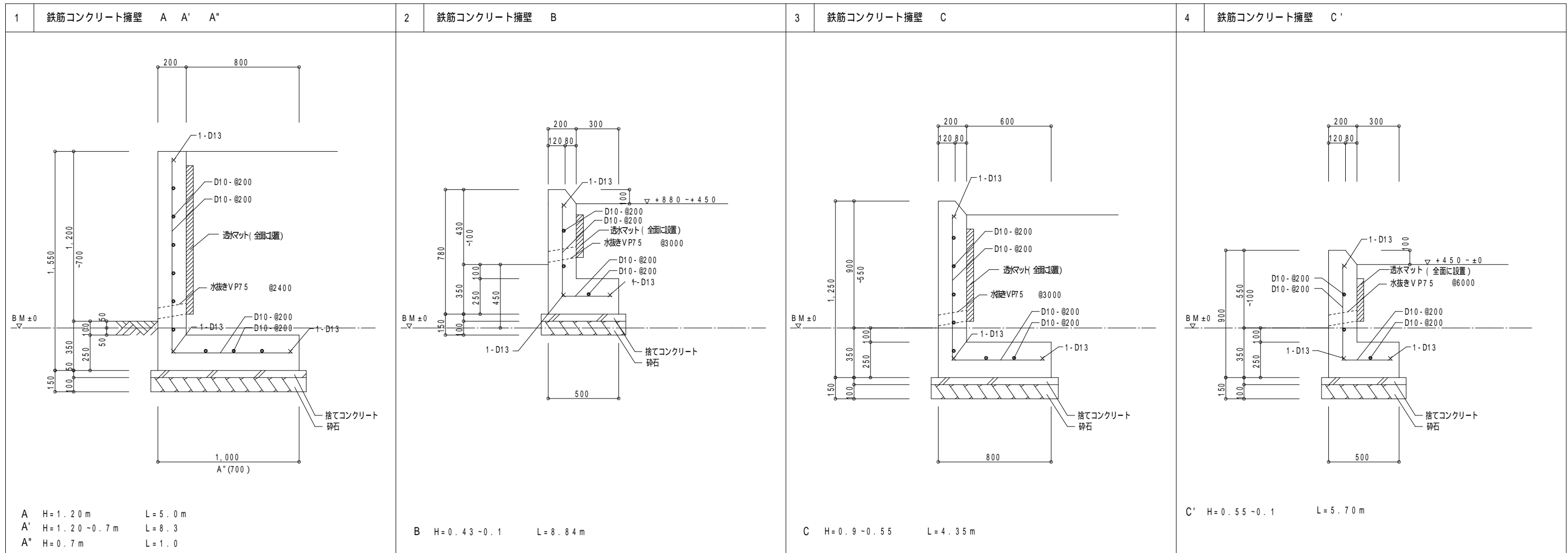
<h1>都市設計</h1>	工事名称 瑞穂中学校配膳施設増築 及び受電設備増設等工事	図面番号 26
	図面名称 外構撤去図 断面図	縮尺 S=1/100
一級建築士事務所登録 (24A) 第01211号 一級建築士登録 第152097号 村林俊治	製図 E. T.	日付 24.4.27



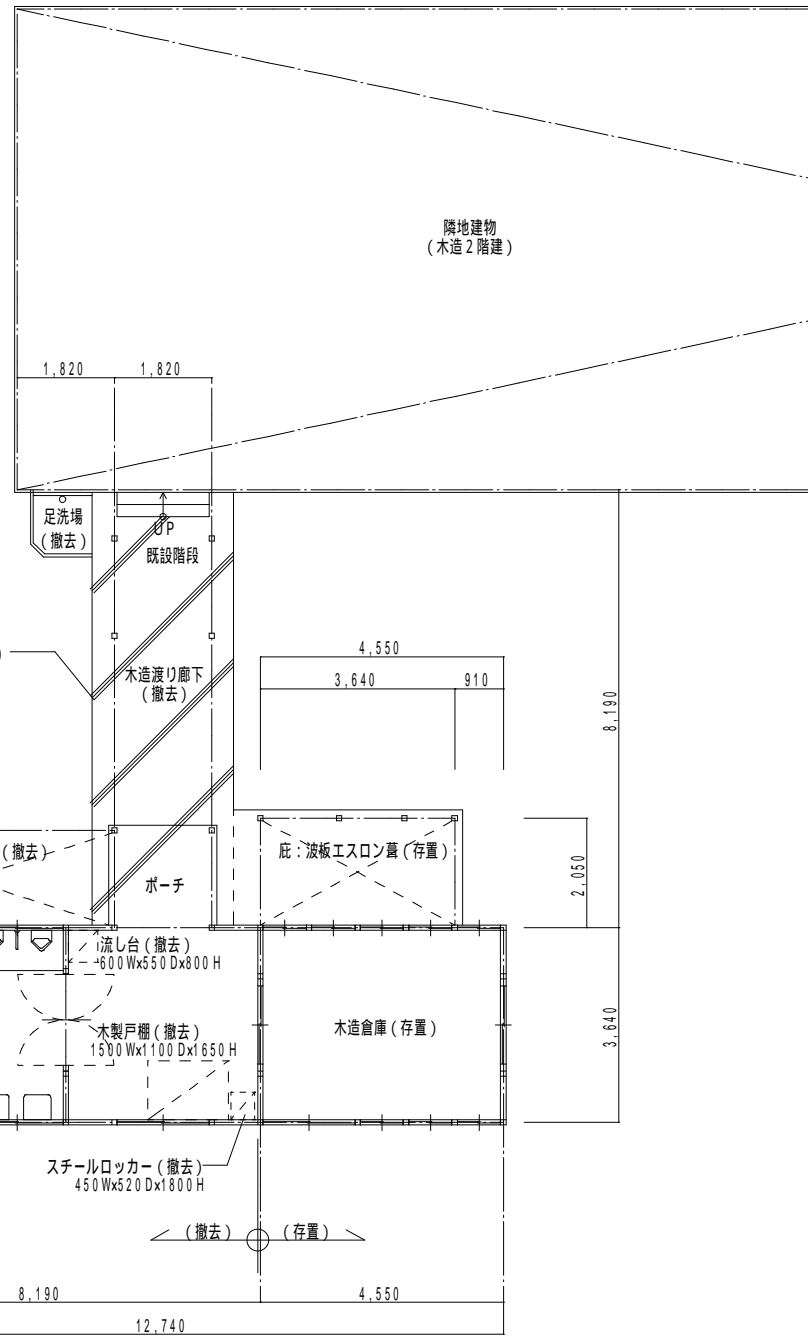
Y2-Y2 断面図 1/100

<h1>都市設計</h1>	工事名称 瑞穂中学校配膳施設増築 及び受電設備増設等工事	図面番号 27
	図面名称 外構平面図 断面図	縮尺 S=1/100
	製図 E. T.	日付 24.4.27

一級建築士事務所登録 (24A) 第01211号
 一級建築士登録 第152097号 村林俊治



都市設計	工事名称	瑞穂中学校配膳施設増築 及び受電設備増設等工事	図面番号	28
	図面名称	外構詳細図	縮尺	S=1/20
一級建築士事務所登録 (24A) 第01211号 一級建築士登録 第152097号 村林俊治	製図	E. T.	日付	24.4.27



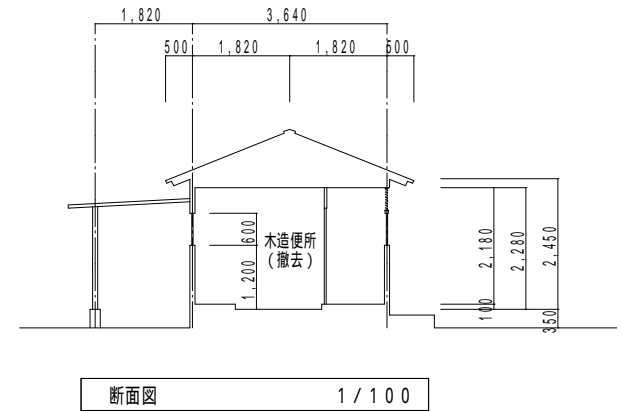
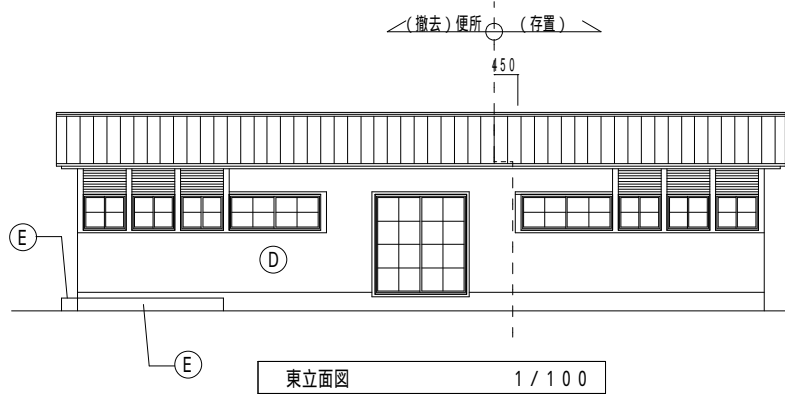
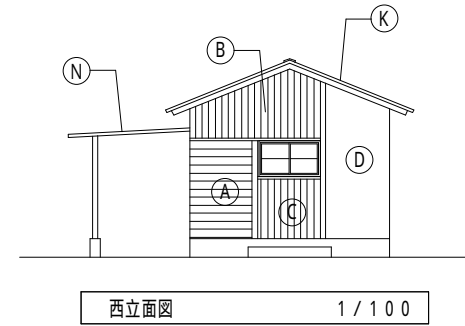
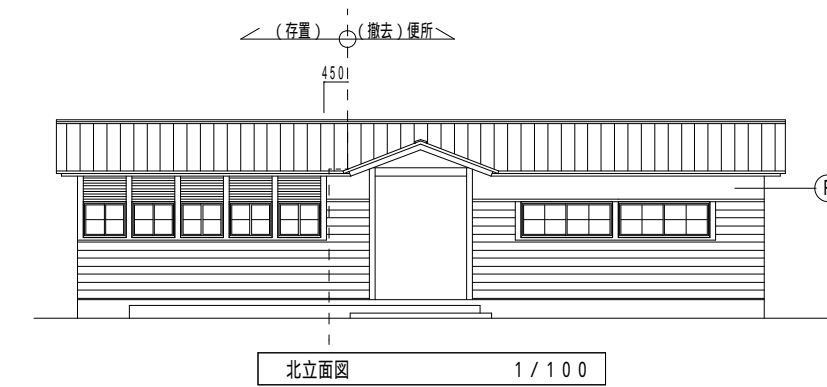
配置図 A 1/100

特記

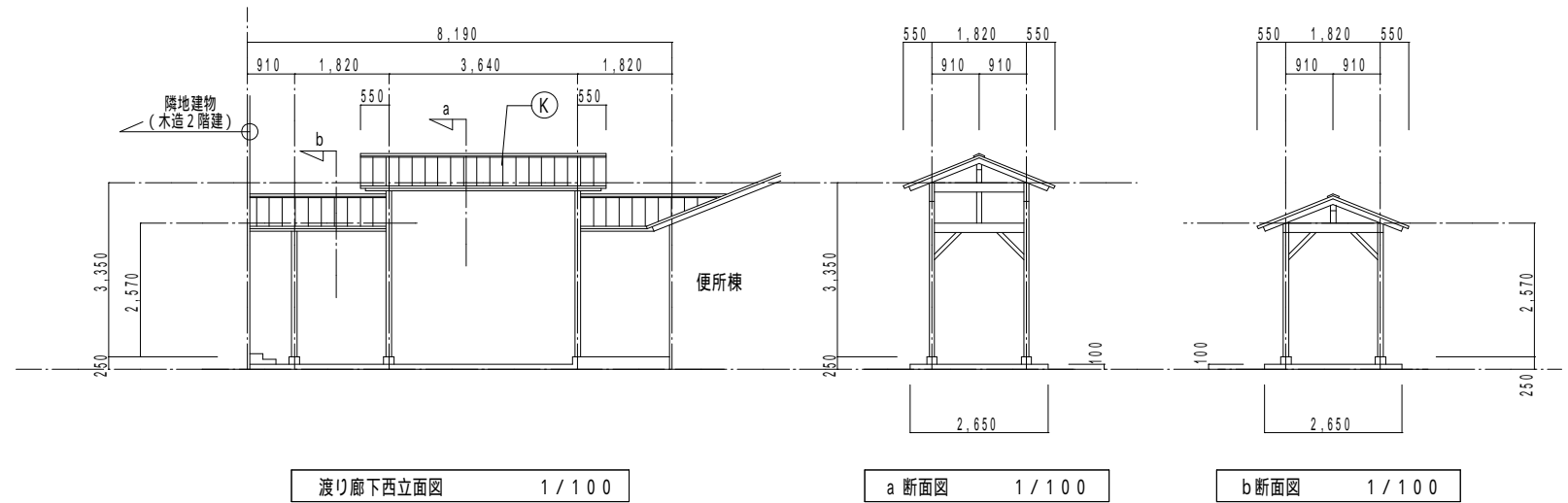
撤去範囲内にあるゴミ、備品類及び設備配管、電気配線、器具類は全て撤去処分とする。
 汲取便槽は、汲取後内部洗浄・清掃・底部削孔(100程度1ヶ処) 既存GL-1.0mまで撤去、残槽内良質土戻しとする。
 存置取合(木造倉庫)の屋根ケラバ、壁出隅は下地板取付の上カラー鉄板包み込とし、壁面露出部は波板カラー鉄板張とする。

解体部分面積

便所棟・木造平屋	8.19 × 3.64	= 29.81 m ²
付属庇共	1.82 × 5.46	= 9.94 m ²
渡り廊下	1.82 × 8.19	= 14.91 m ²
計		54.66 m ²



便所棟 外部仕上表			便所棟 内部仕上表				
外壁	(A) 下見板張	屋根	(K) セメント瓦葺	天井	木軸天井地下化粧石膏ボード厚9.5張	汲取便槽	コンクリート
	(B) 板張		(N) 波板鉄板葺	壁	木軸壁下地プリント合板		
	(C) カラー鉄板サイディング	樋	軒樋 鉄板半丸	腰壁	モルタル塗 H=1050		
	(D) モルタル塗		壁樋 鉄板 60	巾木	モルタル塗		
	(E) コンクリートモルタル塗			床	土間コンクリート厚150 モルタル塗		
	(F) プラスター塗						

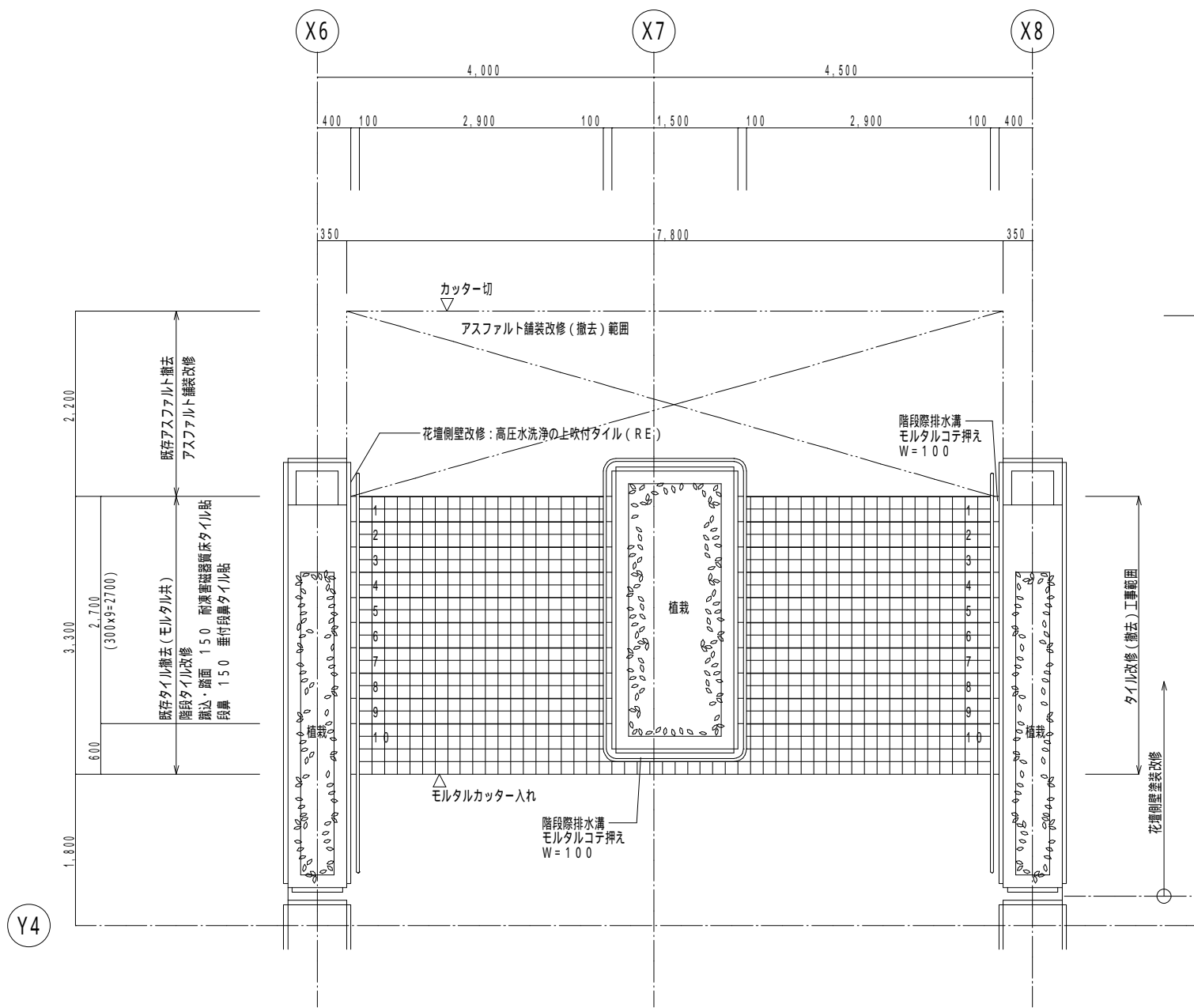


渡り廊下 仕上表	
屋根	セメント瓦葺
軒裏	野地板化粧
小壁	プラスター塗
柱	100×100 東石コンクリート
梁	105×180、105×360
床	コンクリート厚150 モルタル厚30
足洗場	コンクリートモルタル塗、立上り H=100

都市設計

工事名称	瑞穂中学校配膳施設増築 及び受電設備増設等工事	図面番号	29
図面名称	解体撤去図	縮尺	S=1/100
	製図	日付	24.4.27
	T.K		

一級建築士事務所登録 (24A)第01211号
 一級建築士登録 第152097号 村林俊治



平面図 1/50

改修部位特記

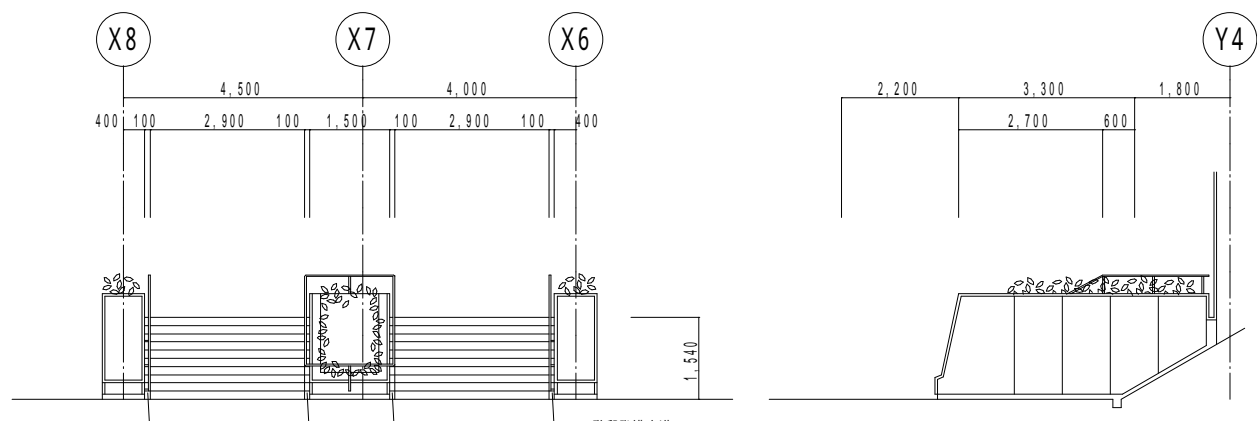
階段タイル改修 : 蹴込・踏面共既存タイル撤去(モルタル共)
蹴込・踏面 150 耐凍害磁器質床タイル貼
段鼻 150 垂付段鼻タイル貼

階段排水溝 : モルタルコテ押え W=100

花壇側壁改修 : 高圧水洗浄の上吹付タイル(RE)

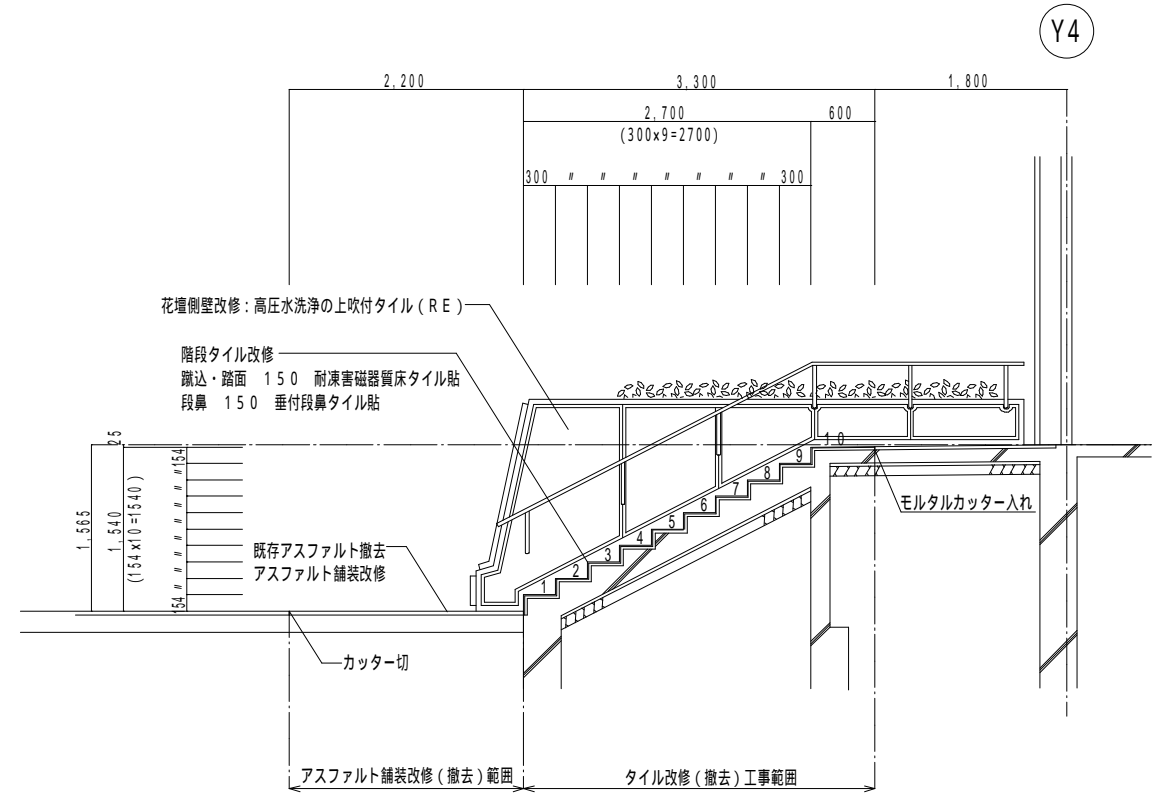
舗装改修 : 既存アスファルト撤去(周囲カッター切)
アスファルト舗装改修(密粒アスコン厚50)

階段面 : 凍結による損傷部は切り撤去の上、コンクリート打継補修とする。



立面図 1/100

側面図 1/100



断面図 1/50

都市設計	工事名称 瑞穂中学校配膳施設増築 及び受電設備増設等工事	図面番号 30
	図面名称 正面玄関階段改修図	縮尺 S=1/50.100
	製図 T.K	日付 24.4.27

一級建築士事務所登録 (24A) 第01211号
一級建築士登録 第152097号 村林俊治